

1

資料

古地圖



資料名	蝦夷島之図
資料整理番号	b-6_01018
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	天保15年（1844）
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	54(H)×80(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	<p>外題は『蝦夷島図』である。安永5年（1776）、文化4年（1807）と写し継がれて、天保15年（1844）に信濃国上田（現長野県上田市）の郷土史家・成澤寛経（1797-1868）の写した図。成澤は各地を訪ねて調査・記録し多くの著作をした人物である。本図は元禄国絵図の松前島図（元禄13年／1700）の系統図であり、この時期になっても写し継がれたことを示す貴重な図である。「百合舎書画金石記」という成澤の蔵書印がある。写図・着色。</p> <p>江戸初期（1640-1780） 蝦夷図の最古の図形をもつ正保国絵図が作成された時から、正保・元禄の両国絵図の時期と、主として民間で作成されたいわゆる初期蝦夷図の時期をいう。ただし、中期にもなっても、数年は継続して作成されている。</p>



b-6_01019

資料名	蝦夷地全図
資料整理番号	b-6_01019
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	寛政11年（1799）
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	117(H)×111(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	<p>松前藩きっての学者・加藤肩吾（1762-1822）が寛政3年（1791）頃、作成した『松前地図』（現在の北海道地図）は、松前藩の公式の図として大いに流布した図である。しかし、その写しは殆んど文化年間（1804-1817）以降のもので、本図のように寛政11年（1799）の年号が記載される図は極めて少なく、貴重な図である。新たに津軽地方が描かれている。写図・着色。</p> <p>江戸中期（1781-1820）天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。</p>



b-6_01031

資料名 蝦夷地之図

資料整理番号 b-6_01031

地域情報 全島

備考：-

作成・発行時期 文化年間（1804-17）頃

寄贈者/入手元 -

資料の寸法 cm 107(H)×128(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考

加藤肩吾系統図であり、歯舞諸島、色丹島とウルップ島以北の島々が朱の小丸で描かれているのは、加藤の『松前地図』に近い初期の様子を示している。識語・記号も載る。写図・着色。

江戸中期（1781-1820）

天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



b-6_01030

資料名 蝦夷地図並唐土奥州図

資料整理番号 b-6_01030

地域情報 全島

備考：-

作成・発行時期 文化年間（1804-17）

寄贈者/入手元 -

資料の寸法 cm 117(H)×108(W)

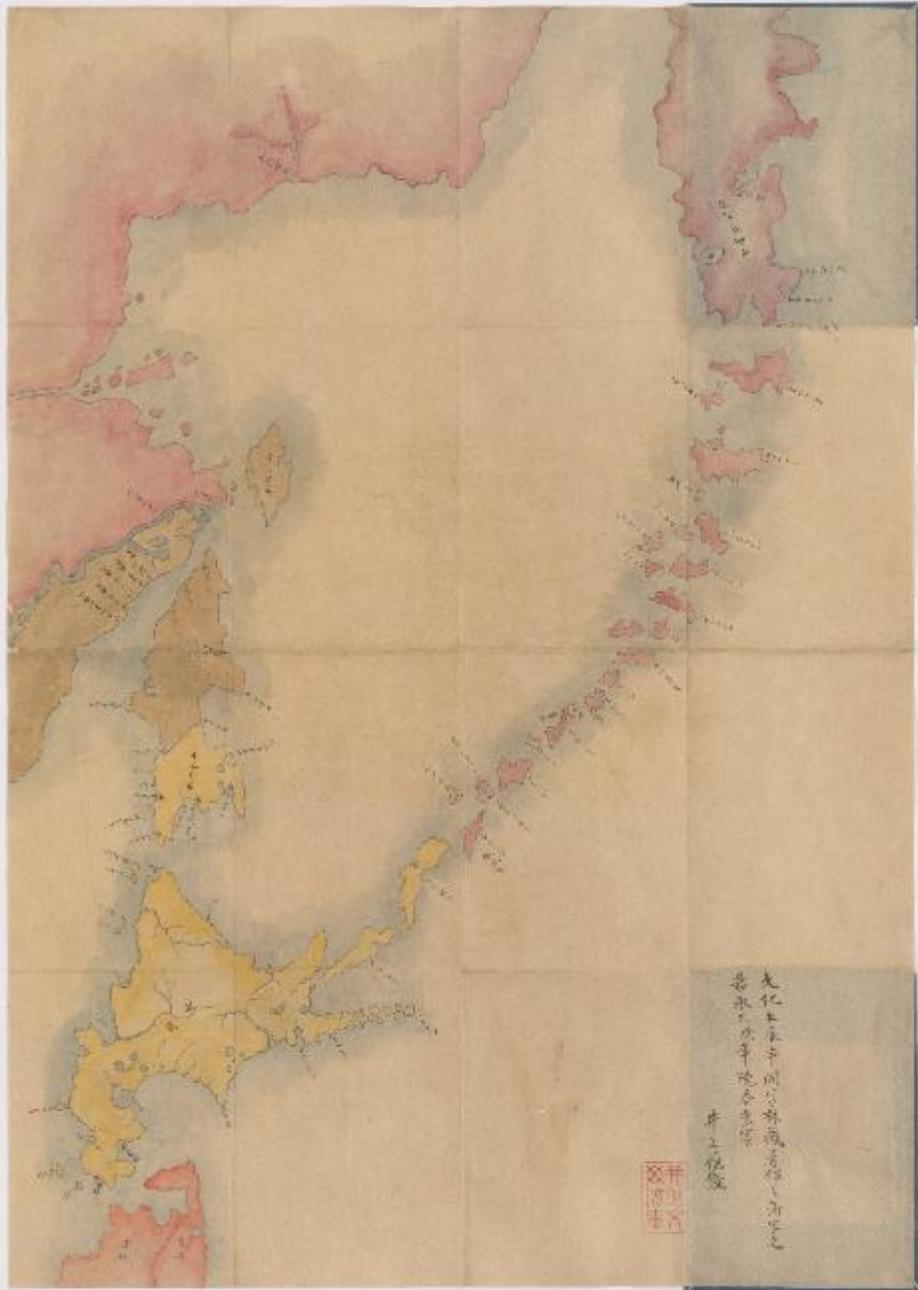
所蔵先 北方領土問題対策協会

備考

加藤肩吾系統図であるが、加藤図にはないマンチウ（満洲）、靺鞨国（山丹）、大流砂龍口川（黒竜江）、カンサシ（カムチャツカ）、ヲロシア国（ロシア）が描かれる。また南部藩、津軽藩、秋田藩の警備に関わる記載もあり、文化年間の写しであろう。「片岡宣重蔵書」と記載し、その蔵書印もあるが、片岡宣重については知らない。写図・着色。

江戸中期（1781-1820）

天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



b-6_01020

資料名	蝦夷カラフト図
資料整理番号	b-6_01020
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	文化5年（1808）
寄贈者/入手元	－
資料の寸法 cm	55(H)×40(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	井上貫流左衛門の次男で、やはり砲術を修め、父と共に蝦夷地を警備した井上飛蚊の自筆図と推測される。「文化五辰年間宮林藏著作之図写之、嘉永三戌年晩春重写、井上飛蚊」の記載があり、「井上貫流文庫」の蔵書印がある。嘉永3年（1850）の写しであるが、貴重な図である。写図・着色。 江戸中期（1781-1820）天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



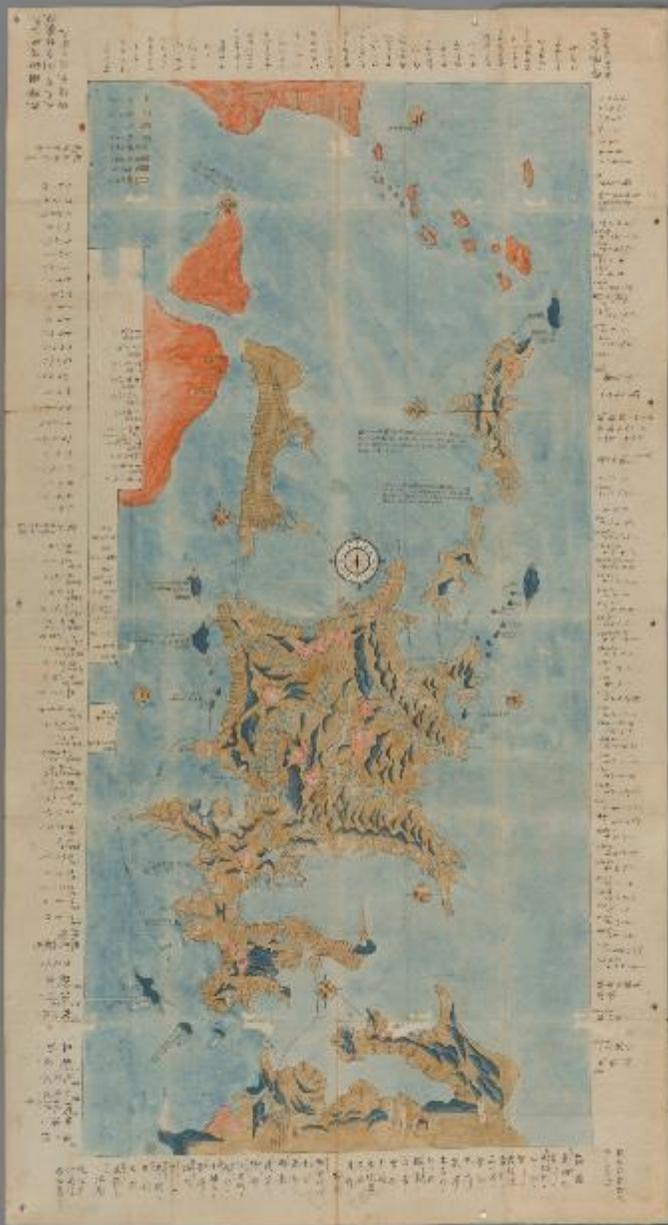
資料名	蝦夷カラフト図
資料整理番号	b-6_01021
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	嘉永3年（1850）
寄贈者/入手元	－
資料の寸法 cm	55(H)×39(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会

備考

井上貫流左衛門（1740-1812）は、武蔵国忍（現埼玉県行田市）藩士の家に生まれ、長じて砲術を学んだ。文化5年（1808）、幕府に抱えられ、蝦夷地高島（現小樽市）に赴き海岸防備を実施した。翌6年（1809）にも砲術指南として松前に赴いている。本図は、その時に作成された図であり、カラフト島北部の地形の異なるもの2枚が貼付される貴重図である。恐らく井上の自筆と推測される。千島諸島の地名も詳細である。写図・着色。

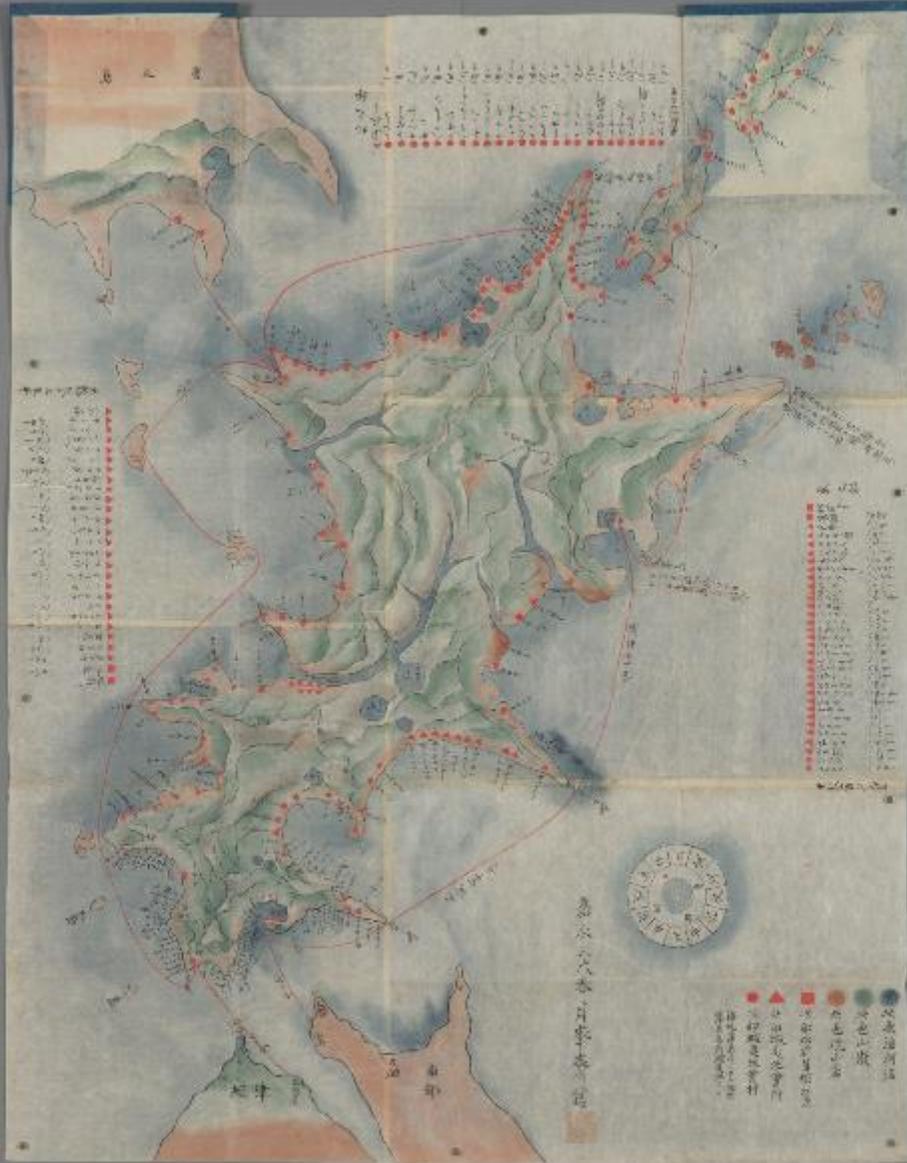
江戸中期（1781-1820）

天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。



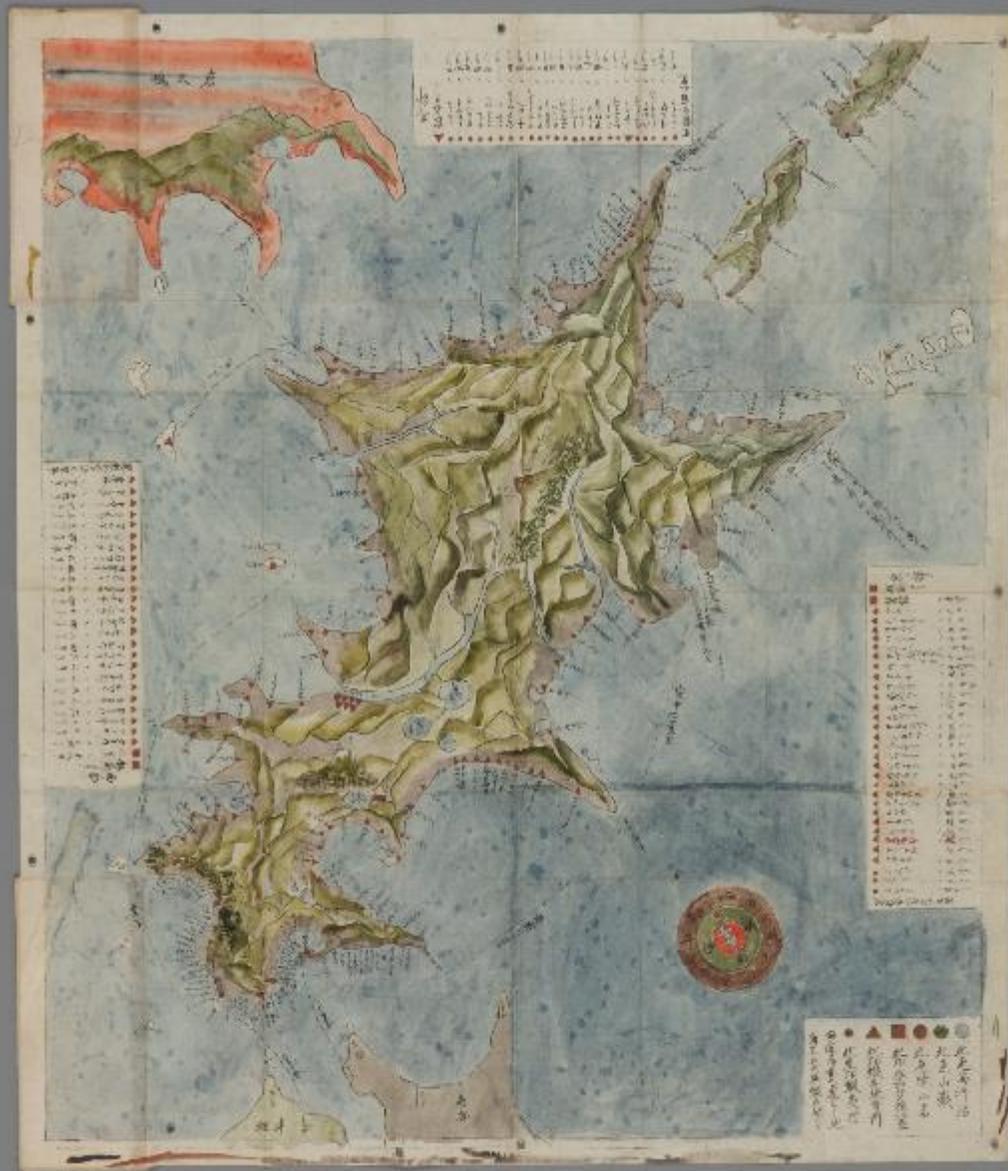
b-6_01022

資料名	松前工ソ図
資料整理番号	b-6_01022
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	文政年間（1818-1829）以降
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	130(H)×71(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	<p>文化末年（1810-17）になって地名一覧を載せた蝦夷地図が作成され、地図、地名、里程が一目で分かる図として大いに流行したと思われる。本図は文政年間（1818-1829）以降の写しと思われるが、「此絵図御領地之□、天文方間宮林藏様御須見二而写之」との記載がある。写図・着色。</p> <p>江戸中期（1781-1820）天明期を迎えて、幕府による蝦夷地調査によって画期的な蝦夷図が作成された。ここから、蝦夷地の探検・調査も進み、実地調査に基づいた新しい図形をもつ蝦夷図が次々と誕生していく時期である。</p>



b-6_01023

資料名	蝦夷之絵図
資料整理番号	b-6_01023
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	嘉永3年（1850）
寄贈者/入手元	－
資料の寸法 cm	82(H)×65(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	<p>寛政3年（1791）頃に作成された加藤肩吾の蝦夷地図は、幕末の嘉永、安政期になって、小型化されて大いに広まったが、本図には「嘉永三戊春、月峯齋写」とあり、嘉永3年（1850）の年号があるのは同系統図でも初期のものであり、地名・里程も記されている。月峯齋については知るところがない。写図・着色。</p> <p>江戸後期（1821-1868） 文政4年（1821）、幕府の直轄地であった蝦夷地は松前藩に返却されて、新しい蝦夷地経営が開始される。それに伴って蝦夷図も多様性をもって数多く作成され、また、それまで少なかった木版図も数多く出版されていく時期である。</p>



b-6_01032

資料名 松前蝦夷地之図

資料整理番号 b-6_01032

地域情報 全島

備考：-

作成・発行時期 (不明)

寄贈者/入手元 -

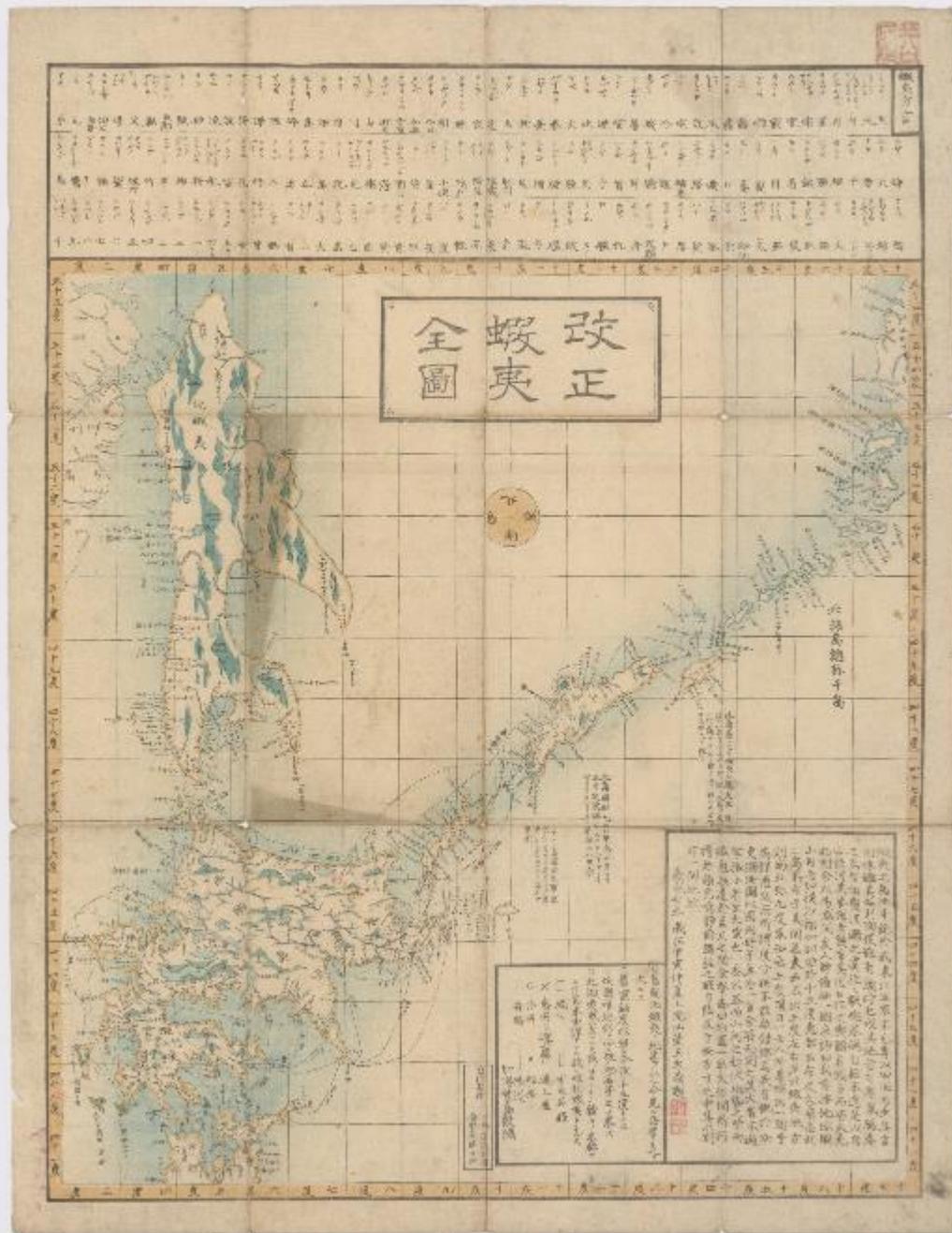
資料の寸法 cm 79(H)×69(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 「蝦夷之絵図」(資料整理番号b-6_01032)と同様に幕末に広まった蝦夷地図である。3か所に地名・里程表があり、色別凡例、方位盤も記載されている。写図・着色。

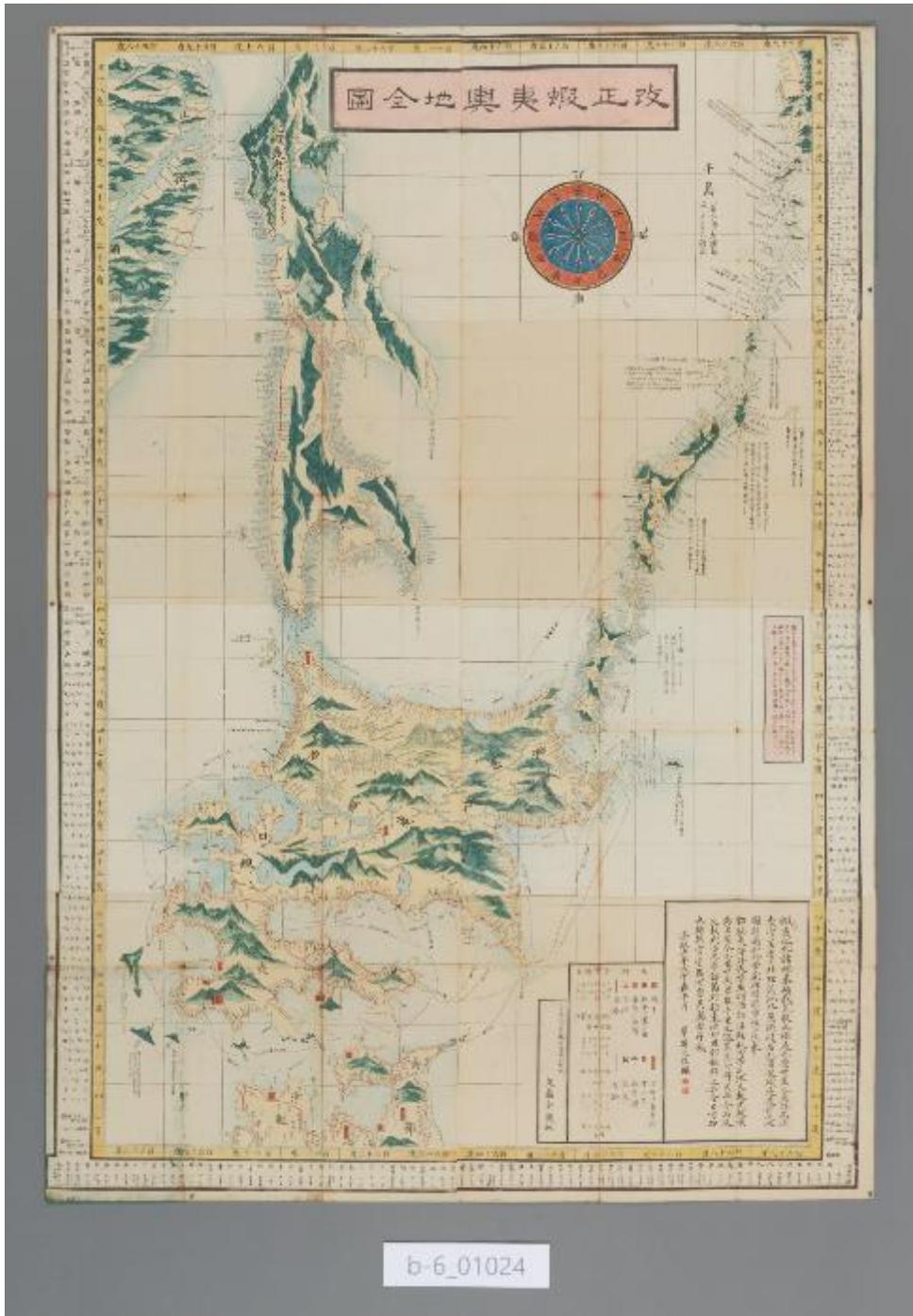
江戸後期 (1821-1868)

文政4年(1821)、幕府の直轄地であった蝦夷地は松前藩に返却されて、新しい蝦夷地経営が開始される。それに伴って蝦夷図も多様性をもって数多く作成され、また、それまで少なかった木版図も数多く出版されていく時期である。



b-6_01045

資料名	改正蝦夷全図
資料整理番号	b-6_01045
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	嘉永7年（1854）
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	57(H)×45(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	<p>嘉永7年（1854）、加賀国金沢（現石川県金沢市）の漢学者・豊島洞齋（1824-1906）が著作した蝦夷地図である。識語は仙台藩士・玉虫左太夫義である。小型図であるが、上部に「蝦夷方言」（アイヌ語）を掲載している。木版・色刷。</p> <p>江戸後期（1821-1868） 文政4年（1821）、幕府の直轄地であった蝦夷地は松前藩に返却されて、新しい蝦夷地経営が開始される。それに伴って蝦夷図も多様性をもって数多く作成され、また、それまで少なかった木版図も数多く出版されていく時期である。</p>



b-6_01024

資料名 改正蝦夷輿地全図

資料整理番号 b-6_01024

地域情報 全島

備考：-

作成・発行時期 安政6年（1859）

寄贈者/入手元 -

資料の寸法 cm 143(H)×102(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考

外題は『蝦夷松前一円図』で、安政6年（1859）に発行された図である。幕末の嘉永・安政期には蝦夷地図が数多く発行されたが、本図はその中でも大型の図である。蝦夷地を中心としてカラフト島、千島諸島全域を描いている。三方に「地名里程一覧」を載せ、さらに「蝦夷言葉」（アイヌ語）を載せる。作者は、「草莽之臣徹」とのみ記載される。木版・色刷。

江戸後期（1821-1868）

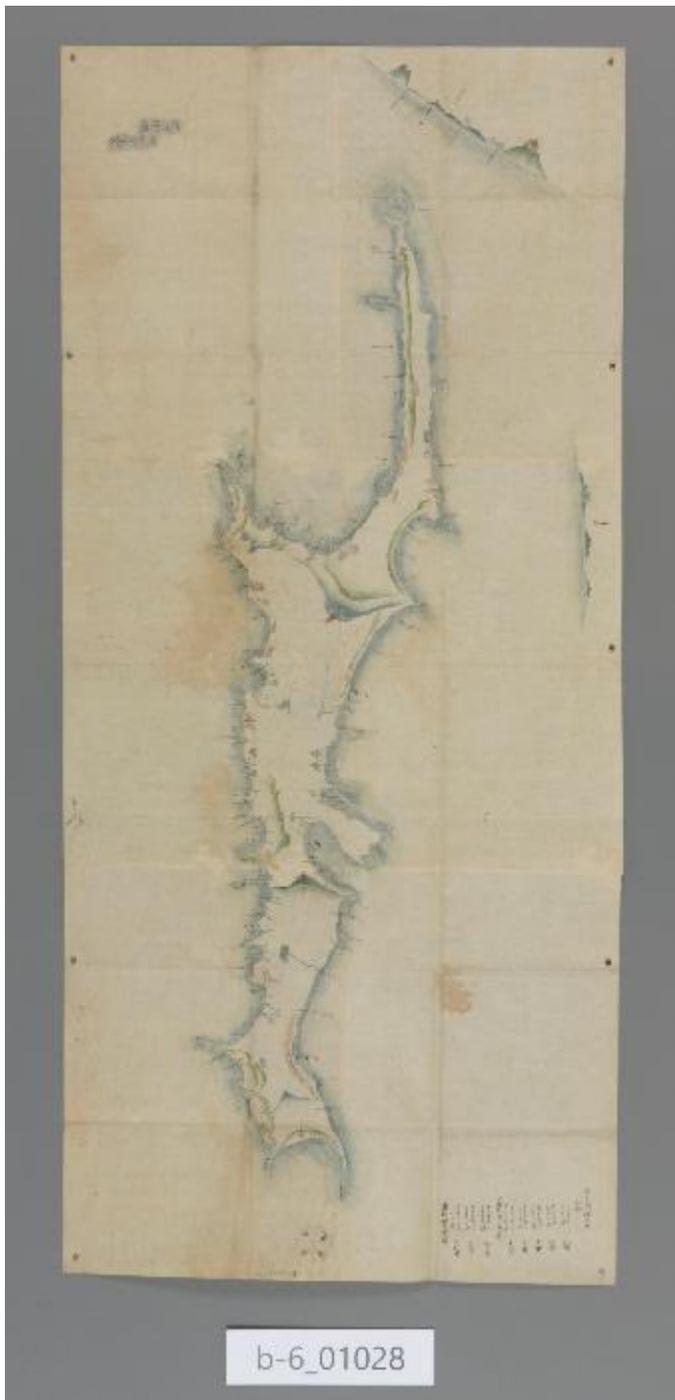
文政4年（1821）、幕府の直轄地であった蝦夷地は松前藩に返却されて、新しい蝦夷地経営が開始される。それに伴って蝦夷図も多様性をもって数多く作成され、また、それまで少なかった木版図も数多く出版されていく時期である。



資料名	官板実測日本地図 蝦夷諸島
資料整理番号	b-6_01033
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	慶応元年（1865）
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	158(H)×200(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会

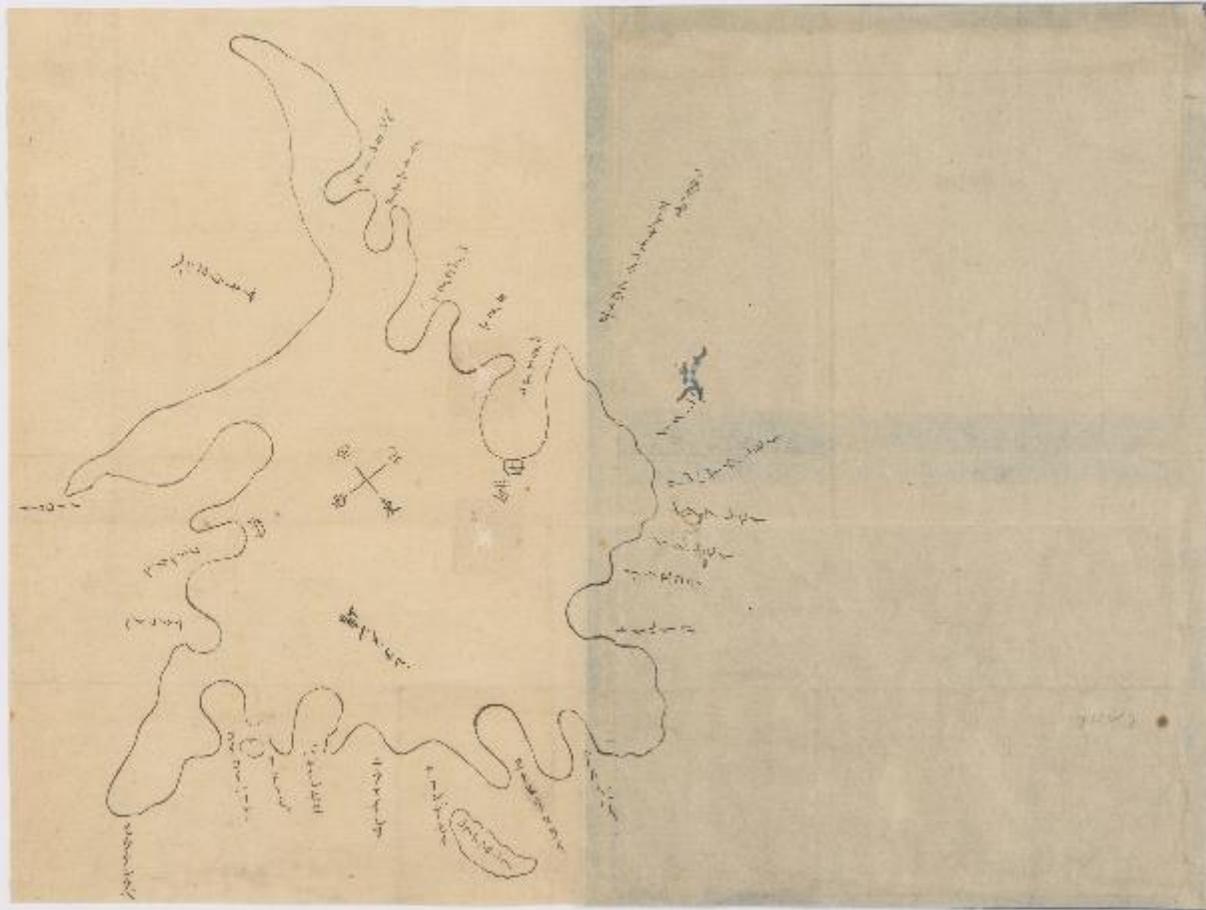
備考 慶応元年（1865）、学問機関「開成所」から発行された図。幕府が初めて発行した日本全図である。上総国小関村（現千葉県九十九里町）出身の伊能忠敬（1745-1818）の日本図（小図3枚）に樺太図を1枚加えて4枚組とした。その内の1枚が本図「蝦夷諸島」である。伊能忠敬の地図は、海岸線を中心として測量したため、蝦夷地の内陸部はほとんどが空白であるが、その内陸部は蝦夷地探検で知られた、伊勢国須川村（現三重県松阪市）出身の松浦武四郎（1818-1888）の蝦夷地図によって補われている。木版・色刷。

江戸後期（1821-1868）
文政4年（1821）、幕府の直轄地であった蝦夷地は松前藩に返却されて、新しい蝦夷地経営が開始される。それに伴って蝦夷図も多様性をもって数多く作成され、また、それまで少なかった木版図も数多く出版されていく時期である。



b-6_01028

資料名	久奈志利嶋廻円之図
資料整理番号	b-6_01028
地域情報	国後島 備考：-
作成・発行時期	文化年間（1804-17）
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	55(H)×120(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	寛政12年（1800）、幕府役人の戸川安倫、大河内政良は東蝦夷地をクナシリ島まで巡検した際の地図の写しである。地名も詳細で、航路も8か所を載せる。文化年間（1804-17）の写と思われる。単独のクナシリ島図は少ないので貴重である。写図・着彩。



b-6_01029

資料名 シコタン嶋図

資料整理番号 b-6_01029

地域情報 色丹島

備考：-

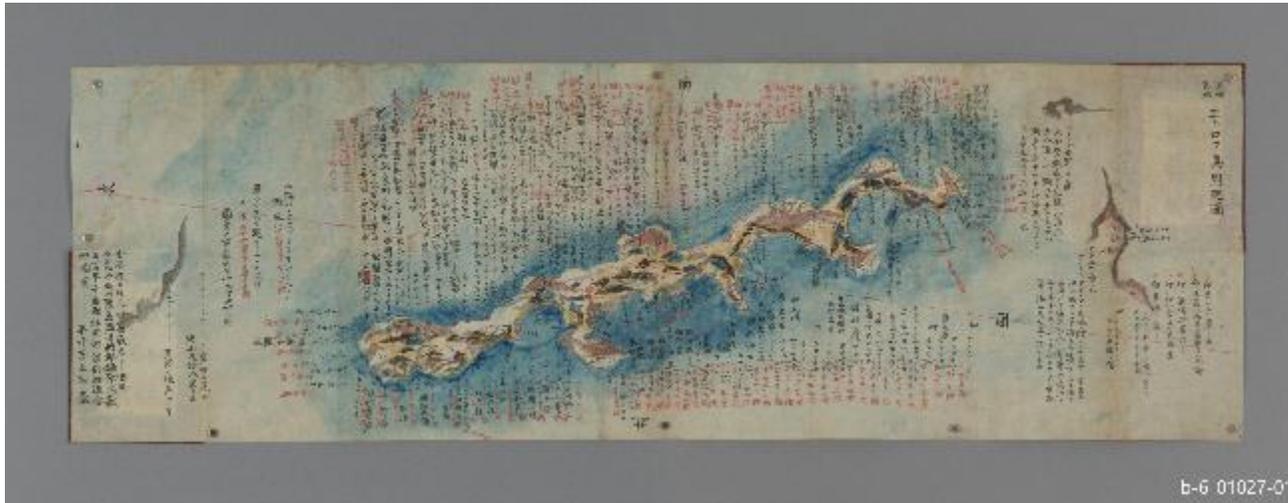
作成・発行時期 江戸後期

寄贈者/入手元 -

資料の寸法 cm 40(H)×53(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 外題は『蝦夷図シコタン』である。単独の同島図の現存は少ない。地名は24か所に記入され、また、会所も2か所ある。幕末の写しと思われる。写図・無彩。



b-6_01027-01

資料名 東蝦夷地エトロフ島周廻図

資料整理番号 b-6_01027

地域情報 択捉島

備考：-

作成・発行時期 明治14年（1881）

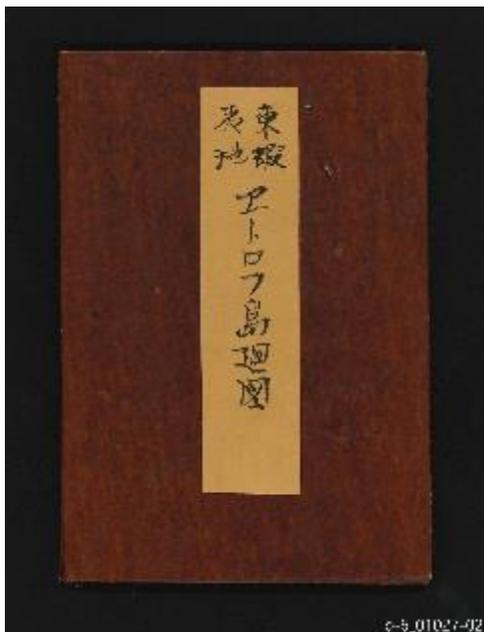
寄贈者/入手元 -

資料の寸法 cm 27(H)×85(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考

エトロフ島は江戸中期から後期にかけて、場所請負人・栖原屋の持場であった。明治に入っても、継続して経営が認められ、明治9年（1876）1月に木版・色刷で発行されたのが『東蝦夷地エトロフ島周廻図』であり、稀覯図である。本図は木版・色刷を明治14年（1881）に正確に写したものである。各地の地名・里程やその地の概況を詳細に記載しており、明治初期の同島の様子を知る上で貴重である。「金沢県士族永田高致君ヨリ借用、明治九年彫刻、渡島国津軽郡栖原氏蔵、全十四年千島国紗那郡留別於漁舎概図写、平井吉之助蔵」と記載する。写図・着色。



b-6_01027-02

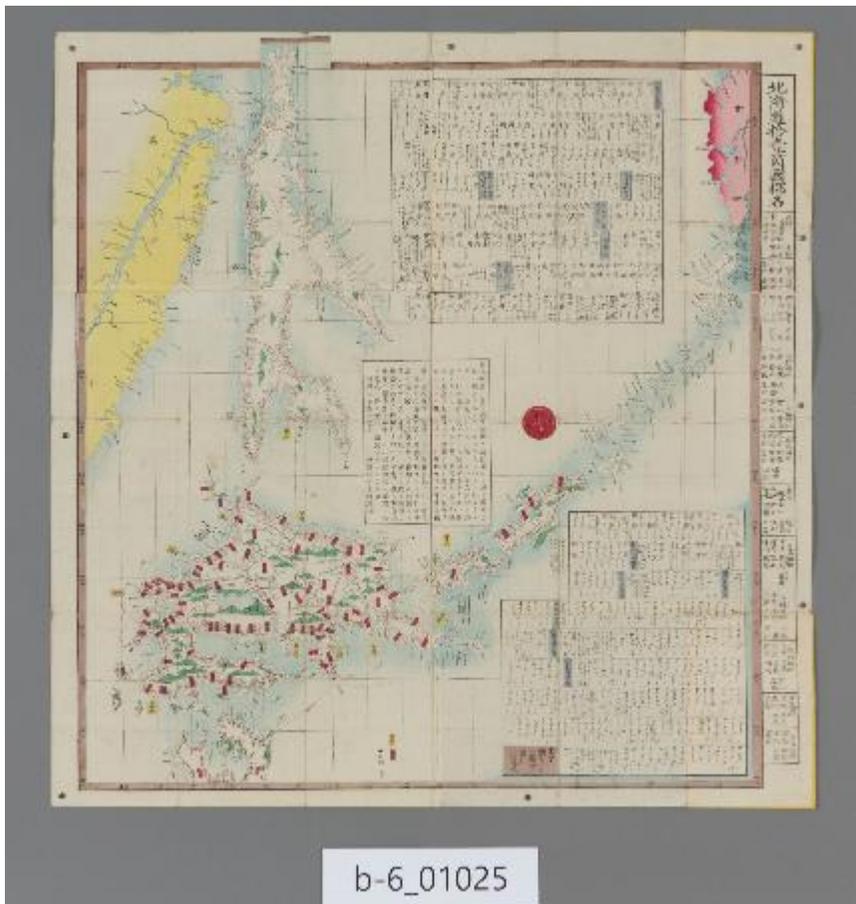


資料名	襟裳岬至色丹島
資料整理番号	b-6_01034
地域情報	色丹島 備考：-
作成・発行時期	昭和31年（1956）7月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	76(H)×107(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	昭和12年（1937）6月、水路部発行の海図を昭和31年（1956）7月、第4版として再版した図である。北海道襟裳岬付近から根室・知床附近までを描き、さらに国後島の一部と歯舞諸島・色丹島を描いている。縮尺50万分の1である。印刷・色刷。

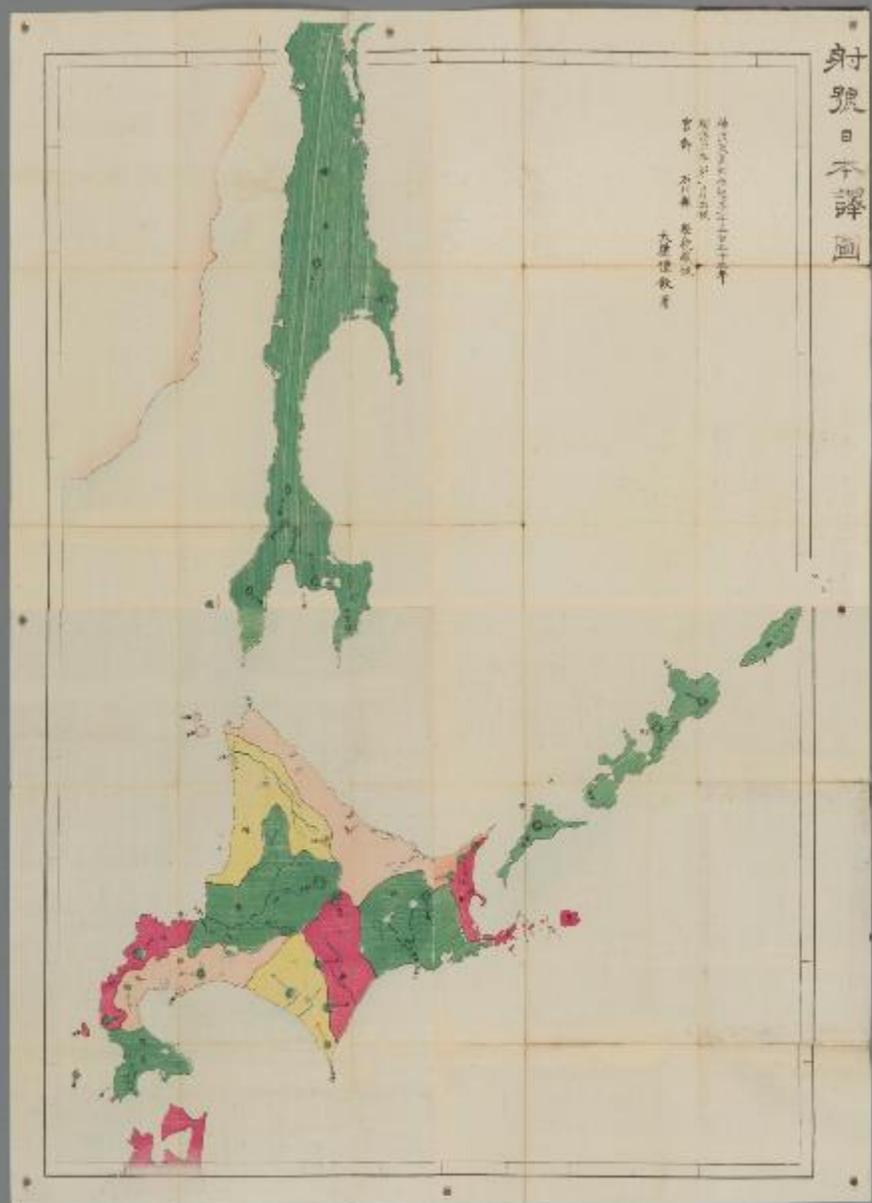


b-6_00830

資料名	増訂大日本国郡輿地路程全図の内「北海道周辺図」
資料整理番号	b-6_00830
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	明治4年（1871）
寄贈者/入手元	（匿名）
資料の寸法 cm	85(H)×104(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	嘉永5年（1852）、長久保赤水原図、鈴木驥園編の日本全図を、明治4年（1871）になって樺太島図、北海道地図を追加して発行された図である。本図は追加した部分のみの図である。経緯度も記載され、凡例も詳細である。木版・色刷。



資料名	北海道中細見全図
資料整理番号	b-6_01025
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	明治4年（1871）
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	73(H)×72(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	本図は明治4年（1871）発行の『大日本海陸輿地全図』のなかの「北海道」を同年、河合貞雅著作として単独で発行したものである。「北海道拾壹箇国郡名」を載せ、さらに各地への里程を多数記載している。幕末の古い図形を用いている。木版・色刷。



b-6_01070

資料名	射号日本図 第二
資料整理番号	b-6_01070
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	明治6年（1873）1月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	84(H)×61(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	明治6年（1873）1月、大屋愷□著、石川県学校（金沢）蔵板（発行）である。「射号・暗射」とは記憶・暗記を意味し、明治初期から中期にかけて主に学校の教育現場で教材地図の名称に用いられた。地形・地名がおおまかなのが特徴である。木版・色刷。



資料名	帝国日本郵便線路之図
資料整理番号	b-6_01036
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	明治14年（1881）10月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	85(H)×117(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	明治14年（1881）10月、駅通局蔵版の図。千島諸島は、国後島、択捉島、歯舞諸島、色丹島に、それぞれ航路線が引かれている。縮尺不記である。石版・墨刷。

b-6_01036



資料名 改正北海道全図

資料整理番号 b-6_01026

地域情報 全島

備考：-

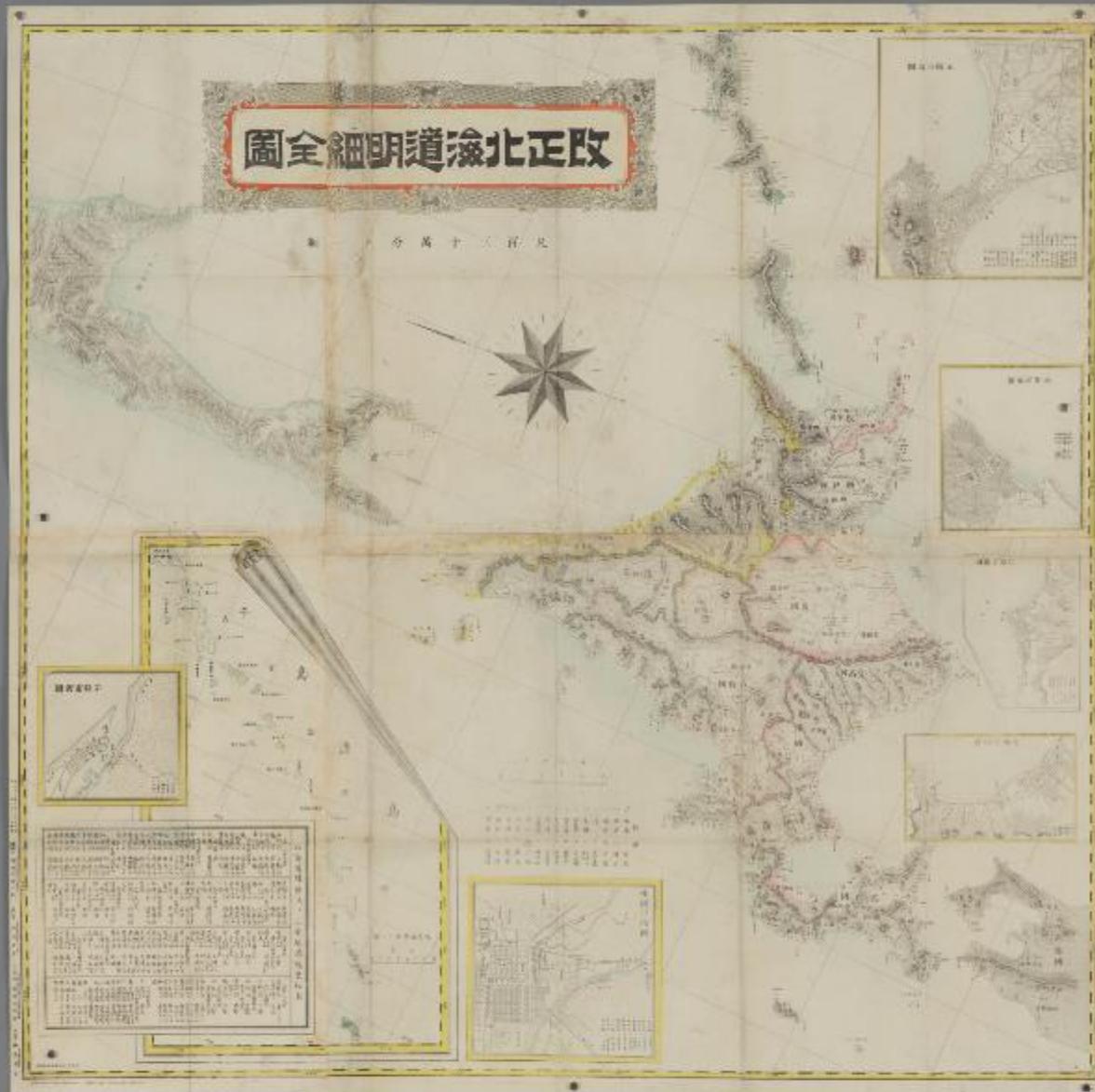
作成・発行時期 明治20年（1887）5月

寄贈者/入手元 -

資料の寸法 cm 136(H)×180(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 内務省地理局は多くの府県図を発行してきたが、明治20年（1887）5月になって発行したのが本図である。地理局長・櫻井 勉や地理局員・高橋不二雄を北海道に派遣して地理調査を実施し見事な図となった。図の周囲には、北海道全形図をはじめ函館、札幌、小樽など14市街図を載せ、千島諸島図は海軍省水路局出版図やイギリス版海図などを参考とした。銅版刷の詳細な大型図である。縮尺50万分の1である。銅版・墨刷。



b-6_00831

資料名 改正北海道明細全図

資料整理番号 b-6_00831

地域情報 全島

備考：-

作成・発行時期 明治23年（1890）8月

寄贈者/入手元 （匿名）

資料の寸法 cm 72(H)×73(W)

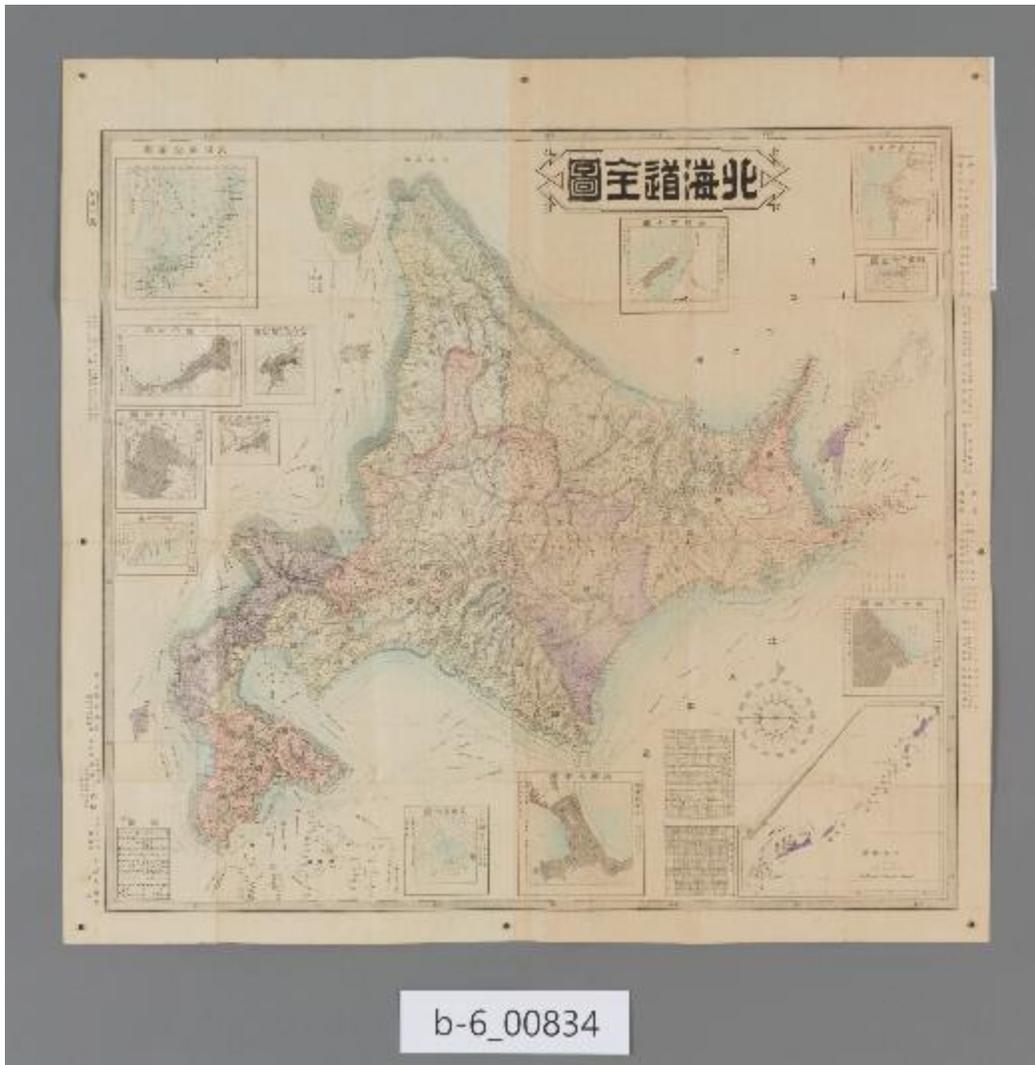
所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 明治23年（1890）8月、嵯峨野彦太郎編輯、大川錠吉（東京）発行。千島諸島図のほか函館など6市街図が載り、「北海道駅路及ヒ三府開港場里程」がある。縮尺130万分の1。嵯峨野は多くの北海道地図、日本地図を著作・発行している。木版、銅版・色刷。

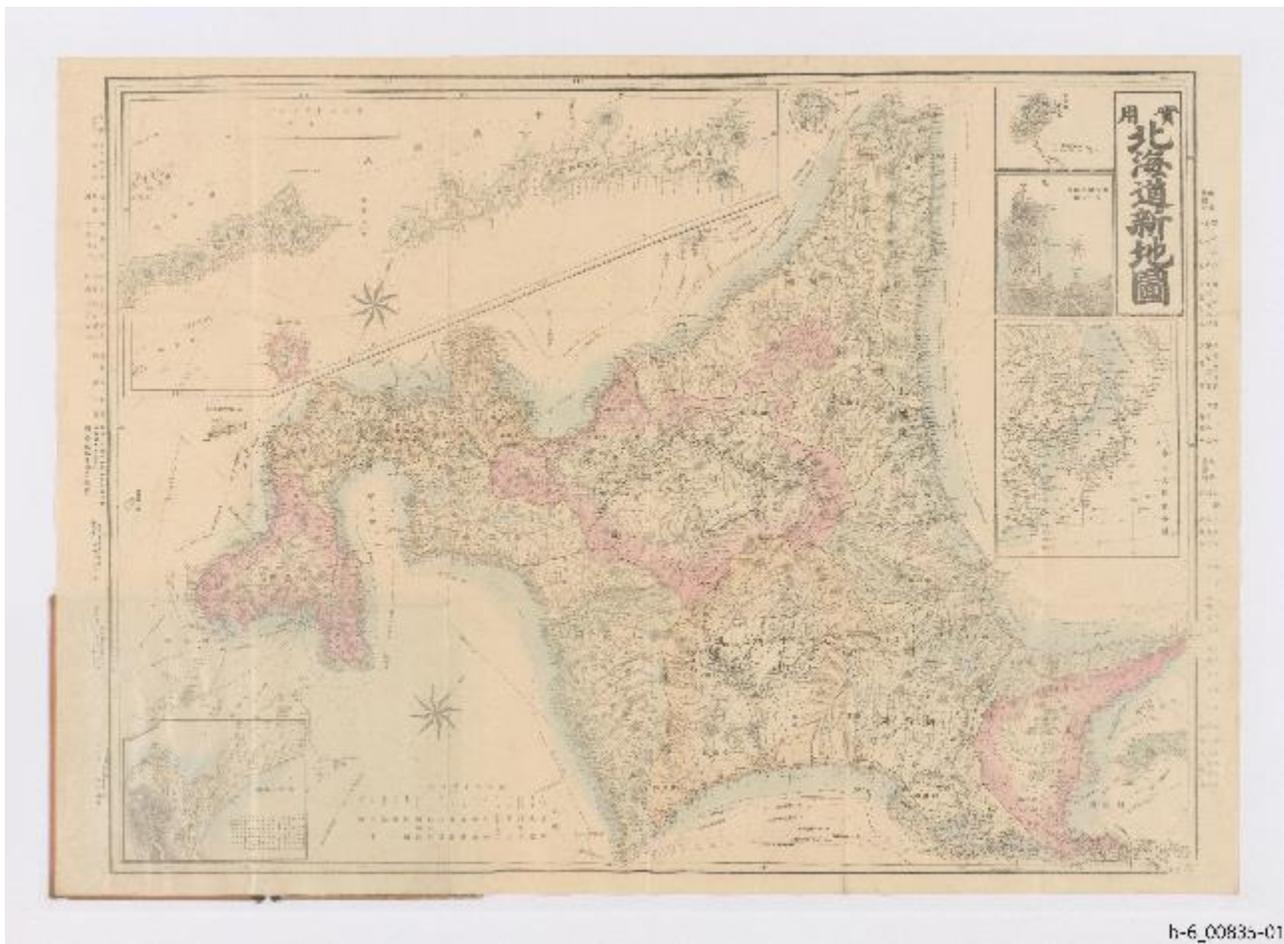


資料名	改正北海道全図
資料整理番号	b-6_00832
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	明治25年（1892）6月
寄贈者/入手元	（匿名）
資料の寸法 cm	45(H)×63(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	明治25年（1892）6月、松島東一郎（札幌）編輯・発行。外題は『改正鮮明北海道全図』。千嶋国図に、札幌、函館など4市街図がある。ほかに北海道各駅里程表、著名川沼、周囲及面積、高山表が載る。縮尺125万分の1。松島は開拓使に勤めたこともある人物である。石版・墨刷。





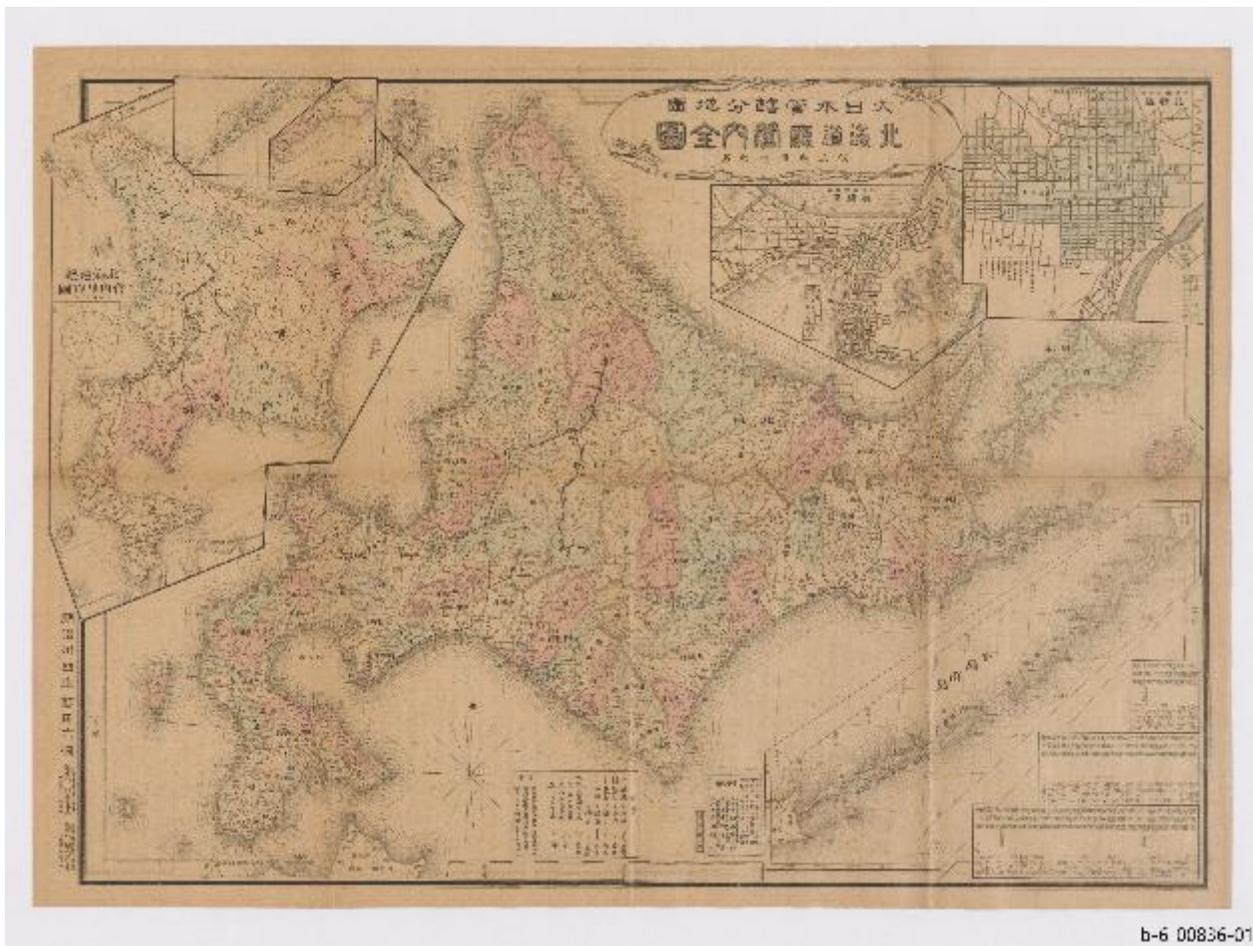
資料名	北海道全図
資料整理番号	b-6_00834
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	明治33年（1900）7月
寄贈者/入手元	（匿名）
資料の寸法 cm	77(H)×82(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	明治33年（1900）7月、鈴木茂行著、小島大盛堂（函館）発行。千嶋全図のほか函館など11市街図が掲載されている。本図は明治32年（1899）5月に初版が発行されて以来、多くの版を数えた図である。縮尺不記であるが、凡そ75万分の1である。石版・色刷。



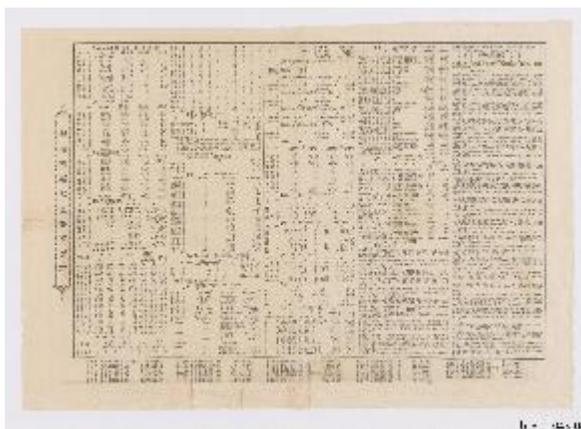
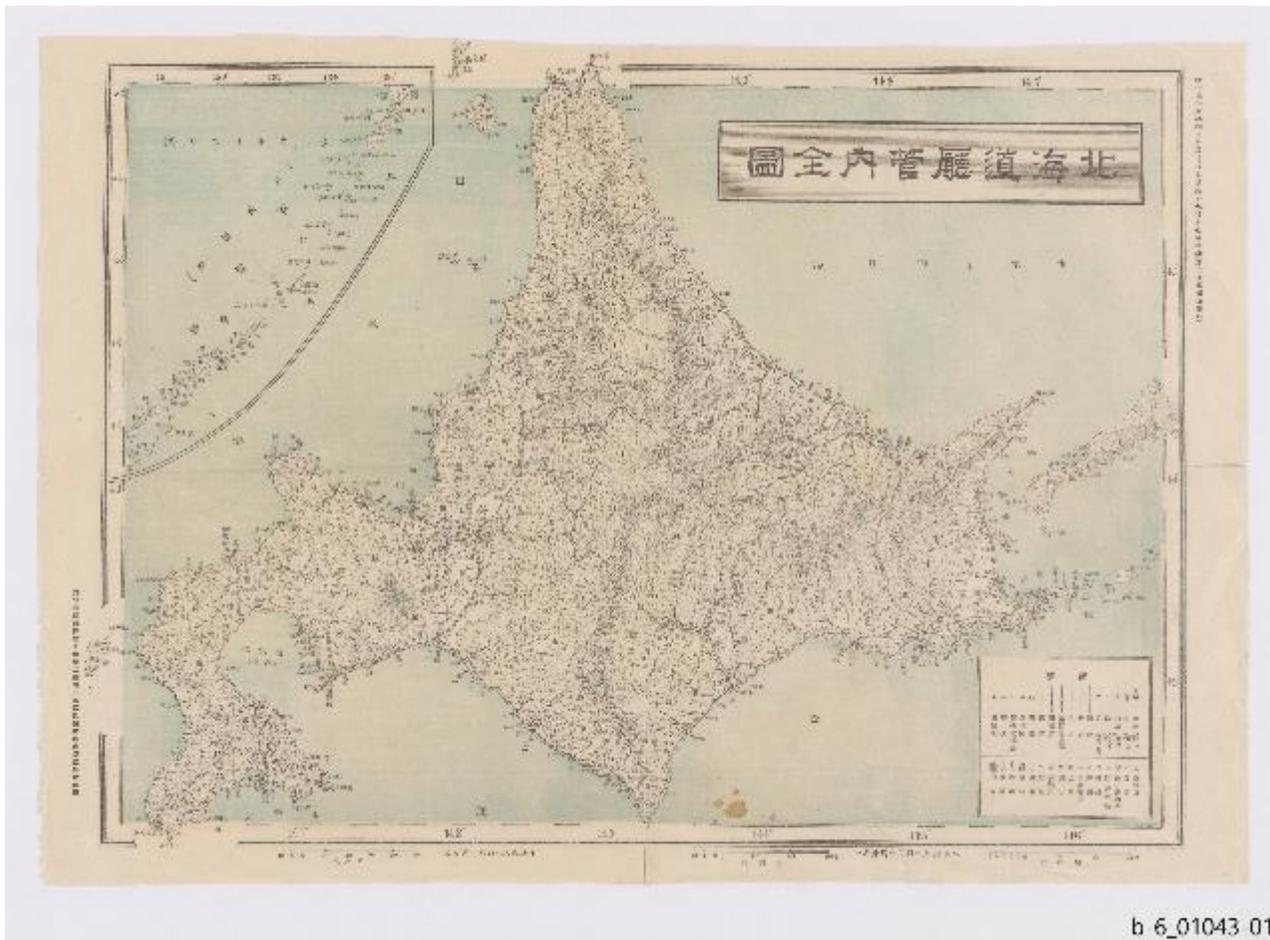
b-6_00835-01



資料名	実用北海道新地図
資料整理番号	b-6_00835
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	明治34年（1901）4月
寄贈者/入手元	（匿名）
資料の寸法 cm	55(H)×78(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	明治34年（1901）4月、嵯峨野彦太郎著作、小島大盛堂（函館）発行。参考大日本全図、千島群島図のほか礼文島、室蘭、函館の3図を載せる。縮尺不記だが、80万分の1である。石版・色刷。



資料名	北海道庁管内全図
資料整理番号	b-6_00836
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	明治34年（1901）9月
寄贈者/入手元	（匿名）
資料の寸法 cm	39(H)×55(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	明治34年（1901）9月、後藤常太郎著、中村芳松（大阪）発行。千島諸島図のほか札幌・函館市街図も載り、北海道庁管内里程図もある。裏面に北海道の地誌を掲載する。縮尺125万分の1である。石版・色刷。



資料名	北海道庁管内全図
-----	----------

資料整理番号	b-6_01043
--------	-----------

地域情報	全島
------	----

備考	:-
----	----

作成・発行時期	明治36年（1903）4月
---------	---------------

寄贈者/入手元	-
---------	---

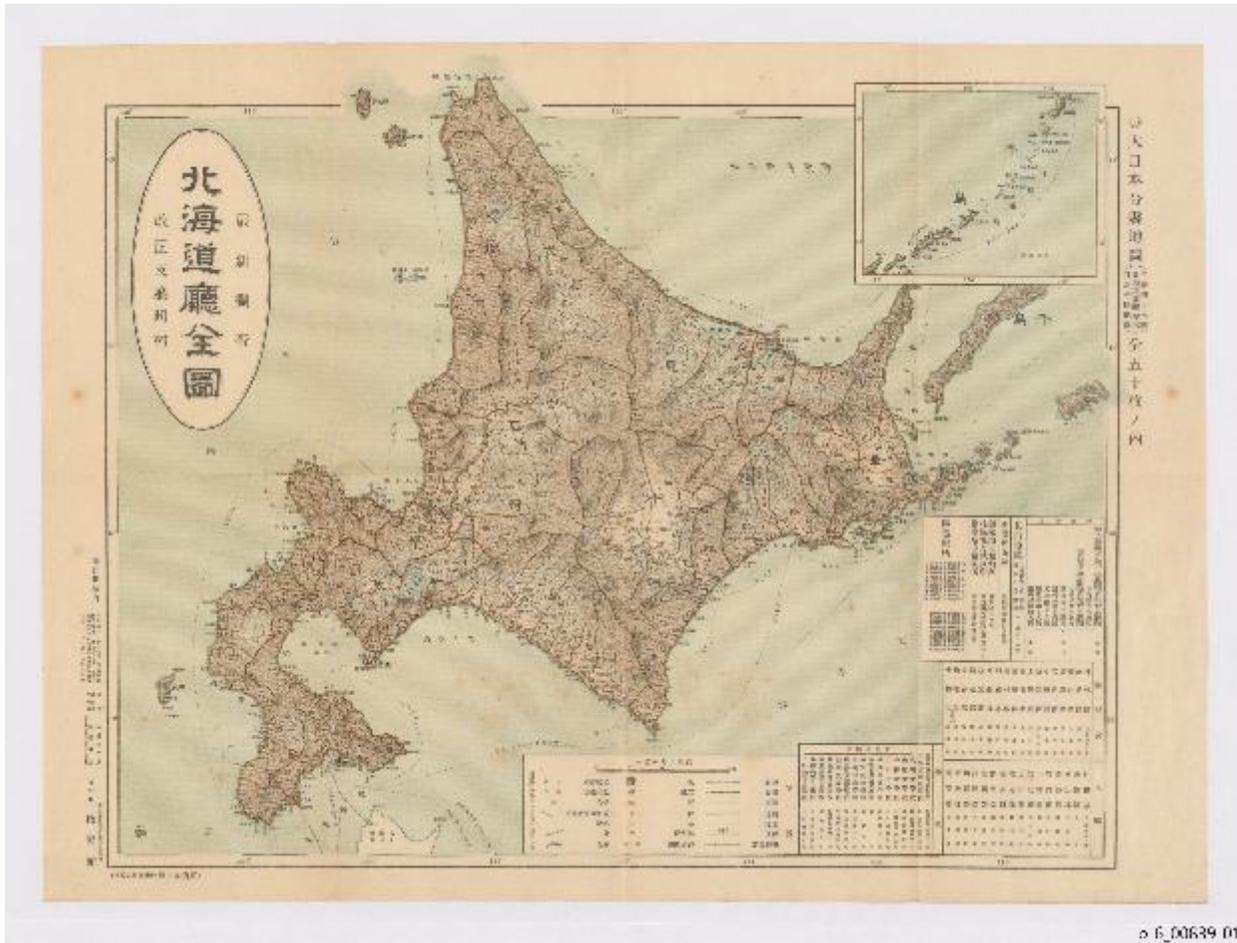
資料の寸法 cm	37(H)×55(W)
----------	-------------

所蔵先	北方領土問題対策協会
-----	------------

備考	明治36年（1903）4月、「日本」附録として発行された図である。千島諸島図が描かれている。縮尺120万分の1で、裏面に北海道庁管内重要統計を載せる。石版・色刷。
----	---



資料名	北海道全図
資料整理番号	b-6_00837
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	明治38年（1905）11月
寄贈者/入手元	（匿名）
資料の寸法 cm	78(H)×83(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	明治38年（1905）11月、鈴木茂行著、小島大盛堂（函館）発行。先の外題『北海道全図』を、外題『新選北海道全図』と変更したものである。多くの版を数え、最終は大正2年（1913）3月、31版まで発行されている。縮尺不記であるが凡そ75万分の1である。石版・色刷。



b_6_00639_01



資料名 最新調査 北海道庁全図

資料整理番号 b-6_00839

地域情報 全島

備考：-

作成・発行時期 明治43年（1910）6月

寄贈者/入手元 （匿名）

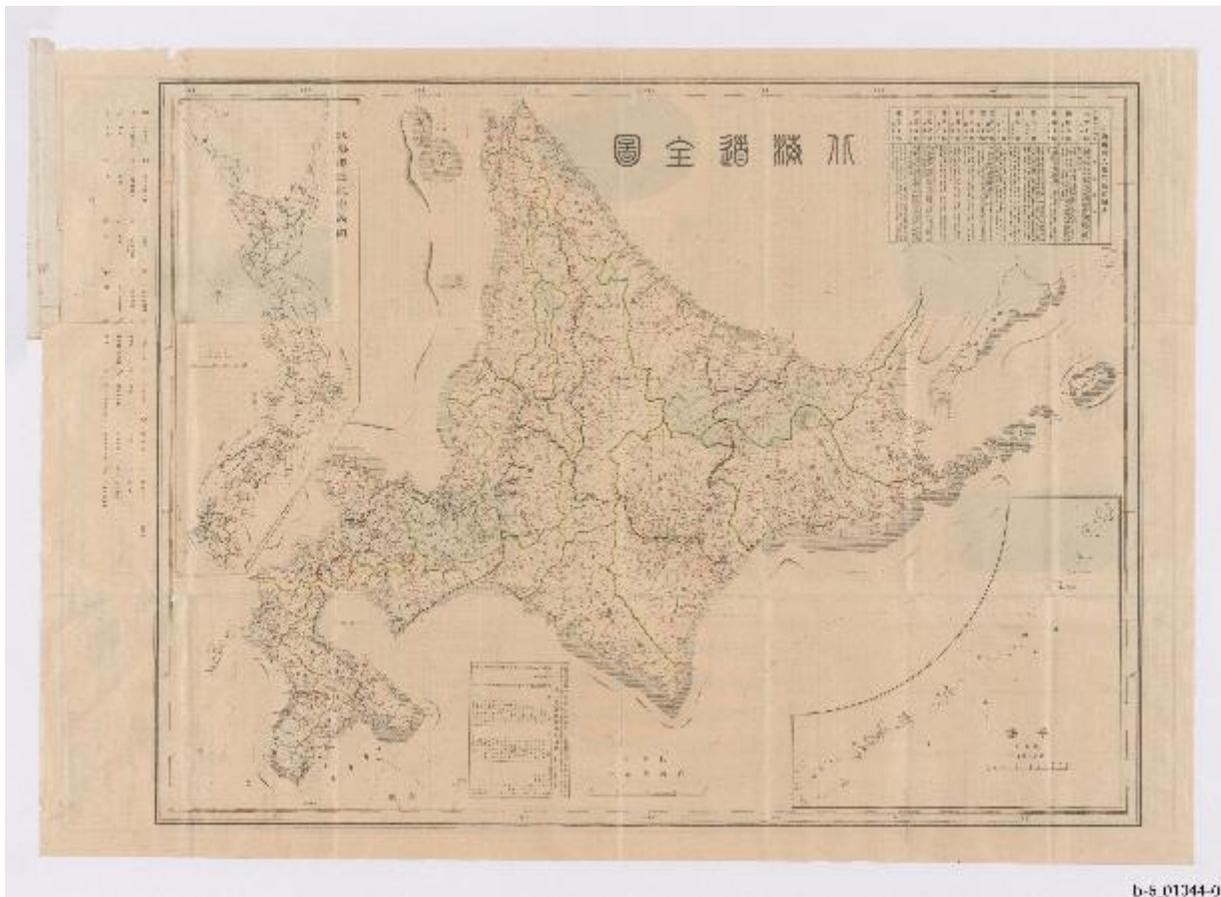
資料の寸法 cm 39(H)×54(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

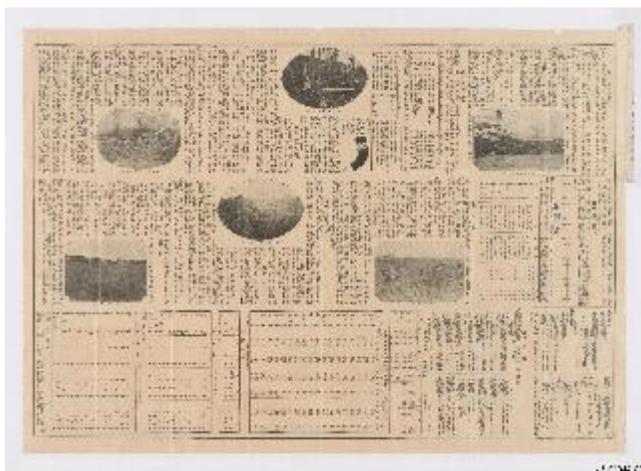
備考 明治43年（1910）6月、安藤力之助著、博愛館（東京）発行。袋は『最新北海道全図』。千島図を載せる。裏面に北海道の各種一覧を掲載する。縮尺130万分の1である。『大日本分県地図』（全50枚）の中の1枚である。石版・色刷。



資料名	北海道地図
資料整理番号	b-6_01035
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	大正元年（1912）10月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	130(H)×152(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	大正元年（1912）10月、「北海道鉄道網走線全通記念」として、北海道鉄道管理局から発行された。千島国諸島図、全道面積広袤周囲沿海線、山岳及河川表が載る。縮尺50万分の1の大型図である。石版・色刷。



b-6_01044-01



b-6_01044-02

資料名	北海道全図
資料整理番号	b-6_01044
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	大正4年（1915）1月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	55(H)×78(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	大正4年（1915）1月、外題は『北海道移住手引草 第16』で、北海道庁拓殖部から発行された。明治33年（1900）から発行が開始され、昭和14年（1939）まで継続して発行されたものの1枚である。裏面には北海道に関する統計・資料などを写真入りで載せている。縮尺100万分の1である。印刷・色刷。



資料名 海陸里程 新案北海道全図

資料整理番号 b-6_01072

地域情報 全島

備考：-

作成・発行時期 大正6年（1917）4月

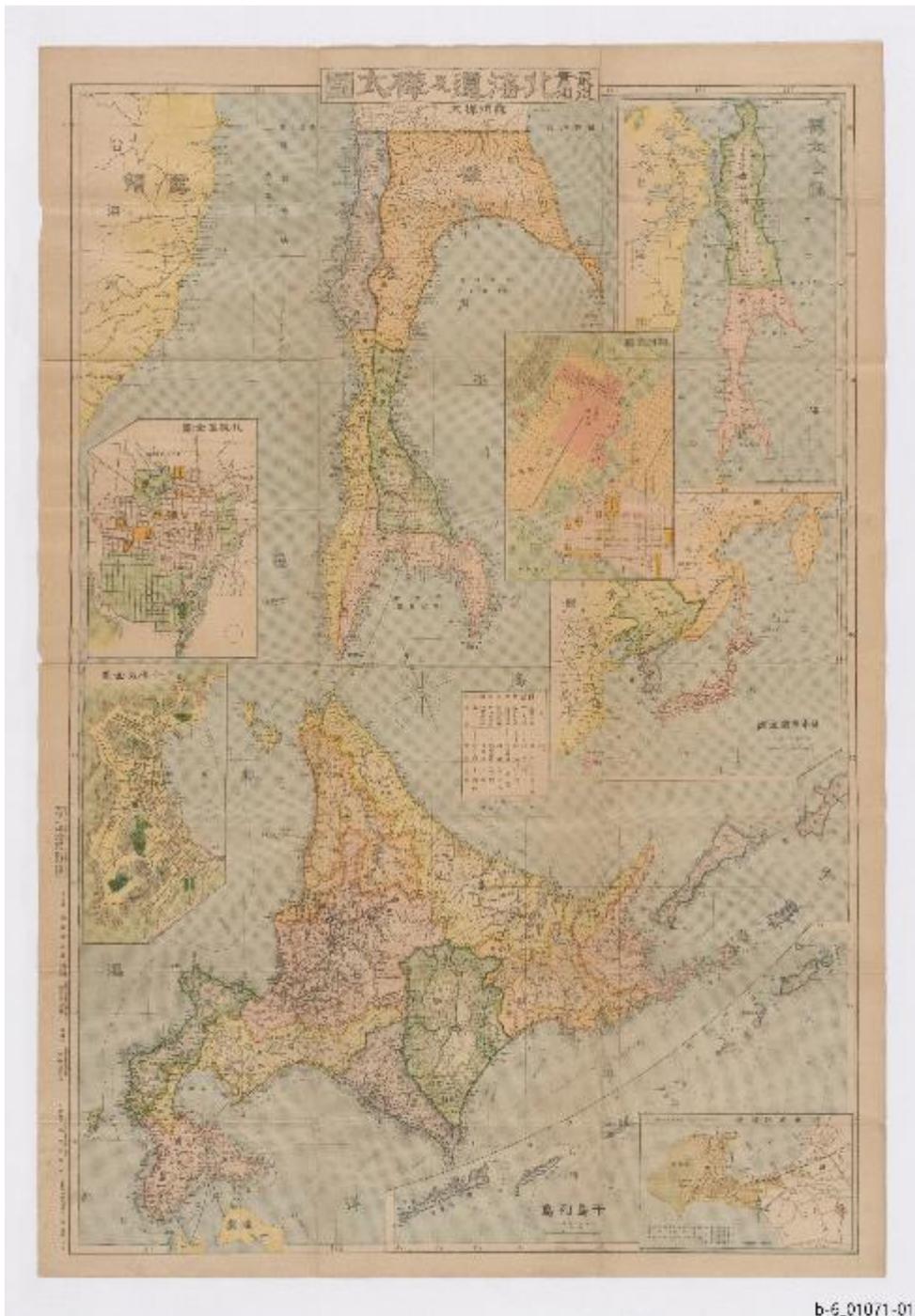
寄贈者/入手元 -

資料の寸法 cm 78(H)×107(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

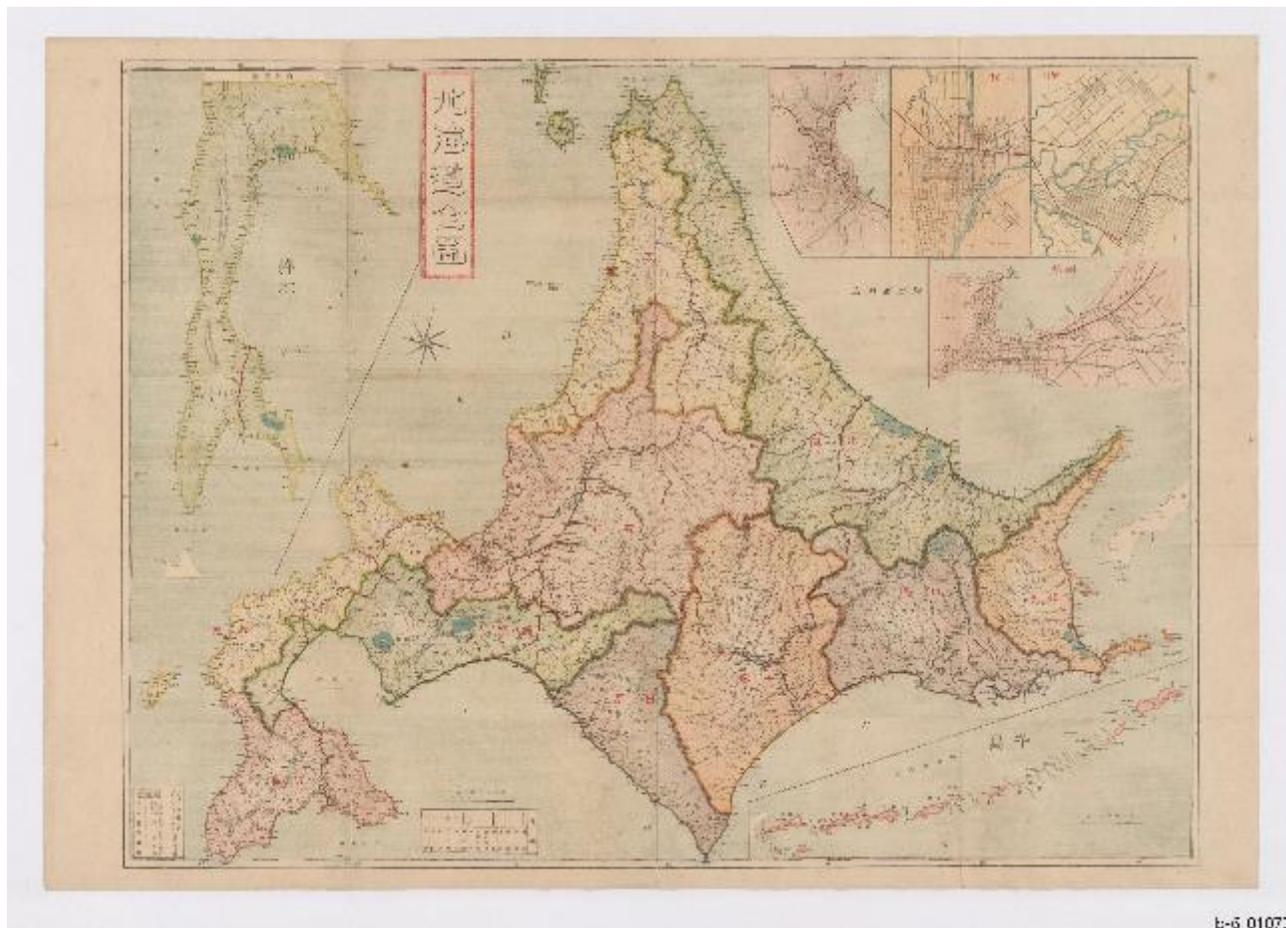
備考 大正6年（1917）4月、嵯峨野彦太郎編輯、小島千代松（函館）発行図。日本周辺図、千島諸島図、樺太図のほかに札幌、函館、小樽の市街図を載せ、帝国府県路程里町間尺記もある。クナシリ島、イトロフ島の地名が詳細であるが、縮尺不記である。印刷・色刷。

b-6_01072

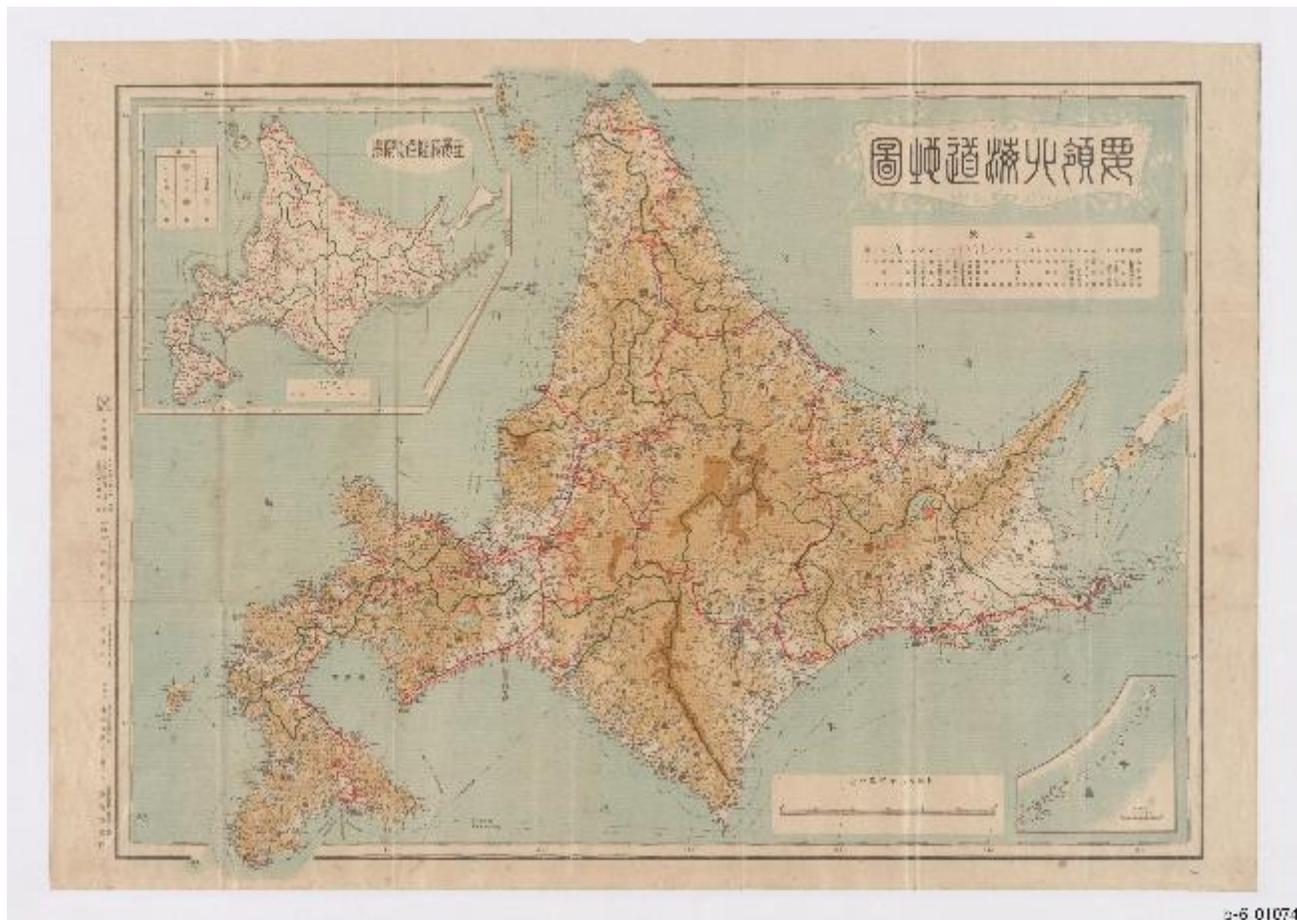


b-6_01071-01

資料名	最近実測 北海道及樺太図
資料整理番号	b-6_01071
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	大正6年（1917）8月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	79(H)×55(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	大正6年（1917）8月、地理研究会著作、阿佐美武雄（東京）発行。日本帝国全図、千島列島図、樺太全図を載せ、札幌、小樽、函館、旭川の市街図を載せる。縮尺132万分の1である。印刷・色刷。

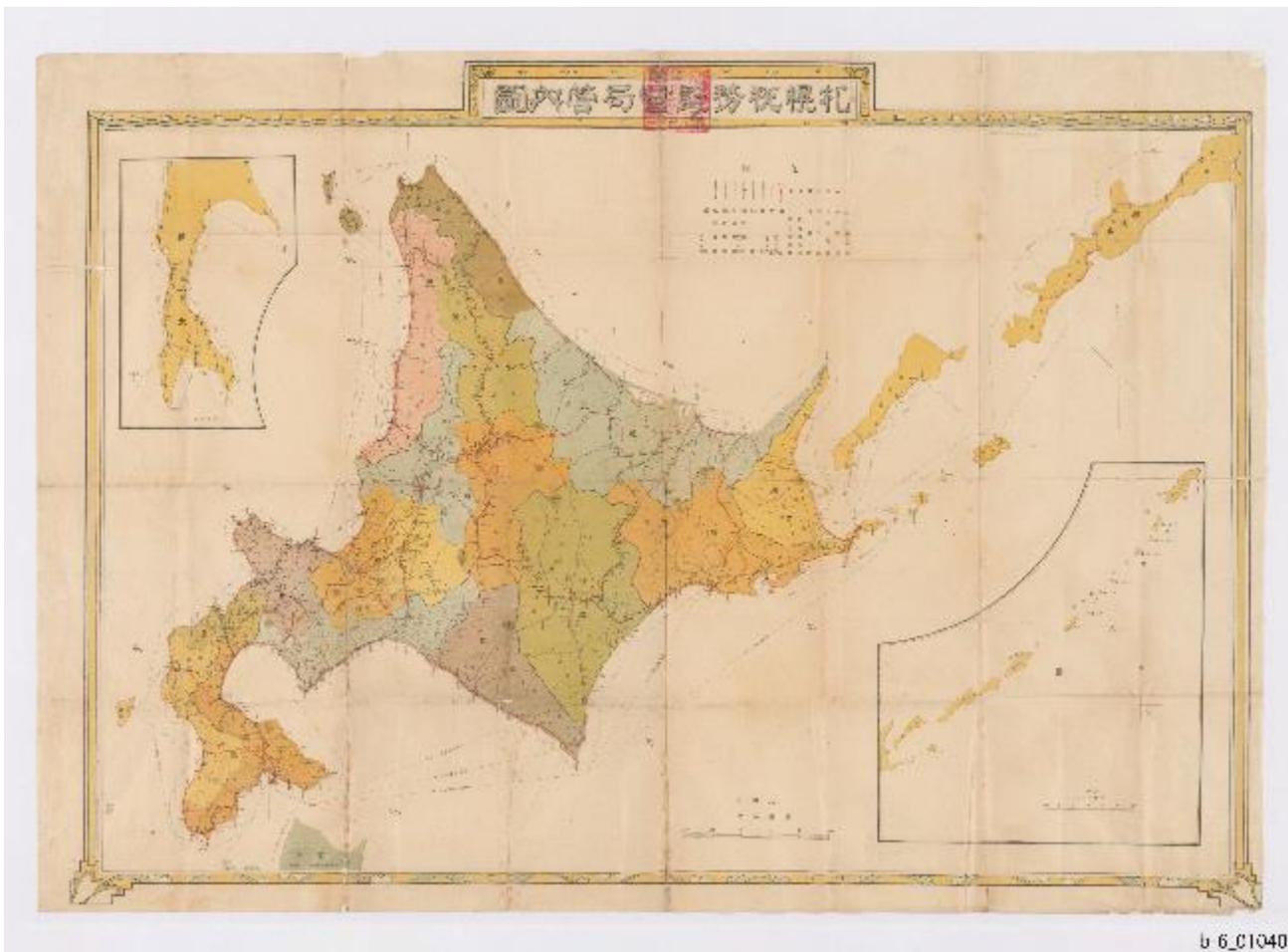


資料名	北海道全図
資料整理番号	b-6_01073
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	大正9年（1920）8月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	55(H)×79(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	大正9年（1920）8月、日下伊兵衛著作、和楽路屋（大阪）発行。樺太図、千島図のほかに旭川、札幌、小樽、函館の4市街図が掲載される。縮尺80万分の1である。印刷・色刷。



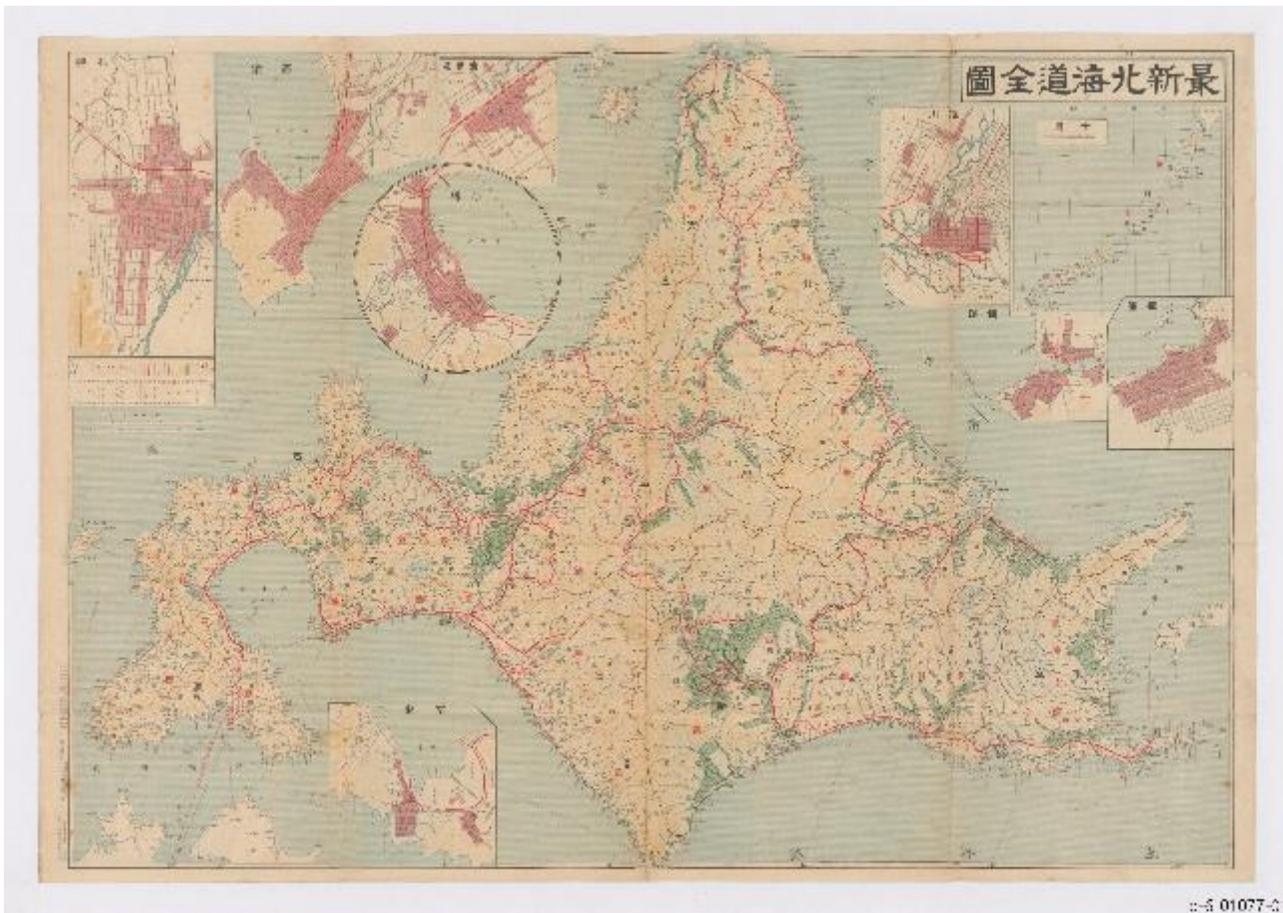
b-6_01074

資料名	要領北海道地図
資料整理番号	b-6_01074
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	大正12年（1923）10月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	55(H)×79(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	大正12年（1923）10月、中村信以著作、富貴堂書店（札幌）発行。千島図、重要海陸産物概覧が載る。縮尺85万分の1である。印刷・色刷。

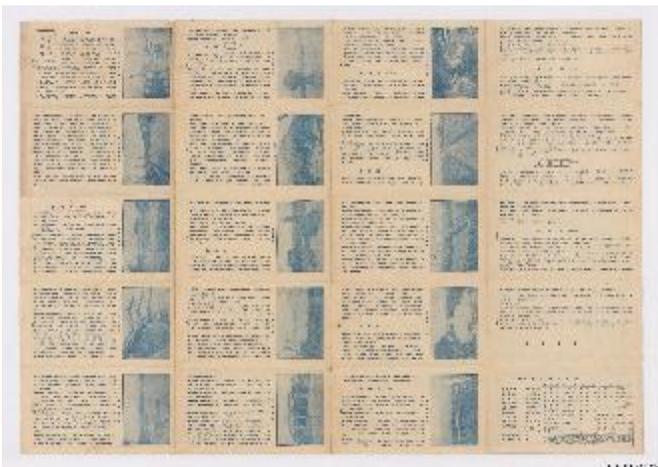


b 6_01040

資料名	札幌税務監督局管内図
資料整理番号	b-6_01040
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	大正14年（1925）
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	57(H)×82(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	鉄道施設の状況から大正14年（1925）頃の発行と推測される。千島図、樺太図が載り、クナシリ島、エトロフ島には航路のほか国道・里道も引かれている。縮尺100万分の1である。印刷・色刷。

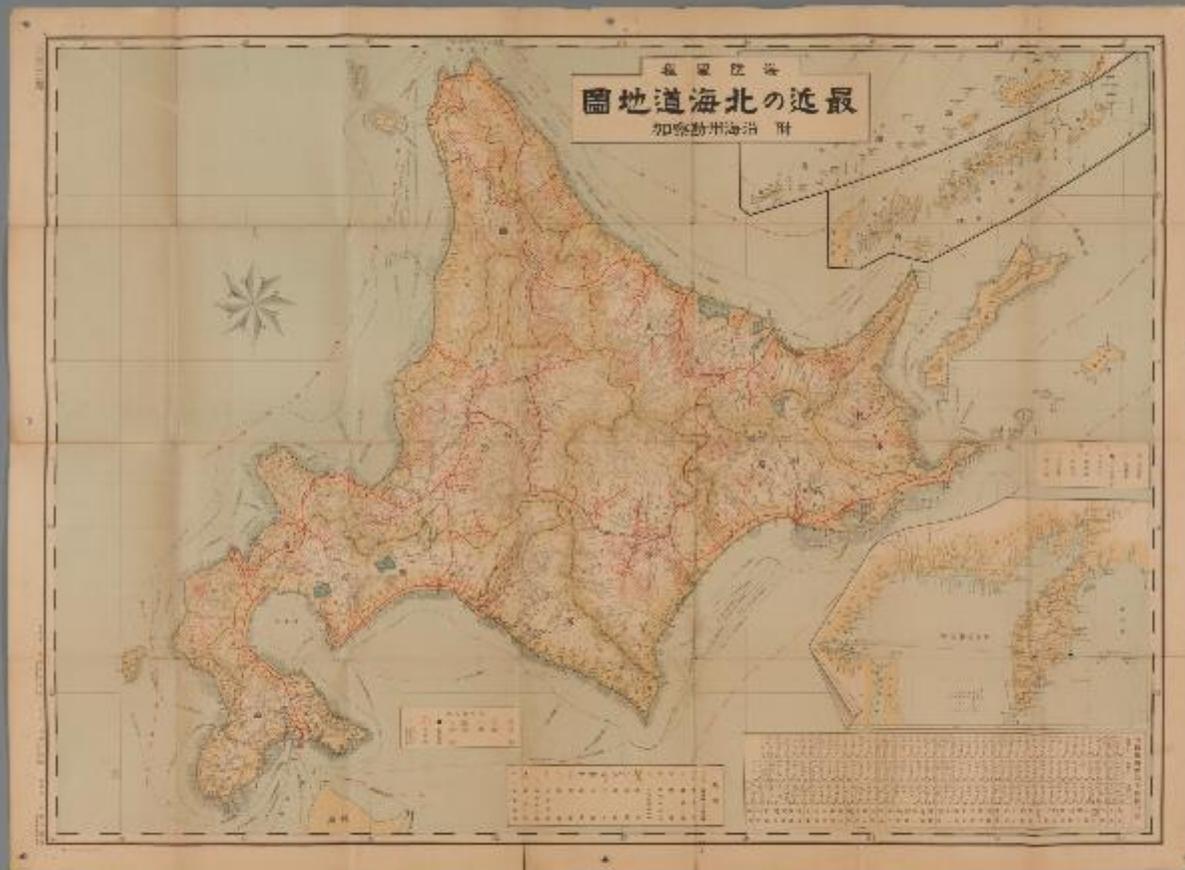


b-6 01077-01



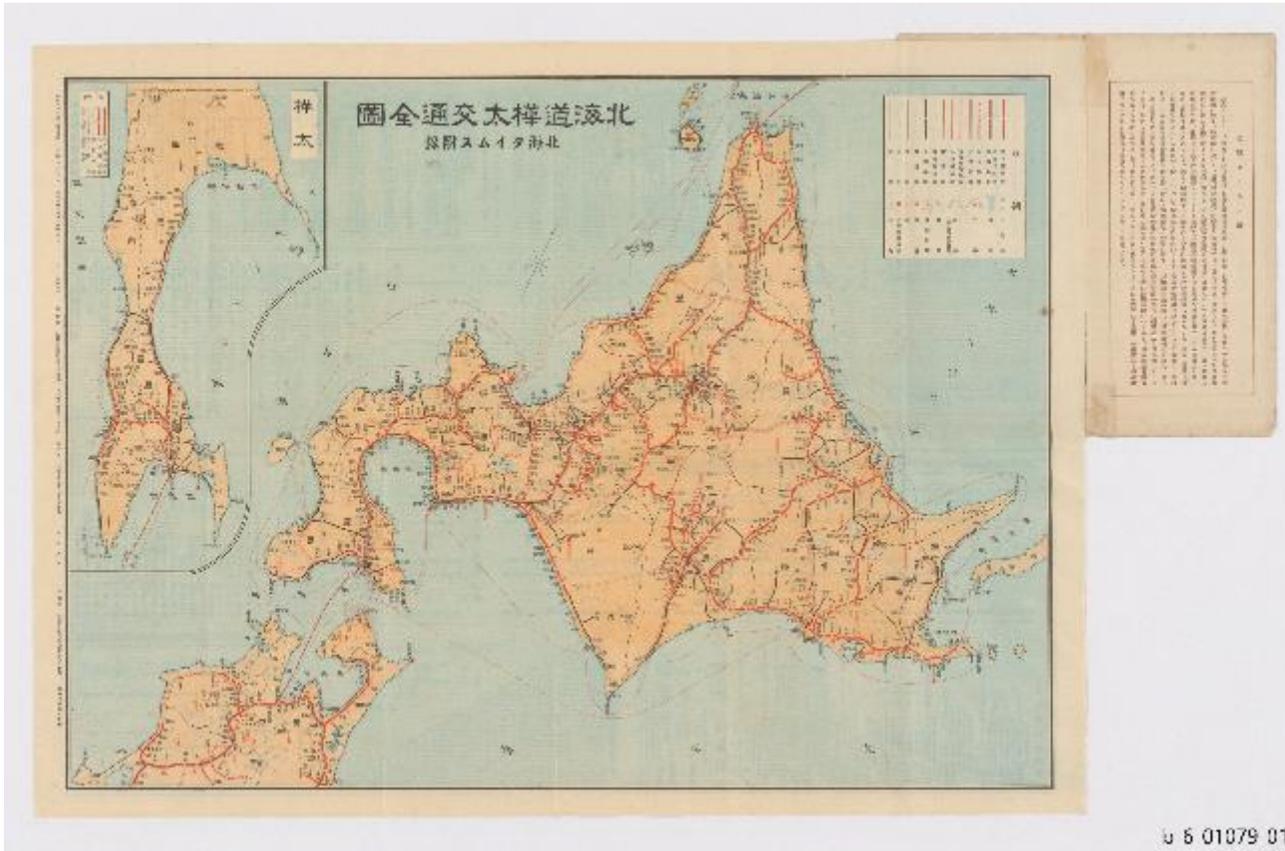
112112

資料名	最新北海道全図
資料整理番号	b-6_01077
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	大正15年（1926）1月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	55(H)×80(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	大正15年（1926）1月、大淵善吉編輯、小島大盛堂（函館）発行。千島図のほか、旭川、釧路、根室など8市街図を載せる。裏面は北海道各地の概況を写真入りで掲載する。縮尺80万分の1。袋入りである。印刷・色刷。



b-6_01076

資料名	海陸里程 最近の北海道地図
資料整理番号	b-6_01076
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	大正15年（1926）10月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	79(H)×109(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	大正15年（1926）10月、嵯峨野彦太郎編輯、小島大盛堂（函館）の発行である。千島諸島図、沿海州勘察加図のほかに帝国府県路程里町間尺記が掲載される。縮尺60万分の1。袋入りである。印刷・色刷。



b 6 01079 01



b 6 01079 02

資料名 北海道樺太交通全図

資料整理番号 b-6_01079

地域情報 全島

備考：-

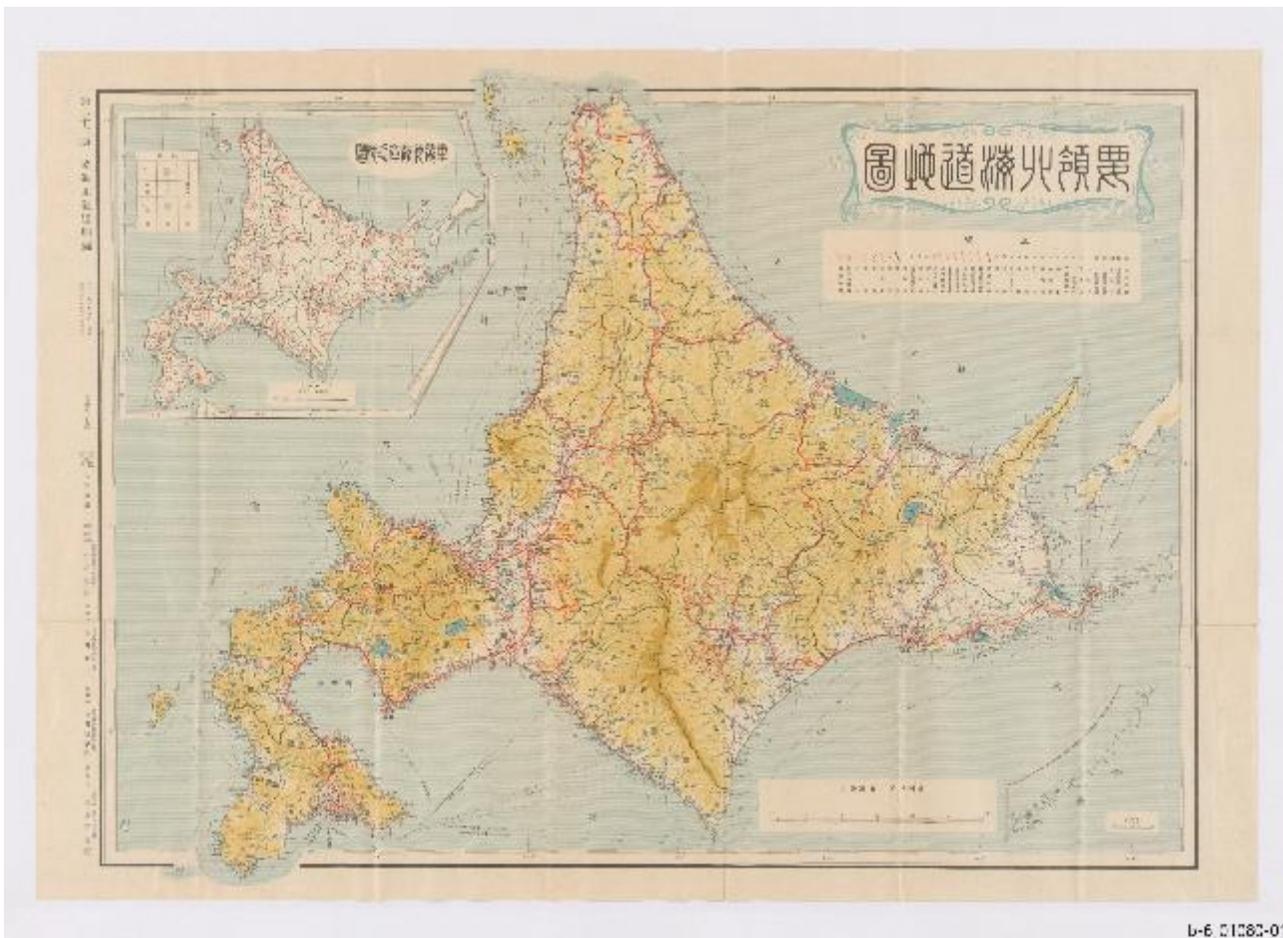
作成・発行時期 昭和5年（1930）6月

寄贈者/入手元 -

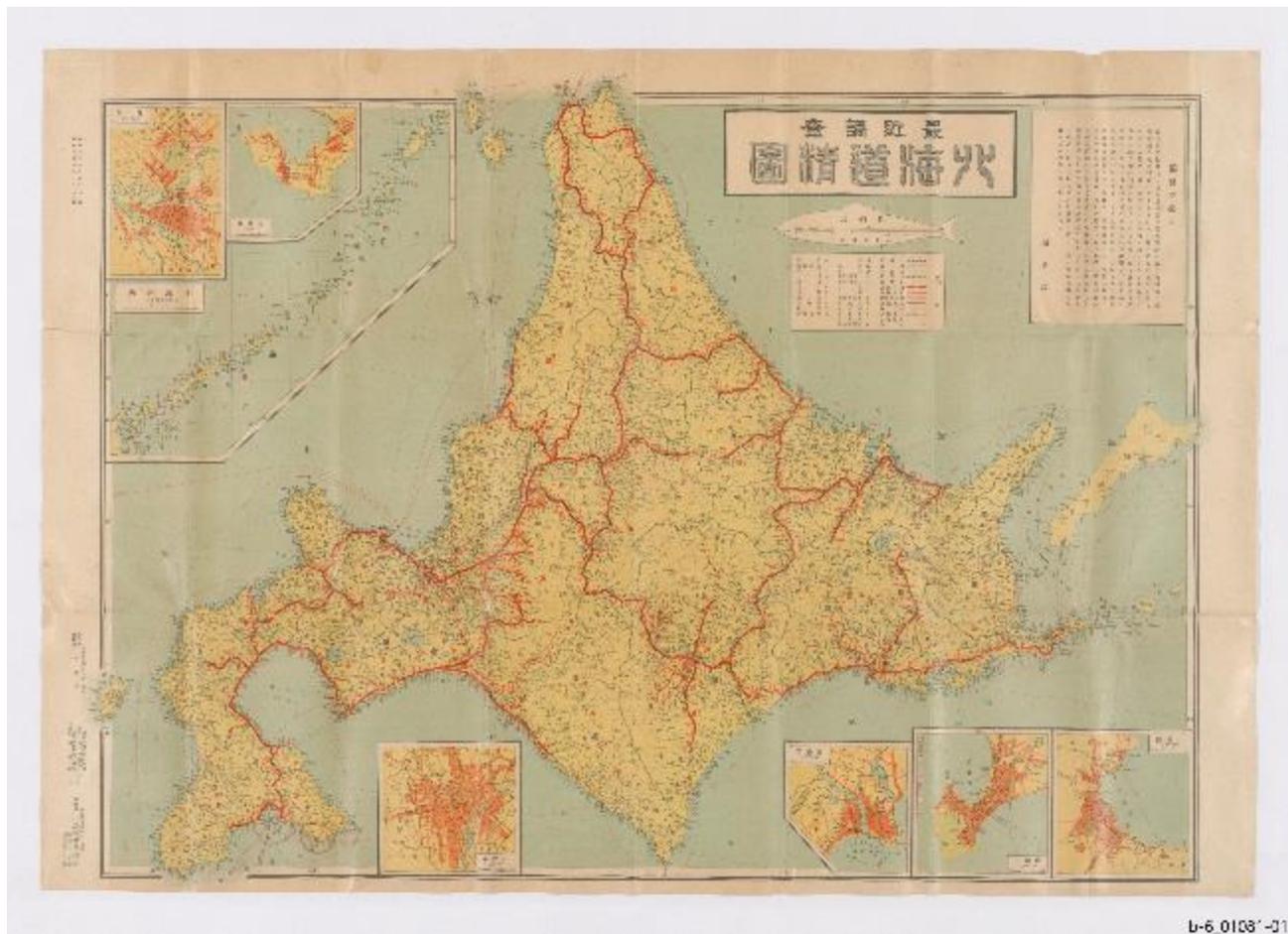
資料の寸法 cm 39(H)×54(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

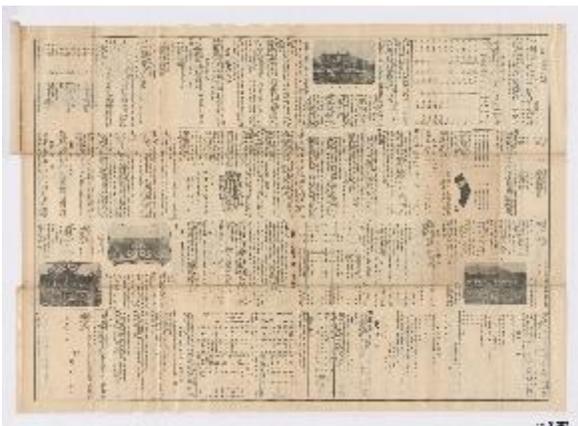
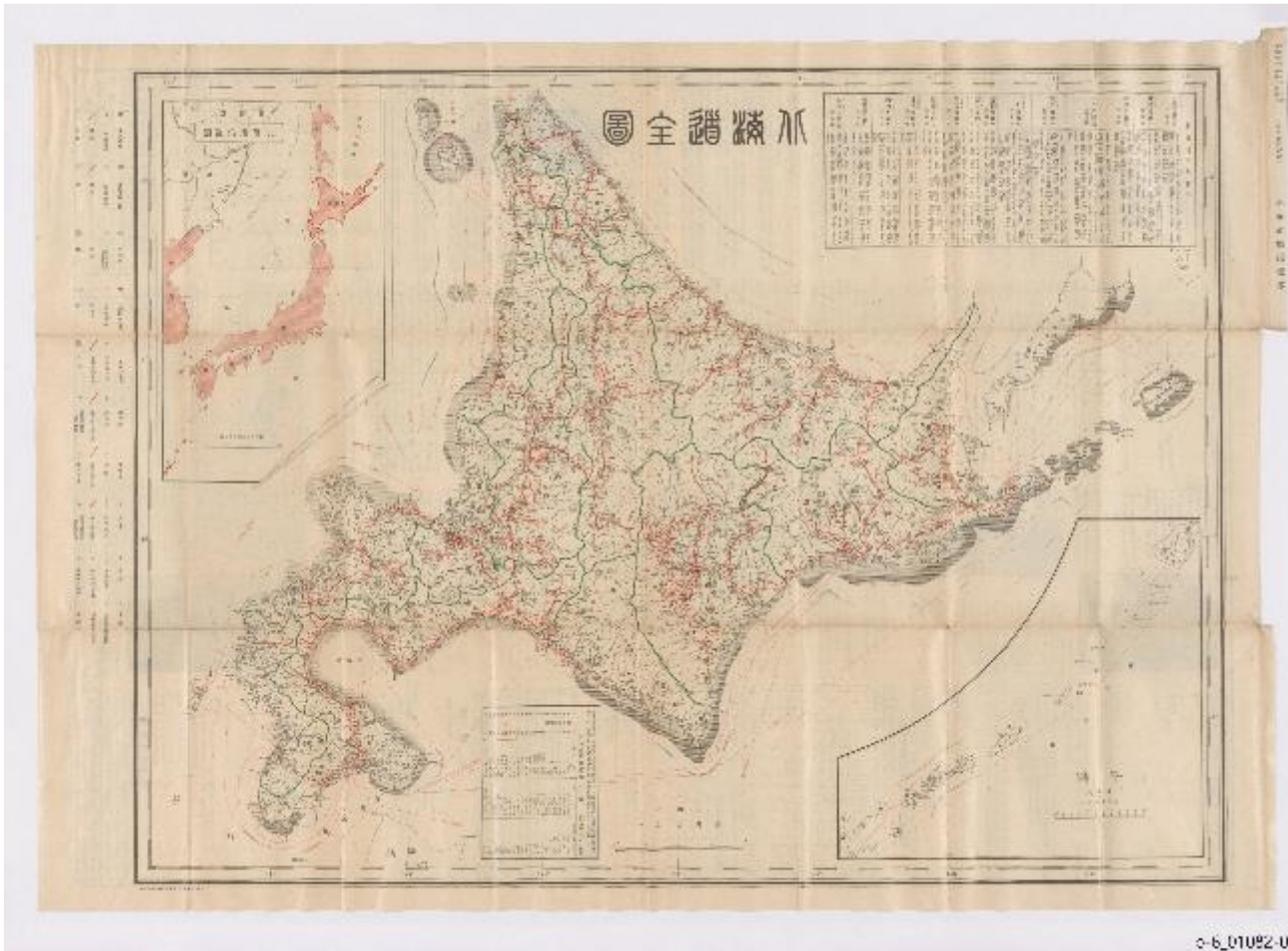
備考 昭和5年（1930）6月、北海タイムス社（札幌）の発行。樺太図が載り、千島諸島は国後島のみ描かれている。裏面に各種統計を載せる。縮尺不記である。印刷・色刷。



資料名	要領北海道地図
資料整理番号	b-6_01080
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	昭和5年（1930）7月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	54(H)×79(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	昭和5年（1930）7月、中村信以著作、富貴堂書房（札幌）発行。千島図のほかに重要海陸産物概覧がある。縮尺85万分の1。紙製ケース入りである。印刷・色刷。

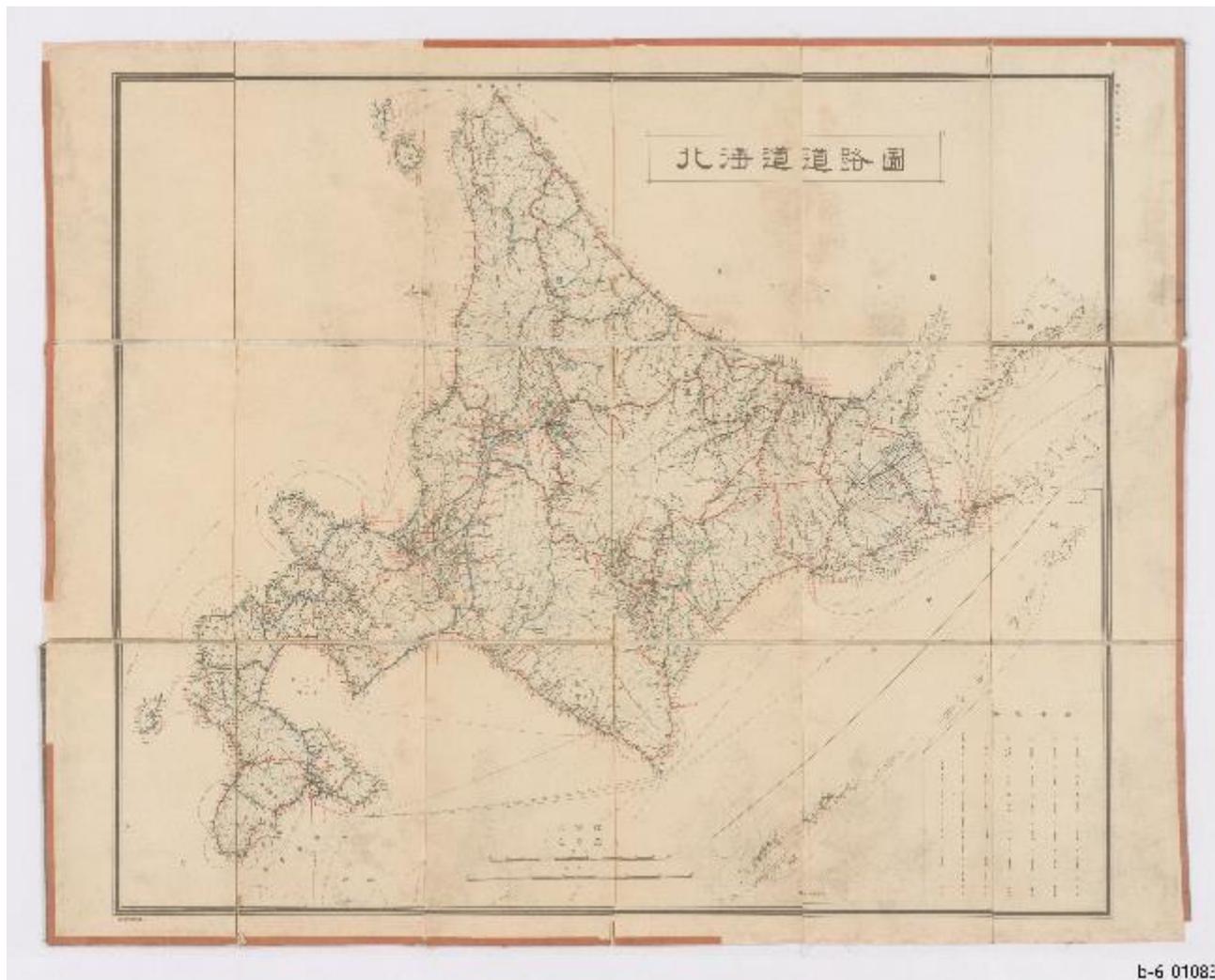


資料名	最近調査 北海道精図
資料整理番号	b-6_01081
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	昭和6年（1931）1月
寄贈者/入手元	－
資料の寸法 cm	55(H)×79(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	昭和6年（1931）1月、小島誠二著作、小島大盛堂書店（函館）発行。「編纂の趣旨」をはじめに載せ、千島列島図のほか旭川、室蘭、札幌など6市街図を掲載する。縮尺80万分の1である。印刷・色刷。

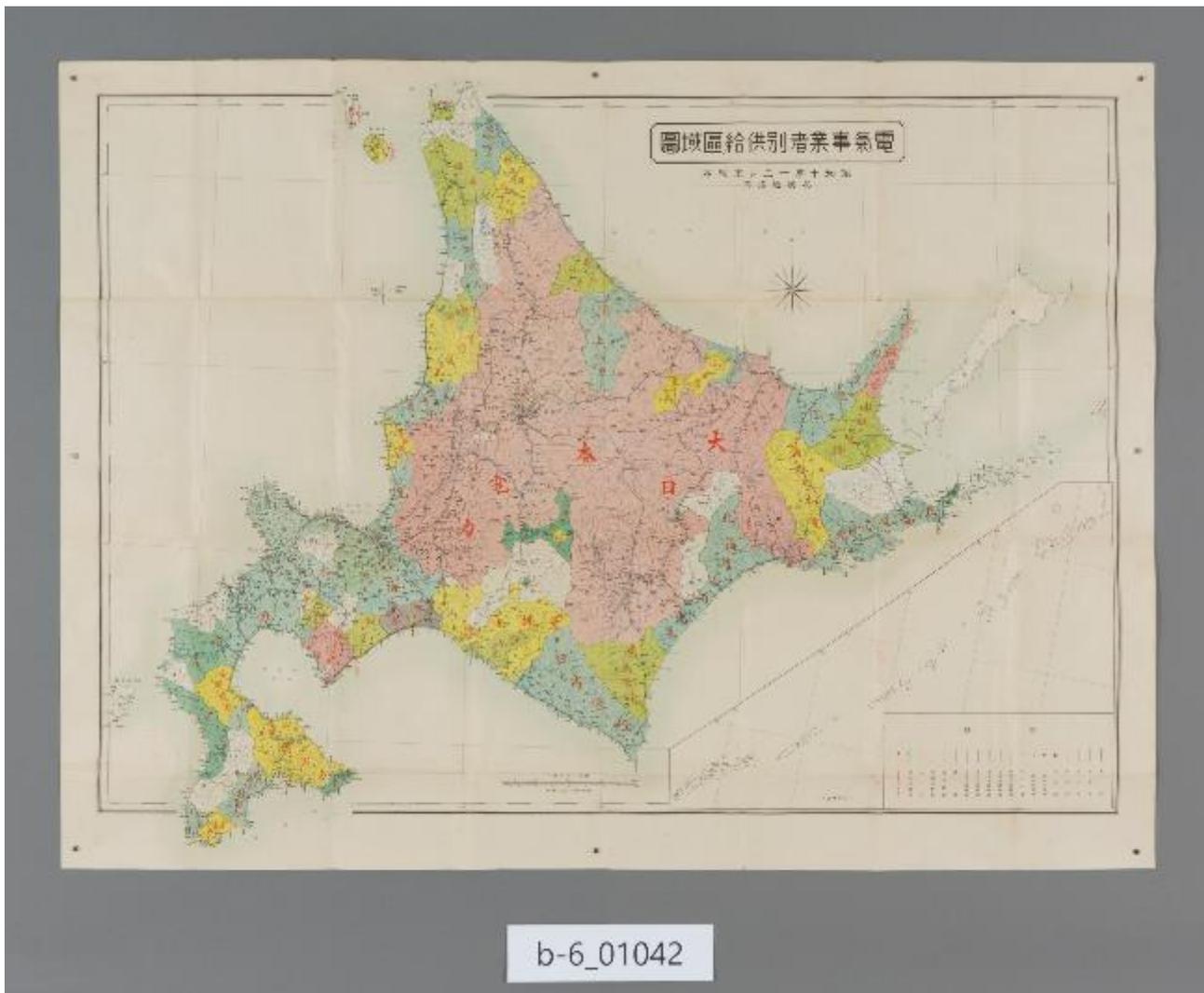


資料名	北海道全図
資料整理番号	b-6_01082
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	昭和6年（1931）3月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	54(H)×77(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会

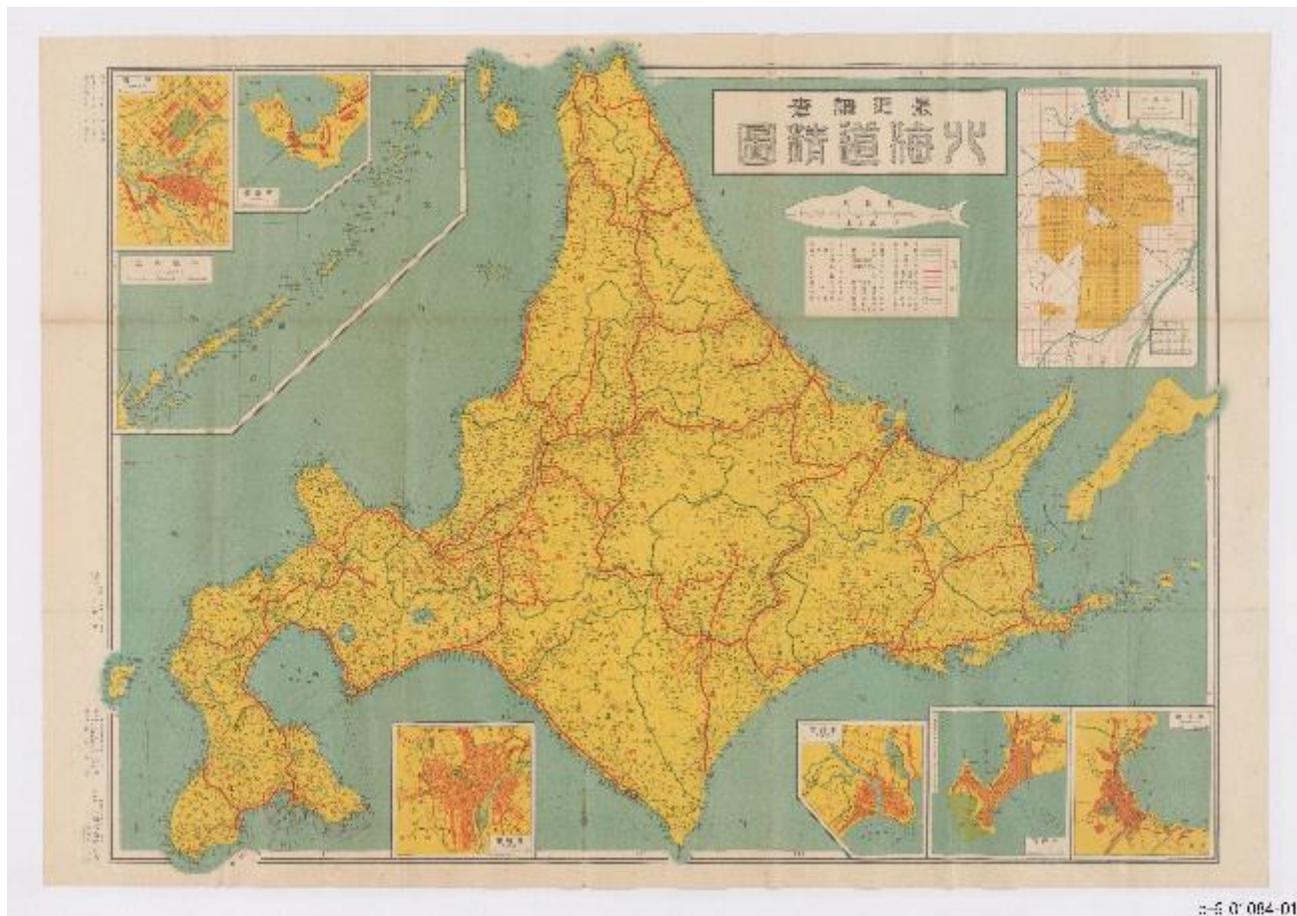
備考
昭和6年（1931）3月、外題『北海道移住案内 第29』で、北海道庁拓殖部から発行された。先の『北海道移住手引草』が24号（大正13年（1924）9月発行）から現在の外題に替え、昭和14年（1939）まで発行されたものである。千島図、北海道位置図が載り、北海道市町村名、市支庁別面積及人口表も掲載される。裏面にも北海道関係の諸記録が写真入りで多く載っている。縮尺100万分の1である。印刷・色刷。



資料名	北海道道路図
資料整理番号	b-6_01083
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	昭和10年（1935）7月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	55(H)×69(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	昭和10年（1935）7月、編集・発行所は不詳である。クナシリ島、エトロフ島に航路と道路が記載されている。縮尺100万分の1である。印刷・色刷。



資料名	電氣事業者別供給区域図
資料整理番号	b-6_01042
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	昭和十年（1935）12月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	80(H)×109(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	昭和十年（1935）12月、札幌逓信局の発行図である。千島諸島はカムチャツカ半島までを載せる。縮尺60万分の1である。印刷・色刷。



資料名 最近調査 北海道精図

資料整理番号 b-6_01084

地域情報 全島

備考：-

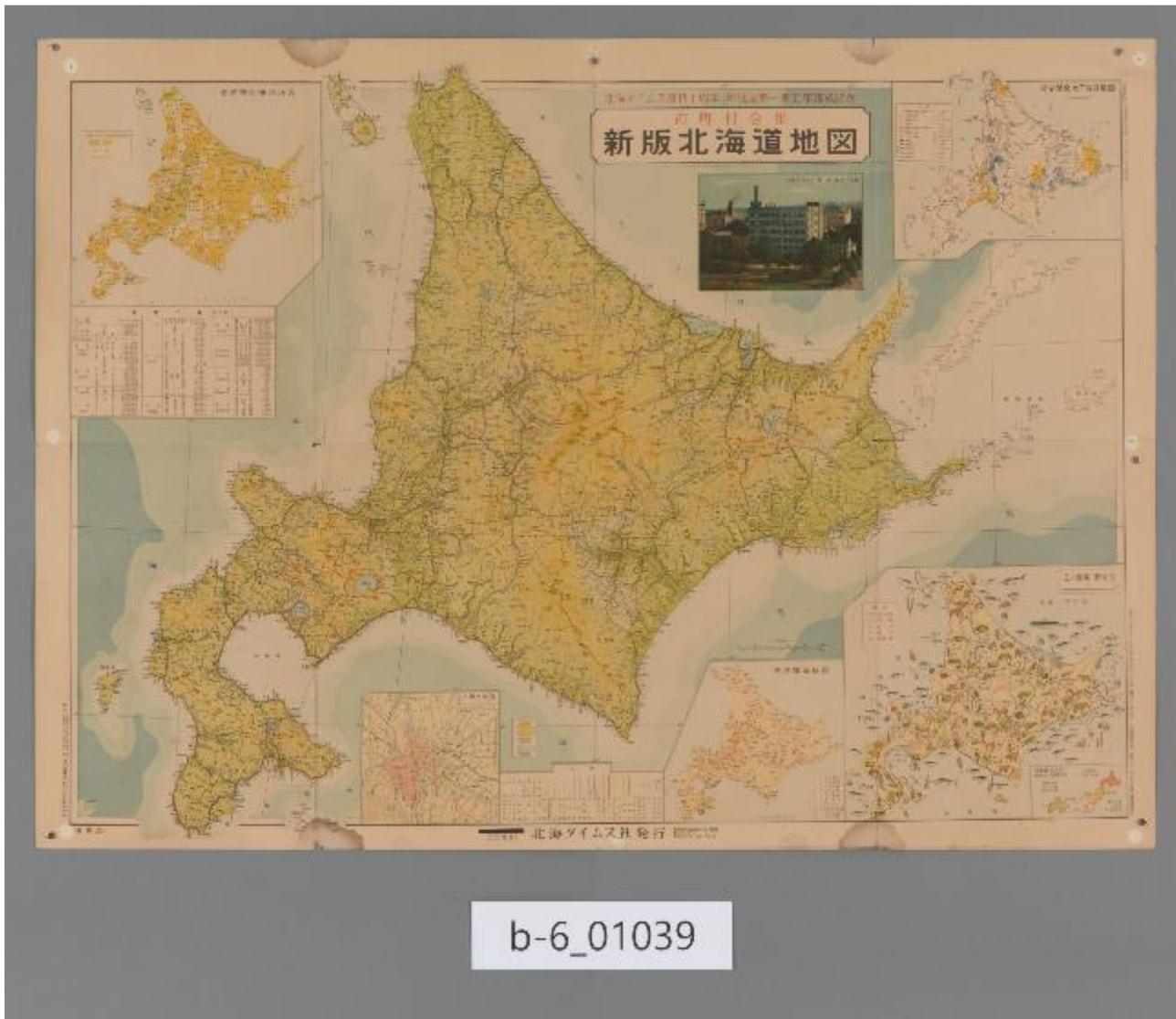
作成・発行時期 昭和14年（1939）3月

寄贈者/入手元 -

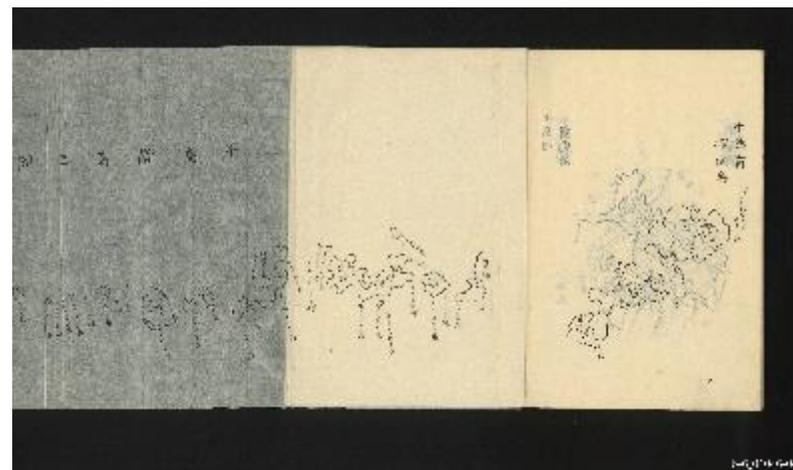
資料の寸法 cm 54(H)×79(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

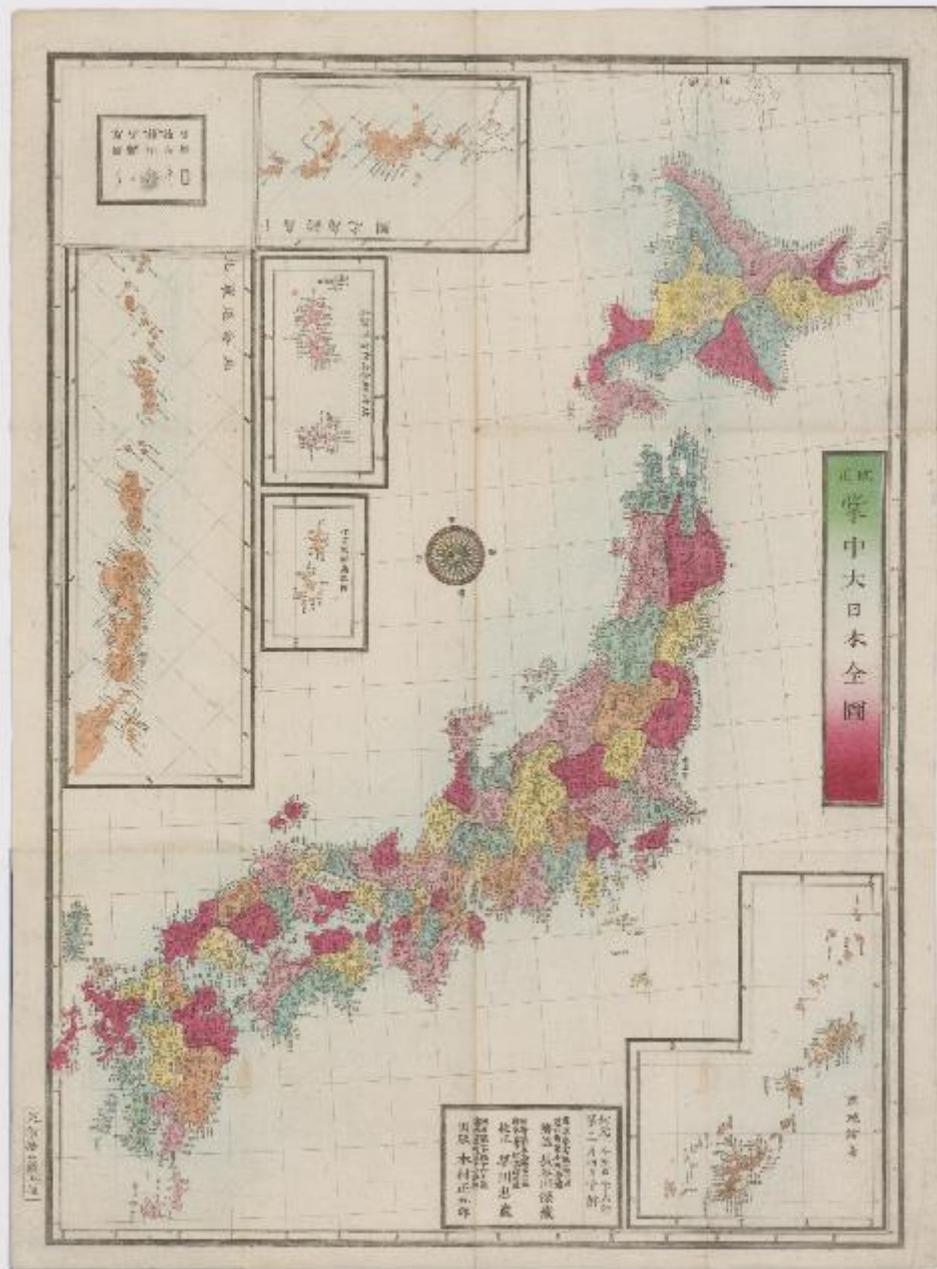
備考 昭和14年（1939）3月、小島誠二著作、小島大盛堂書店（函館）発行。千島列島図のほか帯広、室蘭、小樽など7市街図を載せる。縮尺80万分の1。袋入りである。印刷・色刷。



資料名	新版北海道地図
資料整理番号	b-6_01039
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	昭和30年（1955）12月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	63(H)×88(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	昭和30年（1955）12月、北海タイムス社（札幌）発行図である。市町村合併現況図、主な産業観光図、地下資源要図などを載せる。国後島、歯舞諸島、色丹島が掲載され、地名も詳細に記載される。縮尺76万分の1である。印刷・色刷。



資料名	大日本図解
資料整理番号	b-6_01046
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	明治初期（1868～）
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	19(H)×24(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	明治初期（1868～）の作成と推測される地図帳である。全国各地の84図のほか、国尻島図、択捉島図、千島諸島之図（折込み図）がある。中村甚之輔写とあるが、中村甚之輔については知るところがない。写図・無彩。



b-6_01048-01

資料名 改正掌中大日本全図

資料整理番号 b-6_01048

地域情報 全島

備考：-

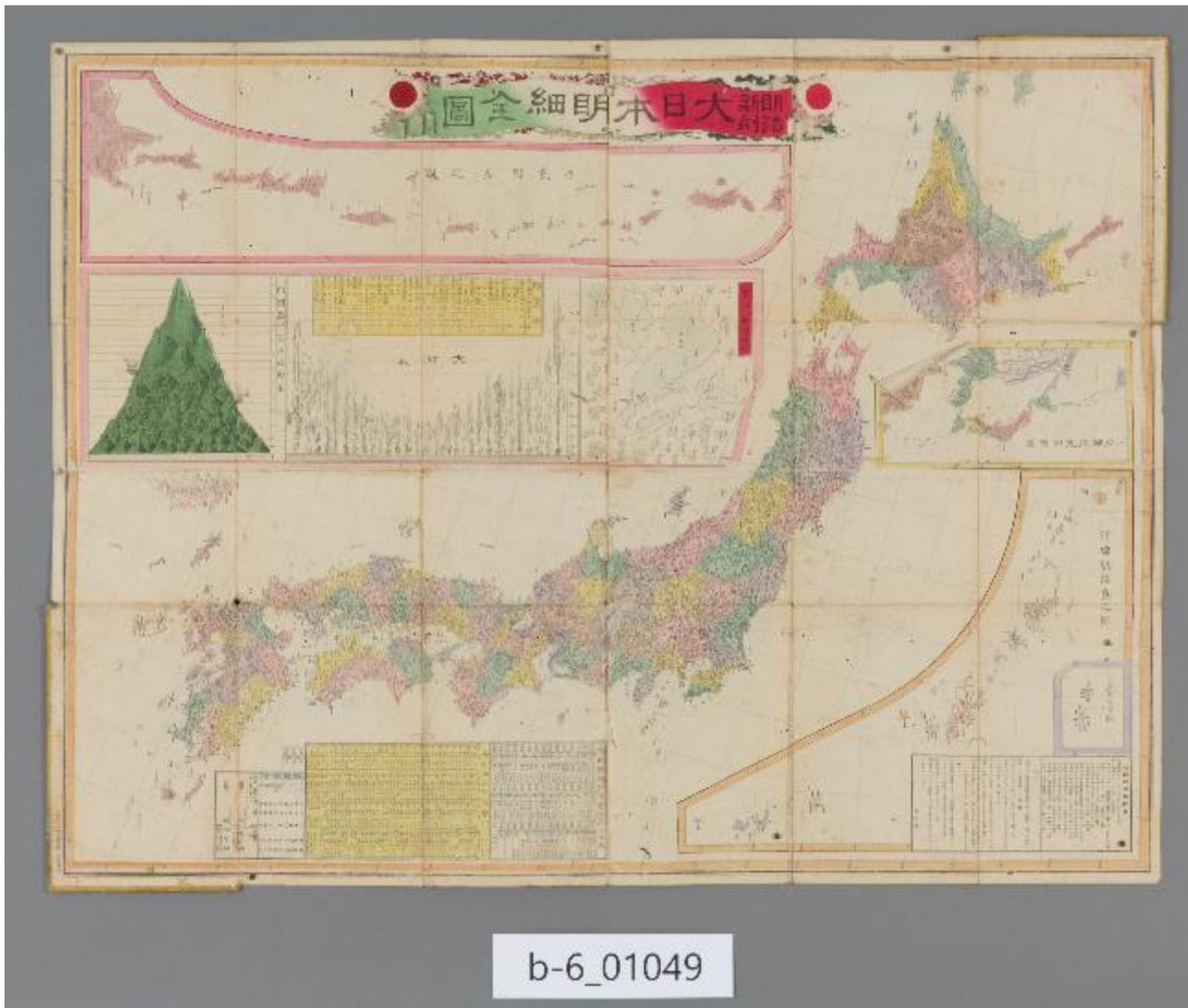
作成・発行時期 明治9年（1876）2月

寄贈者/入手元 -

資料の寸法 cm 48(H)×36(W)

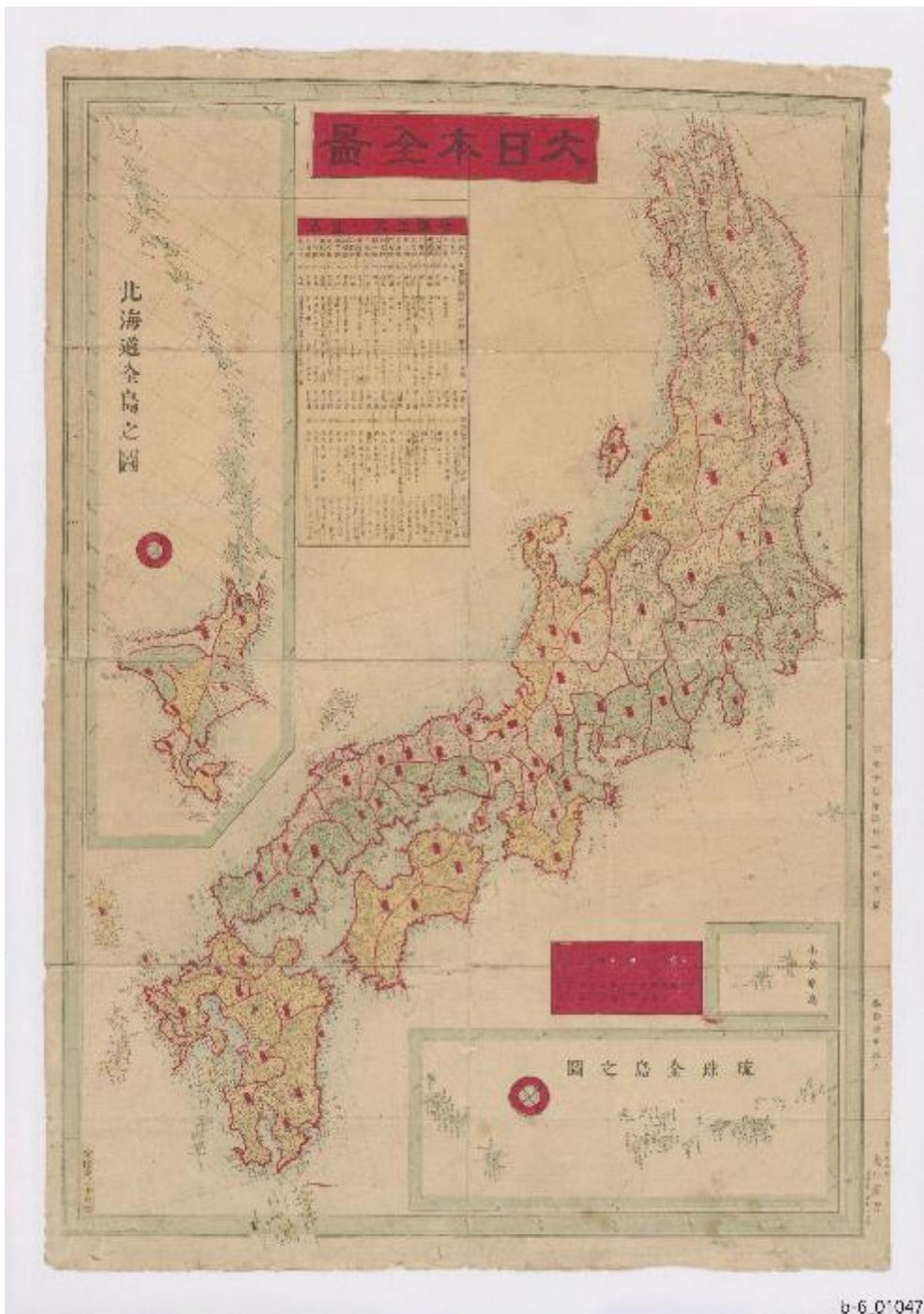
所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 明治9年（1876）2月、長谷川深藏著述、木村正五郎（東京）発行。千島諸島之図、琉球諸島図、小笠原群島総図が掲載される。縮尺不記である。銅版・色刷。



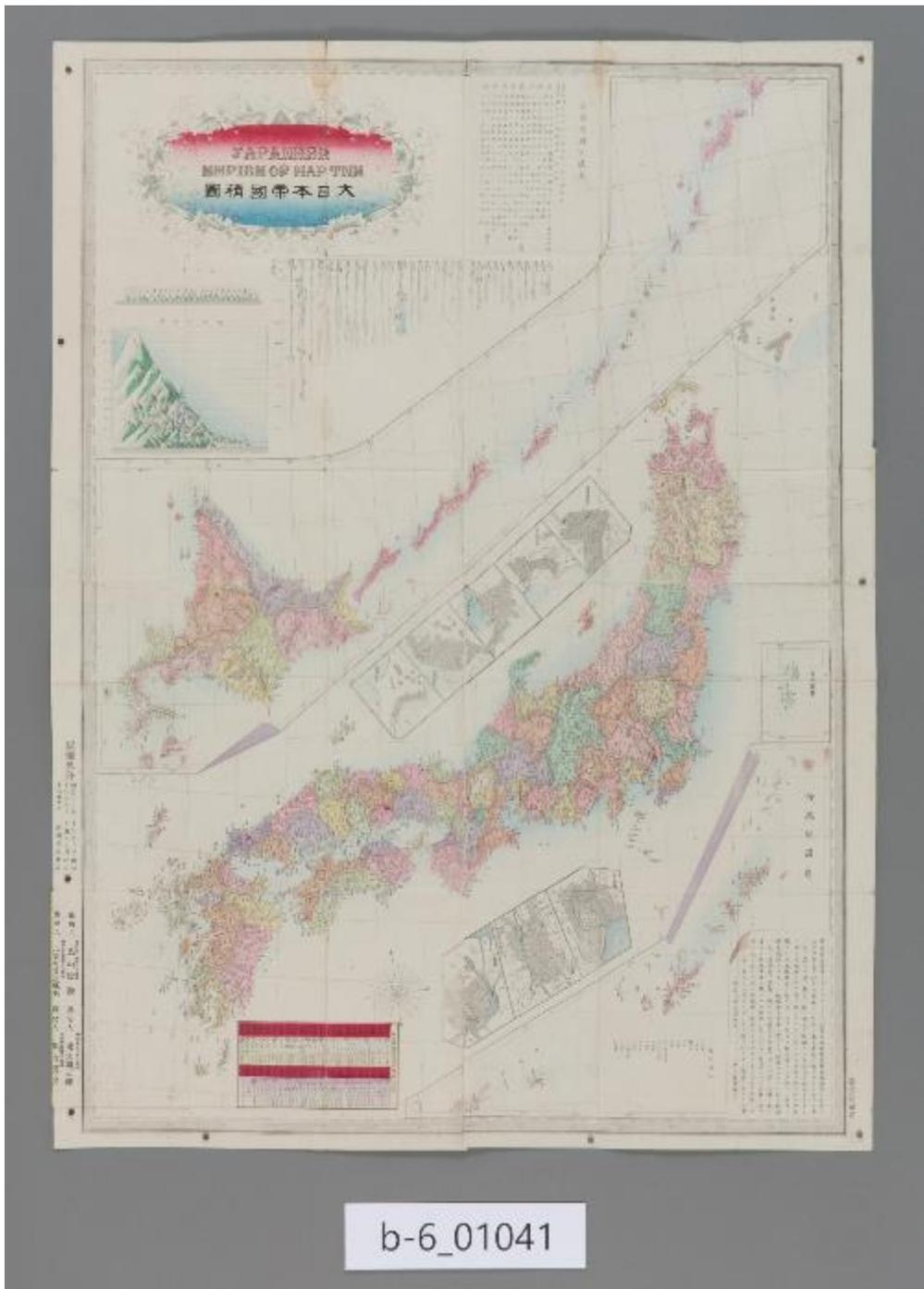
b-6_01049

資料名	明治新刻 大日本明細全図
資料整理番号	b-6_01049
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	明治15年（1882）4月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	70(H)×94(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	明治15年（1882）4月、水口龍之助編輯、森本専助（大阪）出版。亜細亞東部略図、千島諸島之図、沖繩県諸島之図、小笠原群島図のほか、湖沼表、大河表、灯台表、高山直立比例表、全国周廻里数表などを掲載する。縮尺不記である。銅版・色刷。



b_6_01047

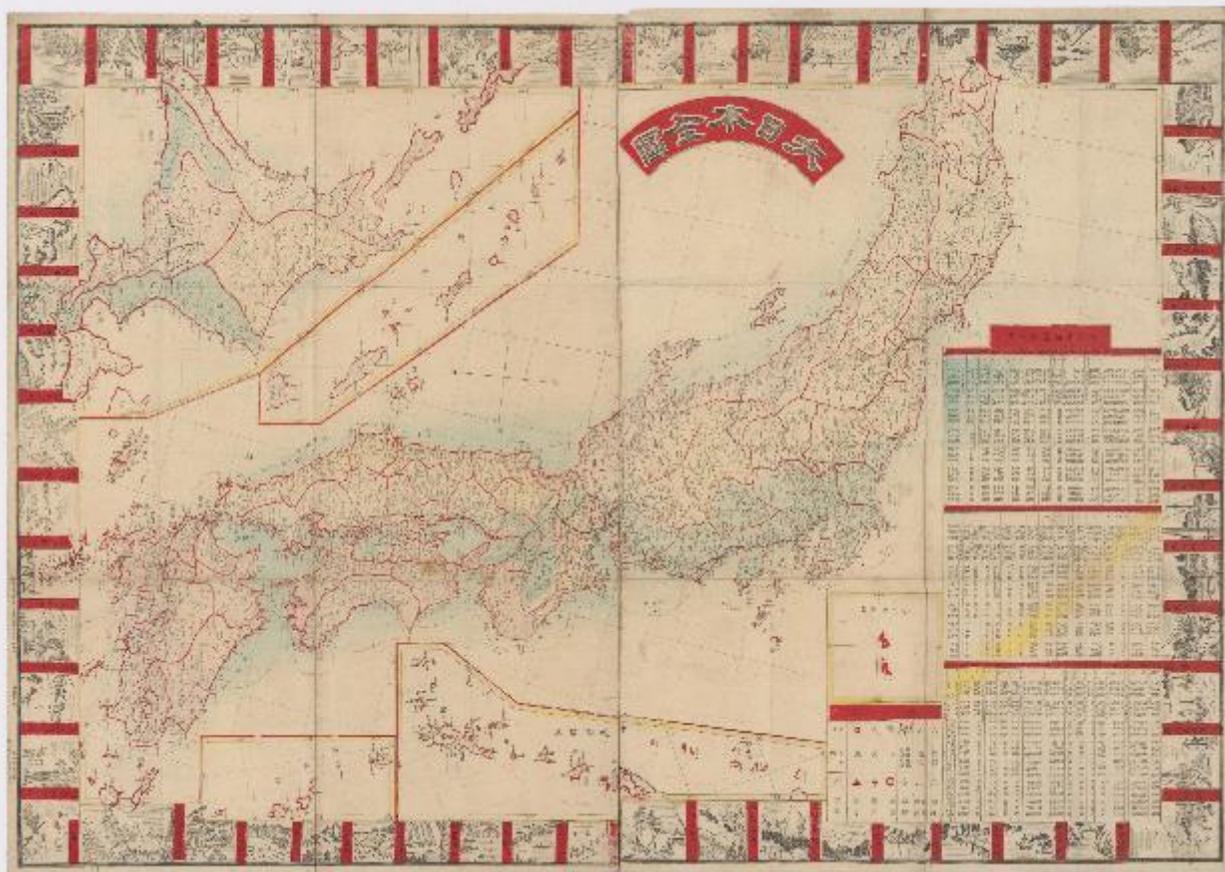
資料名	大日本全図
資料整理番号	b-6_01047
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	明治17年（1884）4月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	71(H)×50(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	明治17年（1884）4月、大川錠吉編輯（東京）・発行。北海道全島之図、琉球全島之図、小笠原島図のほか府県里程一覧を載せる。縮尺不記である。石版・色刷。



b-6_01041



資料名	大日本帝国精図
資料整理番号	b-6_01041
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	明治19年（1886）10月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	92(H)×69(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	明治19年（1886）10月、鳥山俊傑編輯、明治書房（東京）発行。外題は『帝国大日本精図』である。東京、京都、大阪など8図のほか、沖縄県諸島、小笠原群島が載り、各府県庁位置及里程表、全国周廻里数表、高山比例表、火山表、河川表が載る。縮尺不記である。石版・色刷。



b-6_01050

資料名 大日本全図

資料整理番号 b-6_01050

地域情報 全島

備考：-

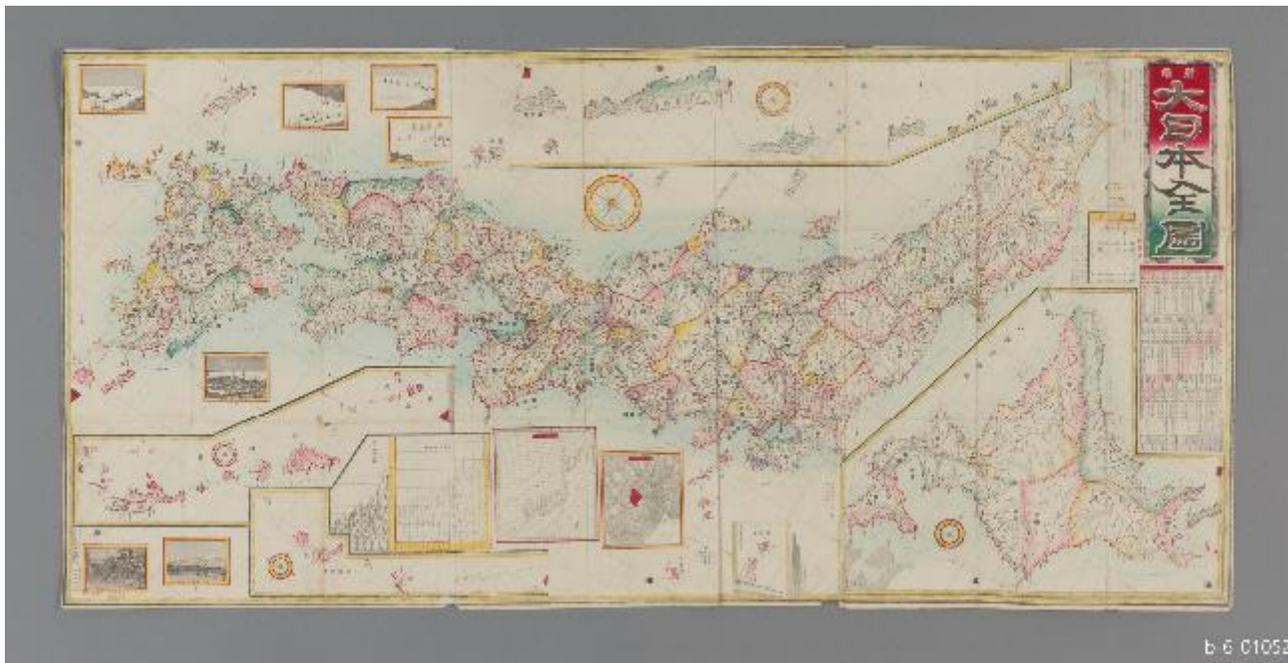
作成・発行時期 明治19年（1886）12月

寄贈者/入手元 -

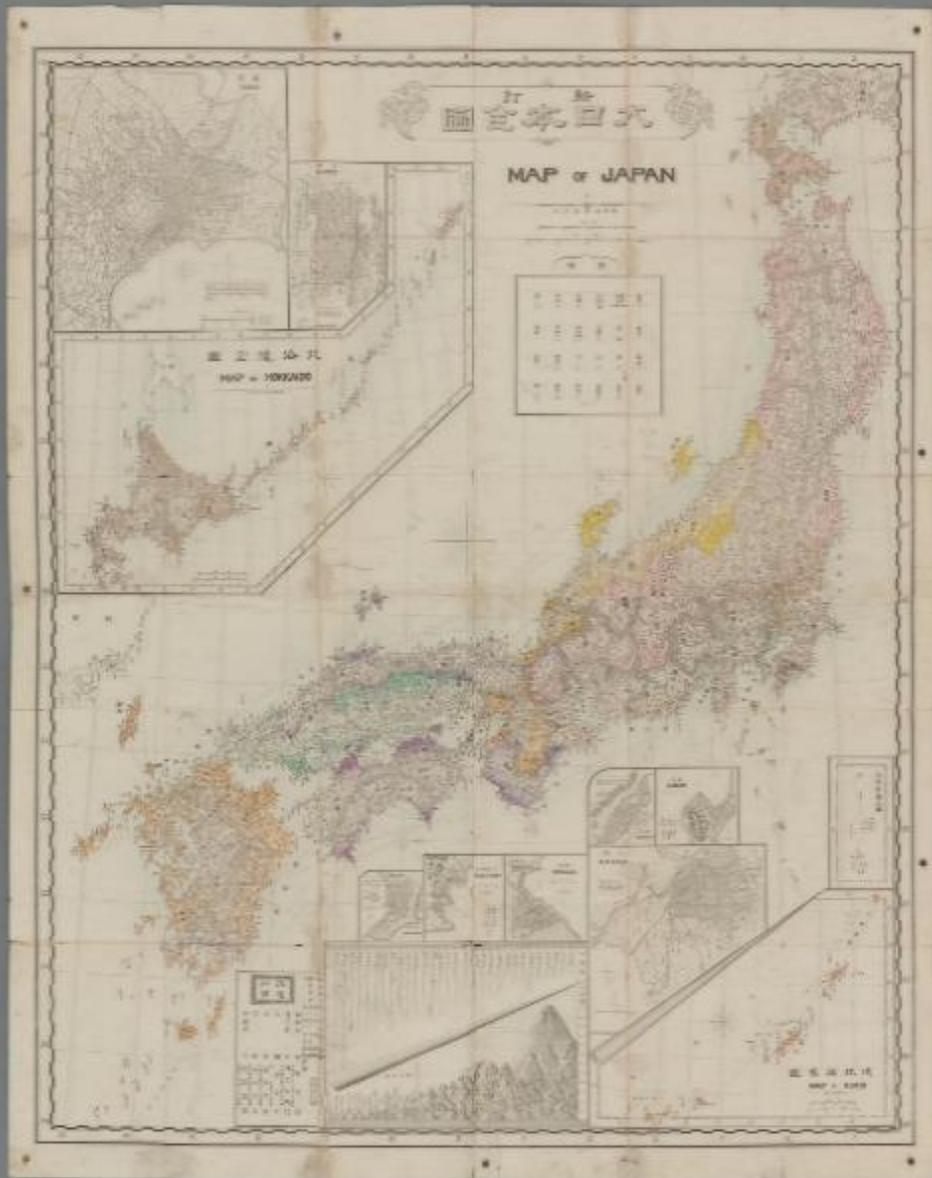
資料の寸法 cm 51(H)×74(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 明治19年（1886）12月、嵯峨野彦太郎編輯・発行（東京）。千島諸島、沖縄県諸島、小笠原群島のほか、府県管轄区郡名表を載せ、さらに地図の周囲に全国各地の名勝絵62図を掲載している。縮尺不記である。嵯峨野は、日本地図、北海道地図などを長期間にわたって著作・発行した人物である。銅版・色刷。

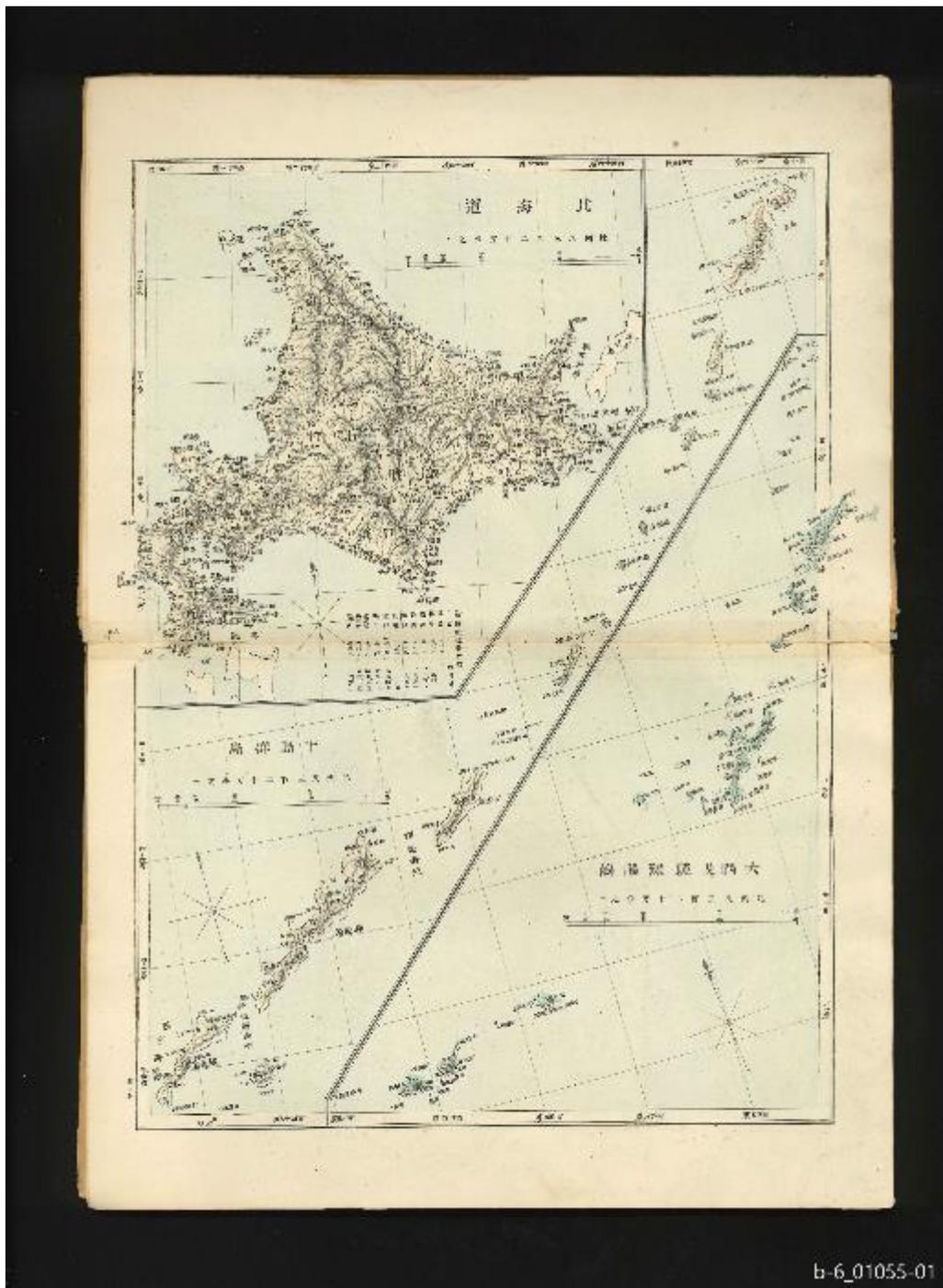


資料名	新鑄大日本全図
資料整理番号	b-6_01052
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	明治22年（1889）4月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	52(H)×111(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	明治22年（1889）4月、嵯峨野彦太郎著作（東京）・発行である。千島諸島図、沖縄諸島図のほか、日本全体略図、日本山岳高程、東京ヨリ里程一覧などがあり、京都、大阪などの風景図7図を載せる。縮尺220万分の1。銅版・色刷。



b-6_01054

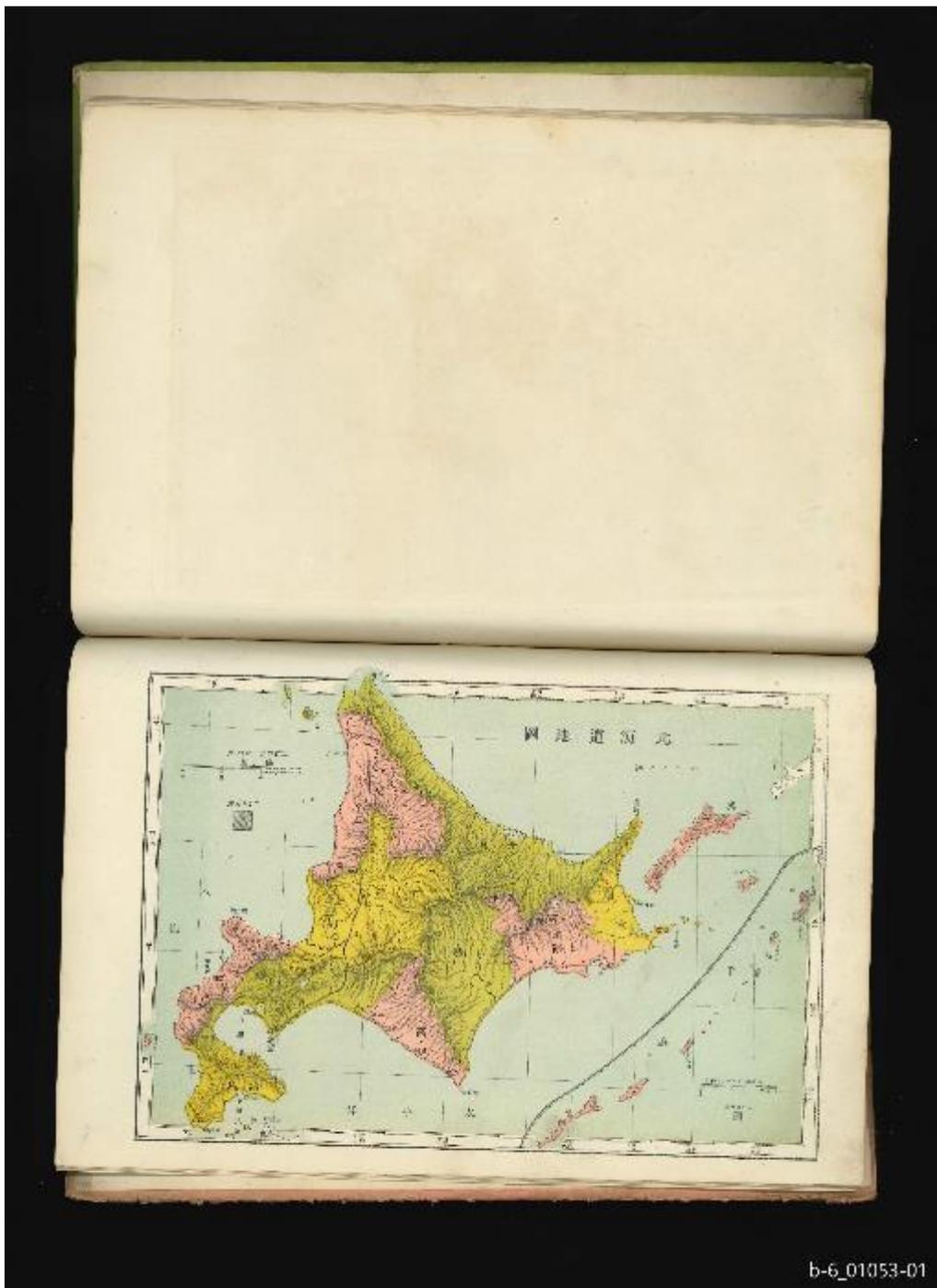
資料名	新訂大日本全図
資料整理番号	b-6_01054
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	明治24年（1891）3月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	91(H)×72(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	明治24年（1891）3月、狩野守節編輯、小林喜右衛門（東京）ほか発行。北海道全図、琉球諸島図、小笠原諸島之図のほか、東京、大阪、京都などの8市街図、川流・山岳表も載っている。縮尺172万8千分の1である。石版・色刷。



b-6_01055-01



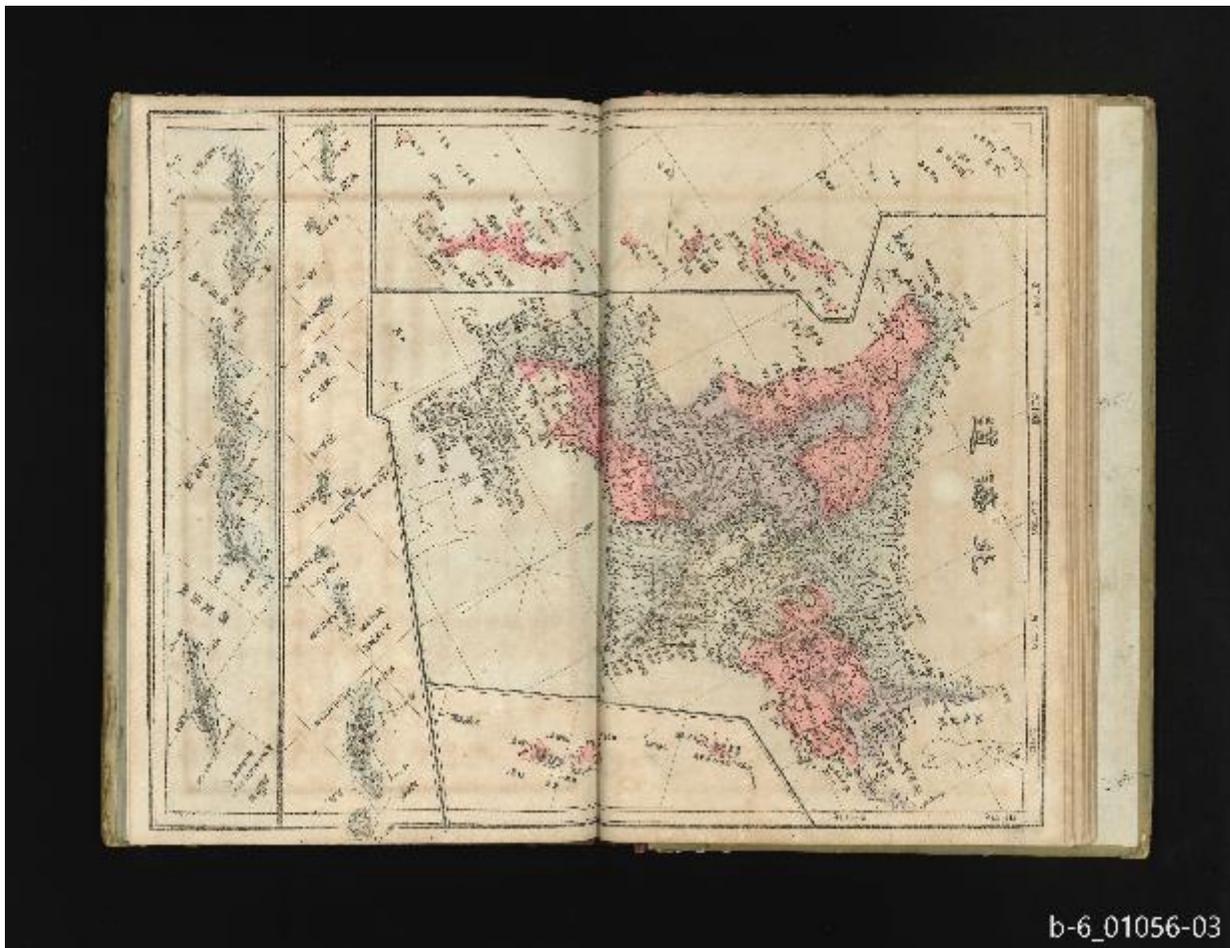
資料名	日本校用分国地図
資料整理番号	b-6_01055
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	明治24年（1891）3月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	35(H)×25(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	明治24年（1891）3月発行の日本地図帳（全7図）である。東京製図会社編輯、杉本書店（東京）発行。北海道地図（縮尺320万分の1）の頁に、千島群島図、大隅及琉球諸嶋図が載る。石版・色刷。



b-6_01053-01



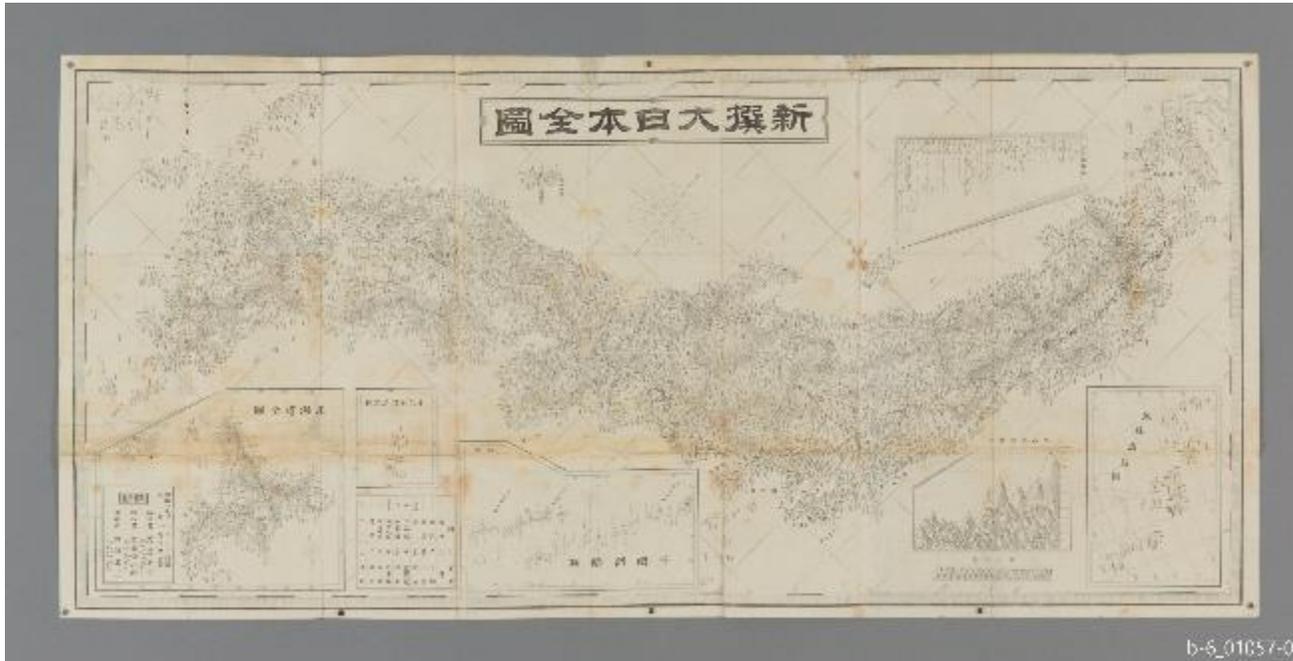
資料名	大日本地図
資料整理番号	b-6_01053
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	明治24年（1891）10月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	26(H)×36(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	明治24年（1891）10月発行の日本地図帳（全14図）である。金港堂編輯所編輯。北海道地図（縮尺300万分の1）に千島図が掲載される。石版・色刷。



b-6_01056-03



資料名	大日本分国新図
資料整理番号	b-6_01056
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	明治26年（1893）12月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	18(H)×24(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	明治26年（1893）12月発行の日本地図帳（全10図）である。清水善博著作、濱本伊三郎（大阪）発行。後半は全国の統計を載せる。北海道地図の中に千島諸島図を掲載している。石版・色刷。



資料名 新撰大日本全図

資料整理番号 b-6_01057

地域情報 全島

備考：-

作成・発行時期 明治27年（1894）1月

寄贈者/入手元 -

資料の寸法 cm 50(H)×108(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 明治27年（1894）1月、渡邊直之編輯、加藤福次郎（東京）発行。北海道全図、千島諸島図、琉球諸島図、小笠原諸島之図を載せ、ほかに河川比較表、山岳高低比較表、噴火山表がある。縮尺不記である。石版・墨刷。





資料名 帝国日本全図

資料整理番号 b-6_01037

地域情報 全島

備考：-

作成・発行時期 明治28年（1895）1月

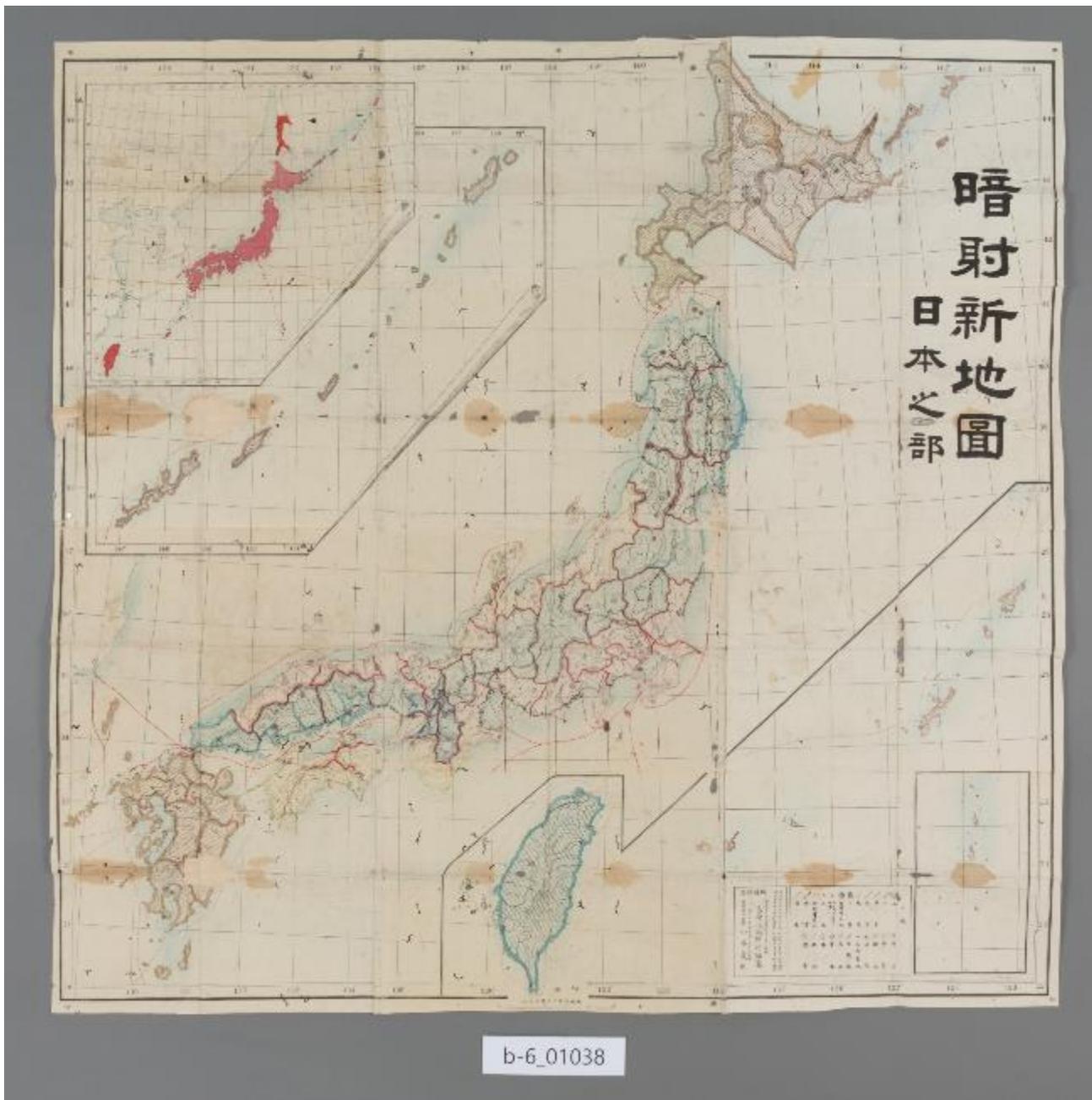
寄贈者/入手元 -

資料の寸法 cm 73(H)×99(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 明治28年（1895）1月、服部敬一著作、小川虎松（東京）発行。北海道千島諸嶋、大隅及琉球諸嶋、小笠原群島の各図のほか、高山比較表、噴火山表、川流比較表も載る。縮尺不記である。石版・色刷。





資料名 暗射新地図 日本之部

資料整理番号 b-6_01038

地域情報 全島

備考：-

作成・発行時期 明治31年（1898）7月

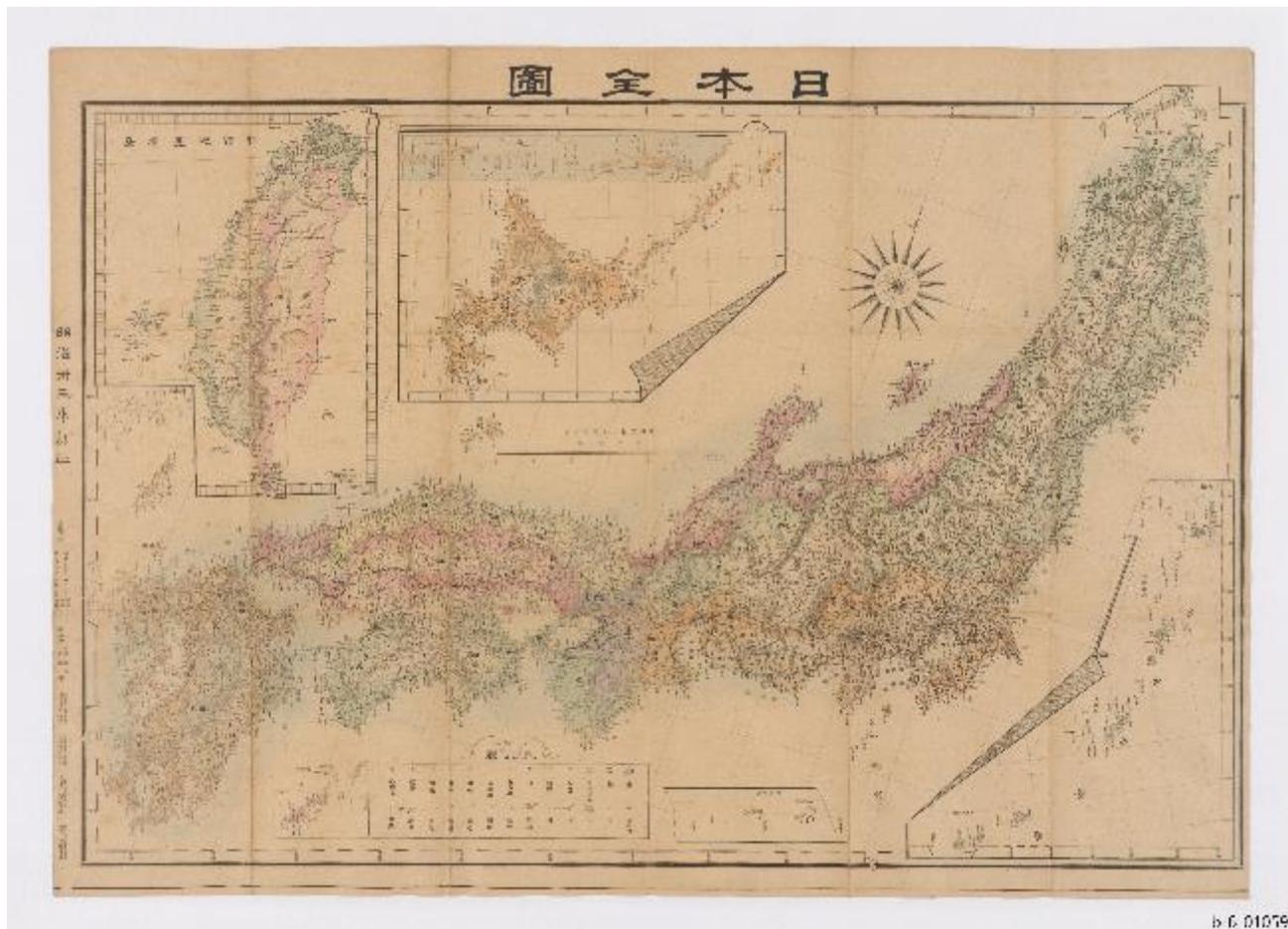
寄贈者/入手元 -

資料の寸法 cm 138(H)×145(W)

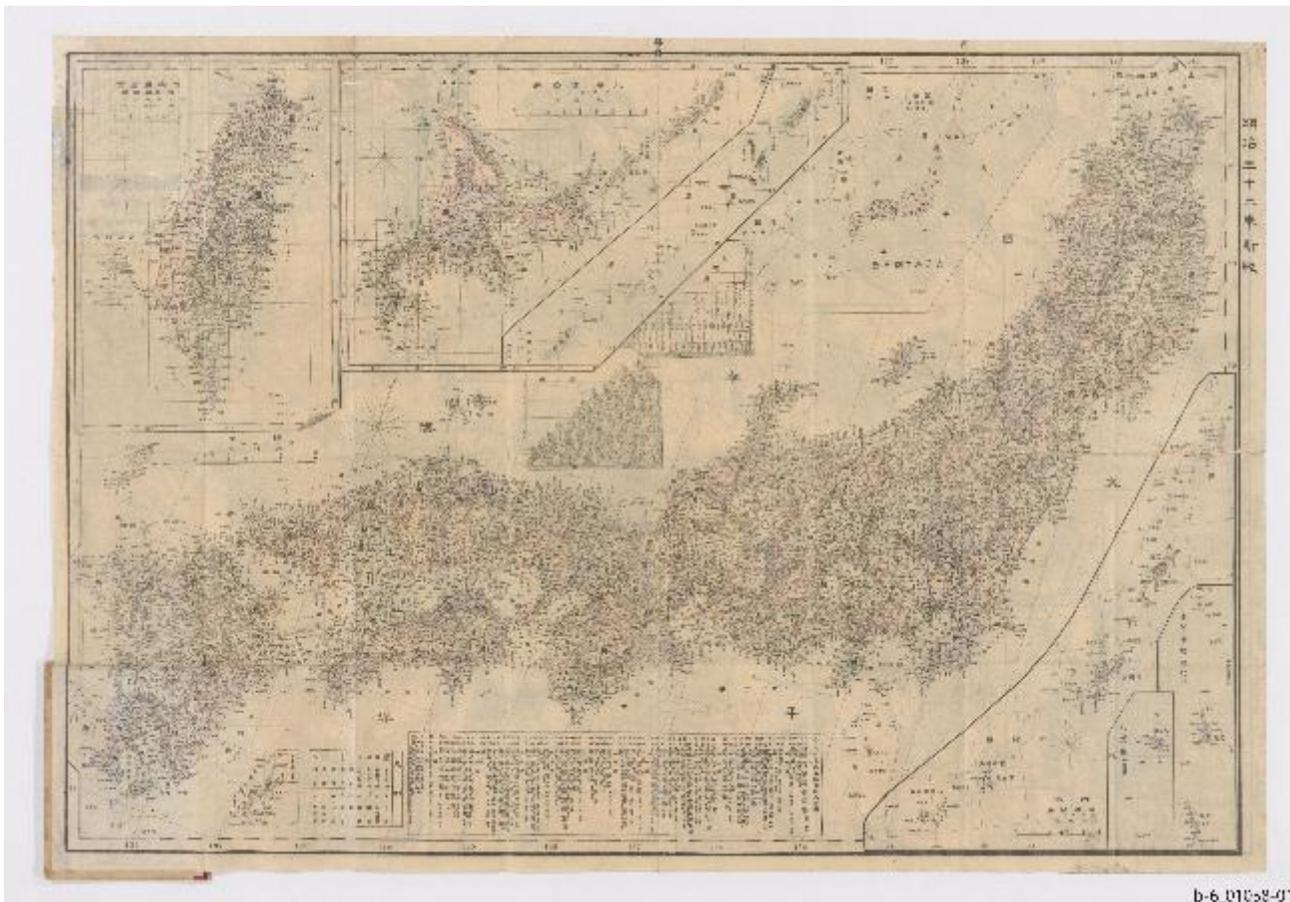
所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 明治31年（1898）7月、文学社編輯所編纂、小林義則（東京）発行。「射号・暗射」とは記憶・暗記を意味し、明治初期から中期にかけて主に学校の教育現場で教材地図の名称に用いられた。地形・地名がおおまかなのが特徴である。日本周辺図のほか千島諸島、琉球諸島、小笠原諸島、台湾の各図も載る。縮尺120万分の1である。石版・色刷。

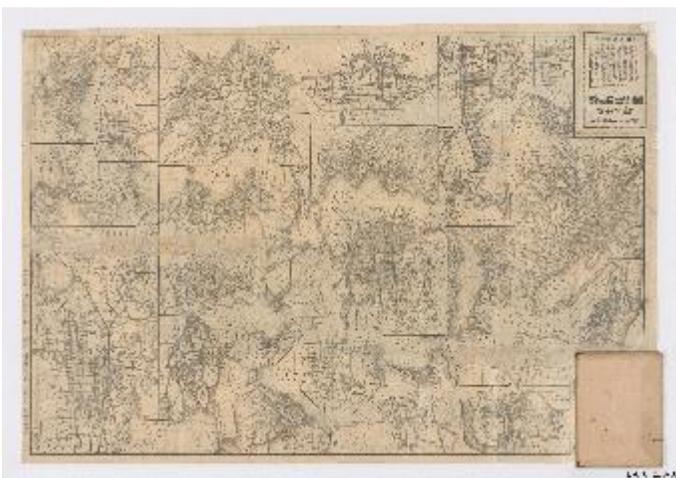
b-6_01038



資料名	日本全図
資料整理番号	b-6_01059
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	明治33年（1900）6月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	54(H)×77(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	明治33年（1900）6月、野際 馨編纂、中村芳松（大阪）発行。台湾島、小笠原島、西南部諸島の各図が載る。縮尺160万分の1である。石版・色刷。



b-6_01058-01



b-6_01058-02

資料名	旅行必携懐中日本地図
-----	------------

資料整理番号	b-6_01058
--------	-----------

地域情報	全島
------	----

備考	:-
----	----

作成・発行時期	明治33年（1900）8月
---------	---------------

寄贈者/入手元	-
---------	---

資料の寸法 cm	54(H)×79(W)
----------	-------------

所蔵先	北方領土問題対策協会
-----	------------

備考	明治33年（1900）8月、大塚宇三郎編輯、田中宋栄堂（大阪）発行。大日本帝国全図をはじめとして北海道全図、千島列島、大隅沖縄諸島、小笠原諸島、八丈島、五島列島、台湾の各図のほか、大日本改正郡市区名称表を載せ、大河表、高山表もある。裏面の全面に全国36市街図を掲載している。縮尺80万分の1である。石版・色刷。
----	---



資料名 改正新刻 帝国大日本里程細図

資料整理番号 b-6_01061

地域情報 全島

備考：-

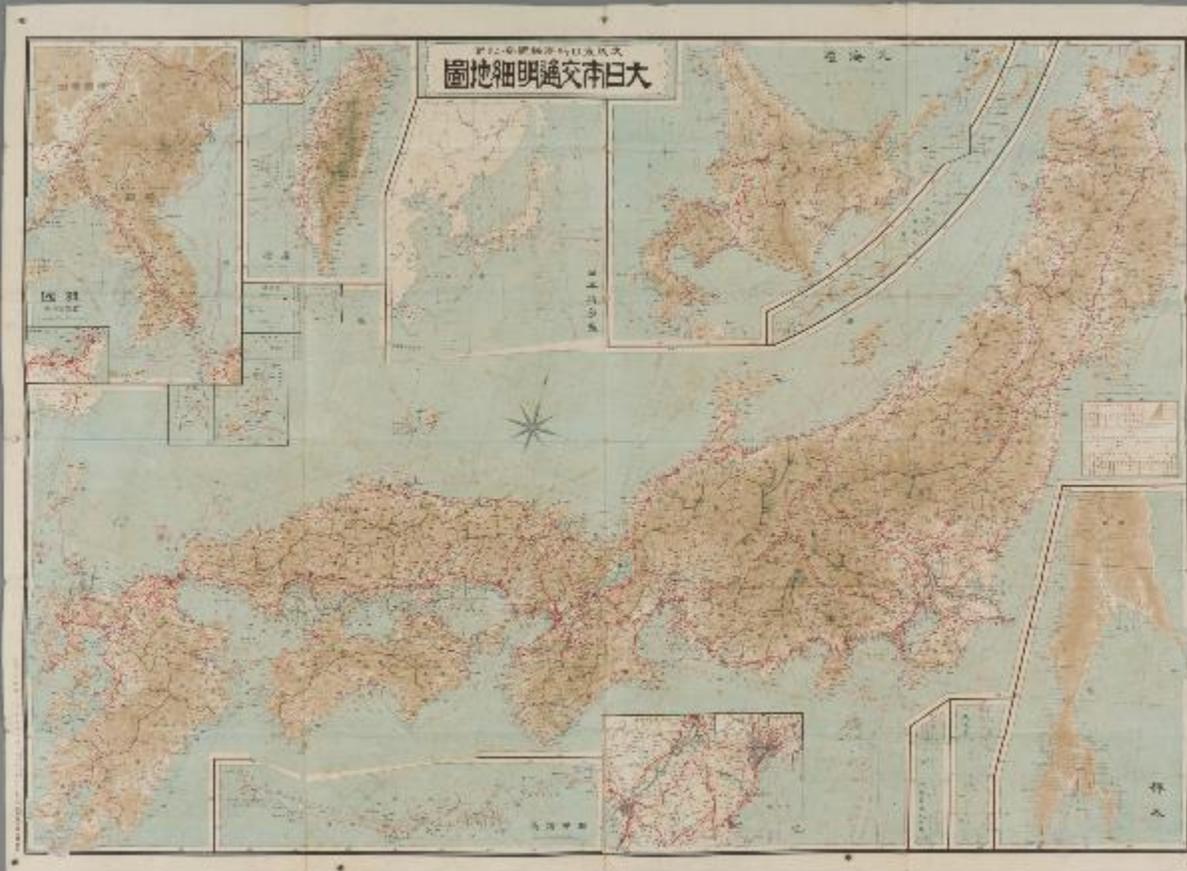
作成・発行時期 明治35年（1902）4月

寄贈者/入手元 -

資料の寸法 cm 51(H)×147(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 明治35年（1902）4月、片岡賢三編輯、風月庄左衛門（京都）発行。朝鮮、支那、台湾の地図が載る。ほかに全国郡名一覧表、著名高山表などの表も掲載される。縮尺不記。袋入りである。石版・色刷。



b-6_01062

資料名 大日本交通明細地図

資料整理番号 b-6_01062

地域情報 全島

備考：-

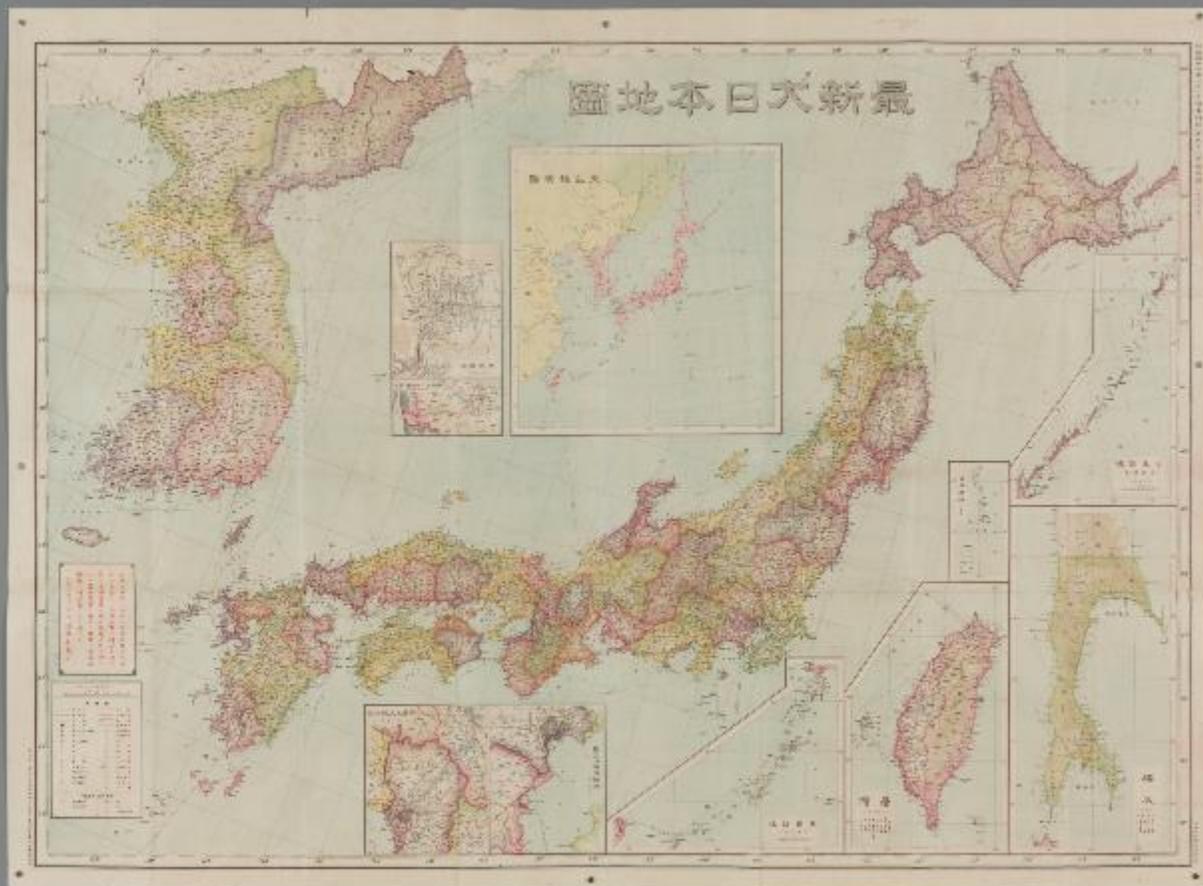
作成・発行時期 明治41年（1908）9月

寄贈者/入手元 -

資料の寸法 cm 79(H)×109(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 明治41年（1908）9月、中村謙三編輯、大阪毎日新聞社発行。日本現勢図のほか、樺太、韓国、台湾、西南諸島などの図が載る。千島諸島図は詳細で、各島間には航路線が引かれている。縮尺120万分の1である。印刷・色刷。

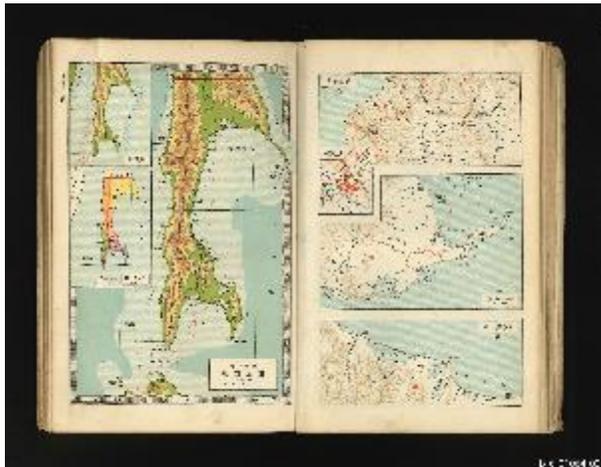


b-6_01063

資料名	最新大日本地図
資料整理番号	b-6_01063
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	明治44年（1911）1月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	78(H)×108(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	明治44年（1911）1月、時事新報社（東京）発行。東亜現勢図、千嶋諸島、樺太、台湾、南西諸嶋などの図のほか、東京及横浜附近図なども載る。縮尺200万分の1である。印刷・色刷。



b-6_01064-01

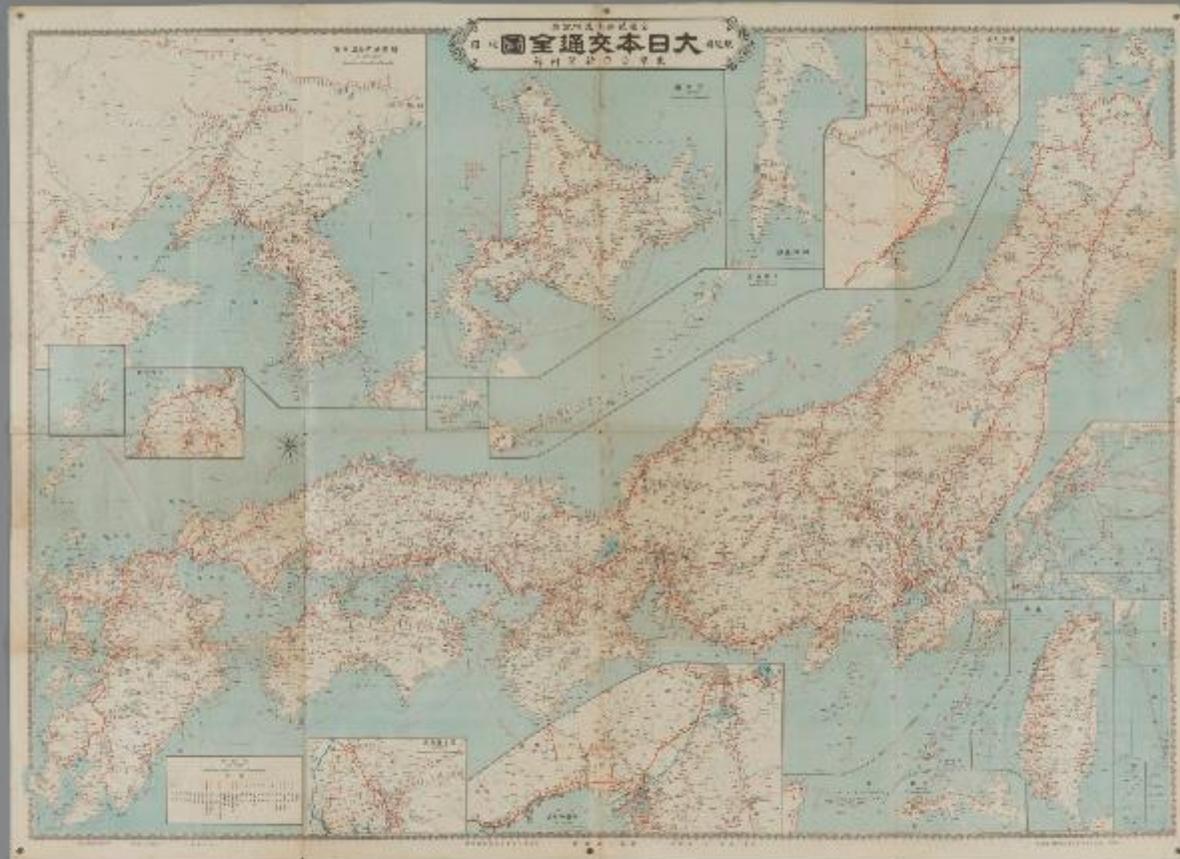


b-6_01064-02



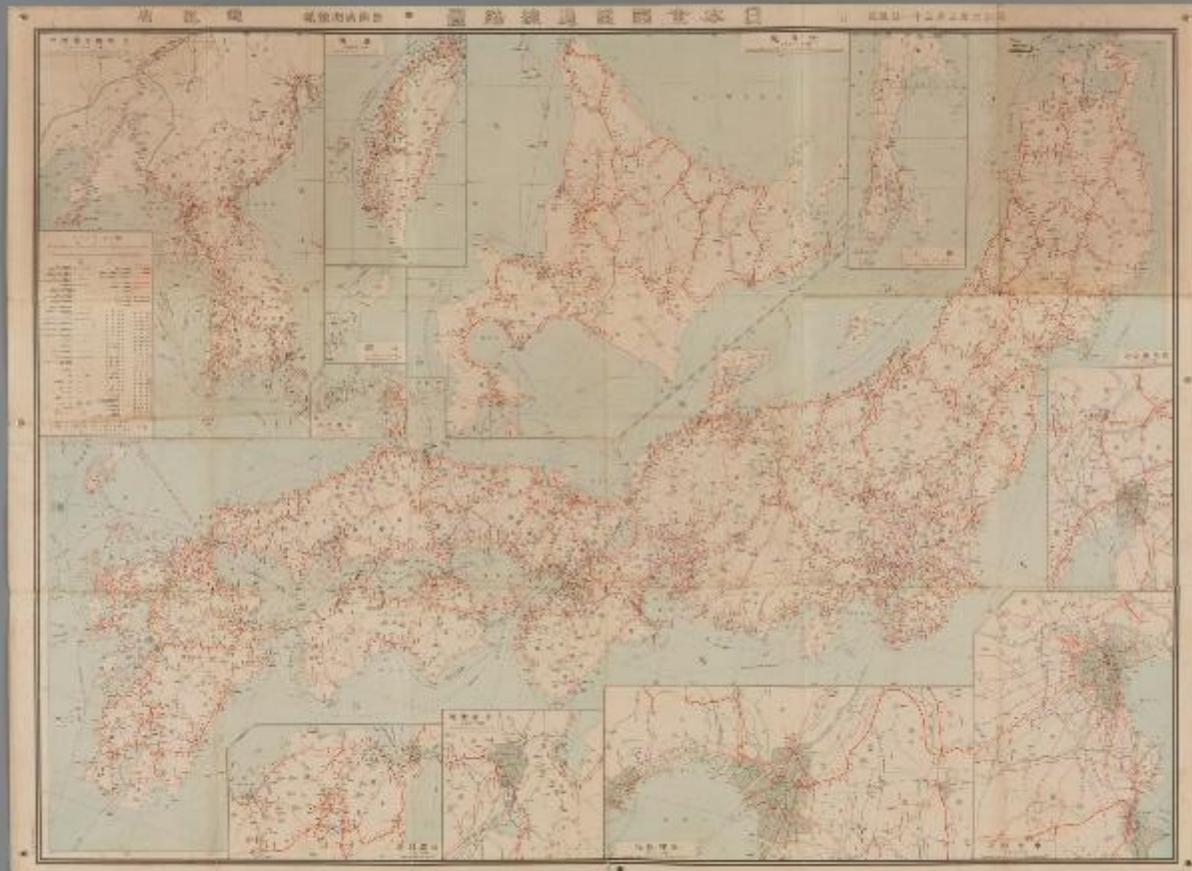
b-6_01064-03

資料名	最近日本地図
資料整理番号	b-6_01064
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	大正8年（1919）3月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	22(H)×27(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	大正8年（1919）3月発行の日本地図帳（全16図）で、三省堂編輯所編纂である。16図以外にも、数多くの図が掲載される。北海道地図（縮尺300万分の1）に千島諸島図が載る。印刷・色刷。



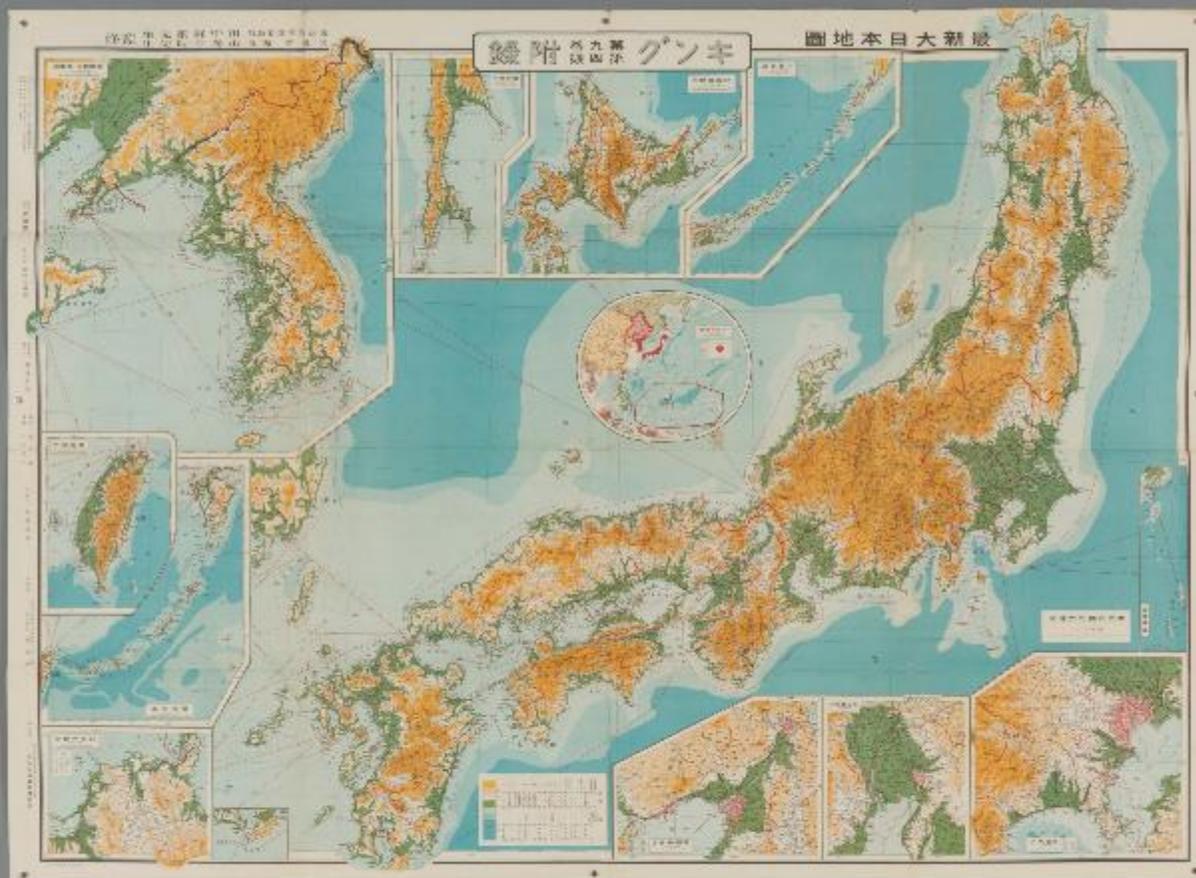
b-6_01065

資料名	大日本交通全図
資料整理番号	b-6_01065
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	大正14年（1925）1月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	79(H)×109(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	大正14年（1925）1月、東京日日新聞社発行。北海道、樺太南部、千島諸島図のほか、日本帝国総図、沖縄・琉球諸島、九州北部、五島列島、隠岐列島など15図を掲載している。縮尺120万分の1である。印刷・色刷。



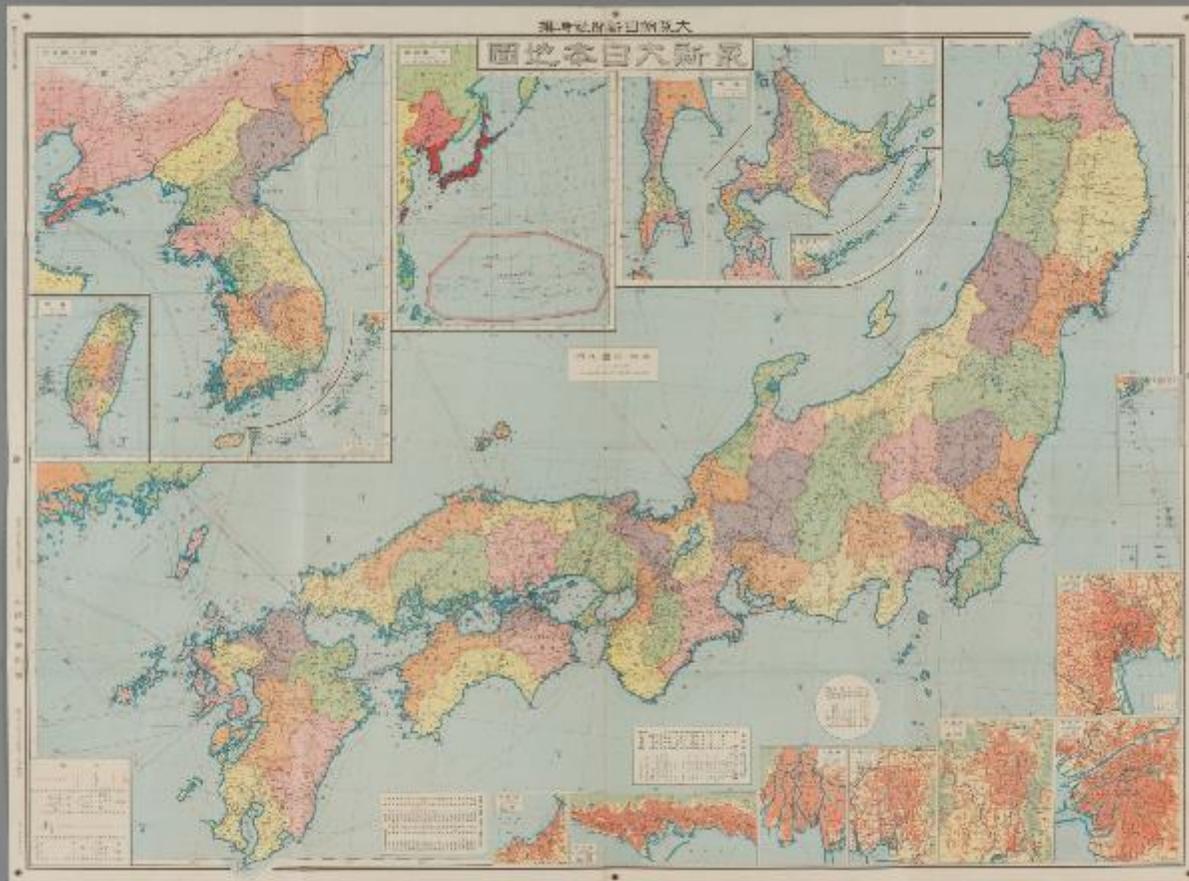
b-6_01066

資料名	日本全国鉄道線路図
資料整理番号	b-6_01066
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	昭和6年（1931）3月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	78(H)×108(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	昭和6年（1931）3月、鉄道省発行。沖縄、五島列島、樺太、台湾、朝鮮のほか、東京、名古屋、阪神など5市街図が載る。縮尺130万分の1である。印刷・色刷。



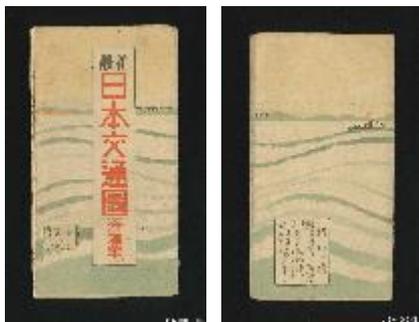
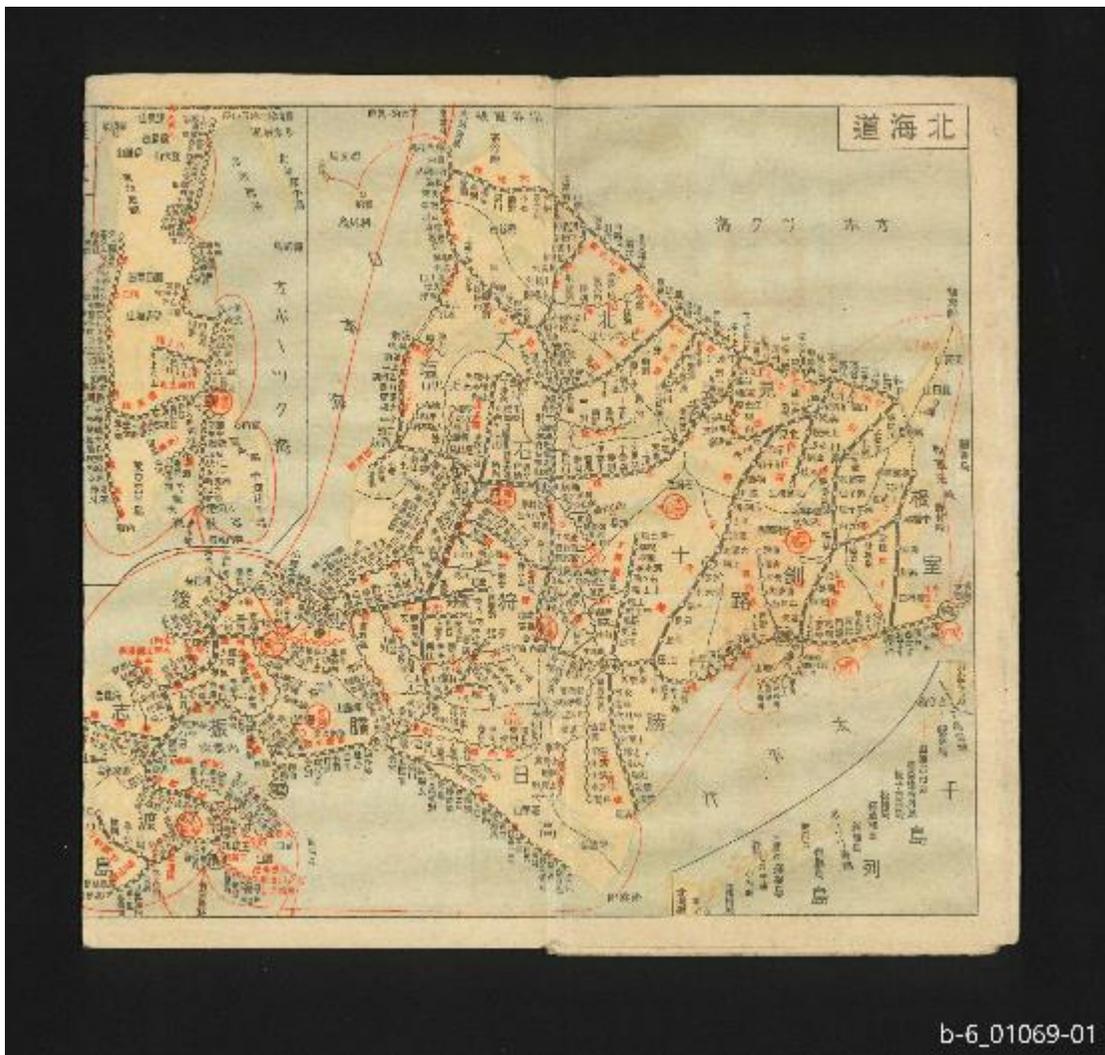
b-6_01068

資料名	最新大日本地図
資料整理番号	b-6_01068
地域情報	全島 備考：－
作成・発行時期	昭和8年（1933）4月
寄贈者/入手元	－
資料の寸法 cm	79(H)×109(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	昭和8年（1933）4月、淵田忠良編輯、講談社（東京）発行。大日本帝国、北海道、千島列島、樺太、琉球列島、北九州、京浜、名古屋、京阪神、各図のほか、朝鮮、台湾の図も載る。雑誌「キング」の附録。縮尺150万分の1である。印刷・色刷。



b-6_01067

資料名	最新大日本地図
資料整理番号	b-6_01067
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	昭和8年（1933）7月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	79(H)×108(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	昭和8年（1933）7月、大阪朝日新聞社発行。大日本総図、北海道、千島列島、樺太の各図のほか、朝鮮、台湾図もある。さらに東京、大阪、京都などの7市街図が掲載され、国富額の表も載る。縮尺140万分の1である。印刷・色刷。



資料名	最新日本交通図（含満華）
資料整理番号	b-6_01069
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	昭和20年（1945）10月
寄贈者/入手元	-
資料の寸法 cm	19(H)×99(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	昭和20年（1945）10月、興亜協調会編輯（東京）・発行。鉄道線路図であり、終戦直後の発行であるが、北海道地図に千島列島が載り、台湾、朝鮮、満洲国、中華民国の各図も掲載される。縮尺不記である。印刷・色刷。

1

資料

写真・映像



資料名	古釜布と小野氏関係写真（複写）
資料整理番号	c-1_00576
地域情報	国後島
	備考：-
作成・発行時期	（不明）
寄贈者/入手元	小野 進弥
資料の寸法 cm	25.7(H)×36.4(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	原文に準ずる： 上段左：昭和初期のふるさと国後古釜布村 昭和20年 赤軍の本部となる クナシリ（ロシア語表記）／右：姉 和歌／中央：私 弥生／左：三女姉 節／上段右：S19 川崎市役職員と共に銚子犬吠岬にて 19才／下段右：S18年9月 明治神宮外苑にて高松医師ご一家と弥生／下段左：国後抑留時代の服飾工場の仲間たち 1947年 クナシリ（ロシア語表記）／下段左から2番目 1947年3月 クナシリ（ロシア語表記）／下段右から2番目 1947年 国後古釜布村ソ連兵士特派員撮る（澤崎弥生氏のサイン入り）



資料名	古釜布と小野氏関係写真（複写）
資料整理番号	c-1_00579
地域情報	国後島
	備考：－
作成・発行時期	（不明）
寄贈者/入手元	小野 進弥
資料の寸法 cm	25.7(H)×36.4(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	原文に準ずる： 左：戦後オビヒロ緑ヶ丘にて昭和25年（ロシア語表記）／中央：母のひさ（左）弥生（膝の上、生後0年）、吉田おば（中央）、長女綾 根室高女時代 根室にて／右：国後島古釜布 澤崎旅館にて家族写真（左上：長男の文平、左下：四女セツ、中央：弥生 右上：次男の文二、右下：二女の和歌）／クナシリ ユジノクリリスク（ロシア語表記）



資料名	「末次一郎さんの歩んだ道」VHSビデオ (複製)
資料整理番号	c-3_00724
地域情報	全島 備考：-
作成・発行時期	平成13年（2001）以降
寄贈者/入手元	（匿名）
資料の寸法 cm	18.8(H)×10.4(W)×2.5(D)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	沖縄復帰と並んで北方領土問題には先駆的に取り組み、「ミスター北方領土」の異名でも知られた末次一郎氏の伝記。末次氏は昭和44年（1969）の特殊法人北方領土問題対策協会創立以来、終生その理事の任に当たった。「北方領土の日」の北方領土返還要求全国大会をはじめ相前後して全国各地で開催される都道府県レベルの各種行事でたびたび講演するなど、北方領土問題に対する国民の啓発に努めた。（VHSよりMP4にデータを変換しDVDに保存／11分56秒）



c-1_00829-01

資料名 北海道庁千島調査所 道路調査員詰所前での記念撮影

資料整理番号 c-1_00829

地域情報 択捉島

備考：-

作成・発行時期 昭和初期～中期

寄贈者/入手元 荻野 行男

資料の寸法 cm 9(H)×13(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 「北海道庁千島調査所 道路調査員詰所」(択捉島 紗那) 前での男性5人の記念写真。択捉島 紗那は、択捉島のみならず、千島全体において重要で、ここには役場、警察、病院などの行政の機能だけではなく、千島全体の自然、行政、経済を調査する「千島調査所」が設けられていた。



4 1 18829 01



c-1_00889

資料名	音根別（オンネベツ）川河口から残雪の 爺々岳（チャチャダケ）
資料整理番号	c-1_00889
地域情報	国後島 備考：－
作成・発行時期	昭和初期
寄贈者/入手元	宮谷内 のり子
資料の寸法 cm	20.3(H)×25.3(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	音根川河口から見た残雪の爺々岳（ちゃちゃだ け）の様子。



c-1_00890

資料名	音根別（オソネベツ）川での魚釣り
資料整理番号	c-1_00890
地域情報	国後島 備考：－
作成・発行時期	昭和初期
寄贈者/入手元	宮谷内 のり子
資料の寸法 cm	20.3(H)×25.3(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	音根別川の岸で10人以上の人が集まって魚釣りを観覧している様子。



c-1_00891

資料名	オダイバケの沖合から眺めた爺々岳 (チャチャダケ)
資料整理番号	c-1_00891
地域情報	国後島 備考：－
作成・発行時期	昭和初期
寄贈者/入手元	宮谷内 のり子
資料の寸法 cm	20.3(H)×25.3(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	オダイバケの沖合から見た爺々岳（ちゃちゃだ け）。手前に3人が乗った船が見える。



c-1_00892

資料名	オダイバケ部落の昆布干し
資料整理番号	c-1_00892
地域情報	国後島 備考：－
作成・発行時期	昭和初期
寄贈者/入手元	宮谷内 のり子
資料の寸法 cm	19.8(H)×30.4(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	天然の船着き場だったオダイバケの部落において岩場の先で家族総出で昆布干しをする様子。



c-1_00893

資料名	セオイ川と木橋
資料整理番号	c-1_00893
地域情報	国後島 備考：－
作成・発行時期	昭和初期
寄贈者/入手元	宮谷内 のり子
資料の寸法 cm	20.3(H)×25.3(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	流れの穏やかさで有名なセオイ川に架かる欄干のない木橋を渡る人々。



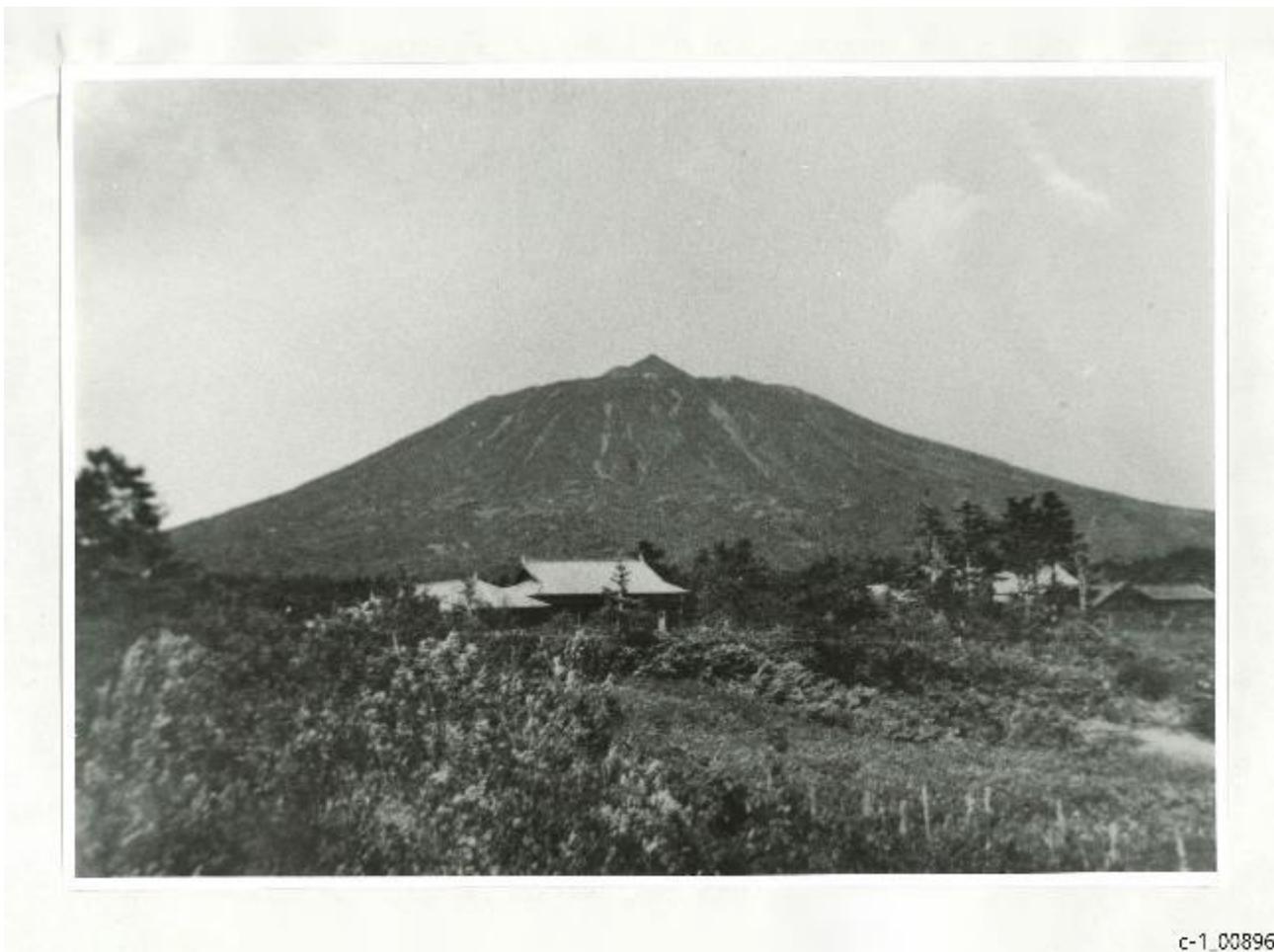
c-1_00894

資料名	乳呑路（チノミノチ）鎮守祭りの風景
資料整理番号	c-1_00894
地域情報	国後島 備考：－
作成・発行時期	昭和初期
寄贈者/入手元	宮谷内 のり子
資料の寸法 cm	20.3(H)×25.3(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	社の前に大勢が晴れ着や正装で集まり、神輿や太鼓を囲んでいる。周囲には日本の旗のほか旗竿がいくつも立っている。



c-1_00895

資料名	大運動会 (乳呑路 (チノミノチ) 尋常小学校か)
資料整理番号	c-1_00895
地域情報	国後島 備考： -
作成・発行時期	昭和15年 (1940)
寄贈者/入手元	宮谷内 のり子
資料の寸法 cm	20.3(H)×25.3(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	地域総出で賑わっている大運動会の様子 (昭和15年/2003)。乳呑路尋常小学校の校庭と思われる場所で生徒と思われる男女たちが数列に並んで、手前にはその家族である大人や子供が座って見ている。



c-1_00896

資料名	爺々岳（チャチャダケ）の全景
資料整理番号	c-1_00896
地域情報	国後島 備考：－
作成・発行時期	昭和初期
寄贈者/入手元	宮谷内 のり子
資料の寸法 cm	21.3(H)×30.5(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	乳呑路（ちのみのち）役場周辺から見た爺々岳（ちゃちゃだけ）（1822m）の全景。乳呑路役場周辺。手前中央左に公会堂、右に禅寺が見える。



c_1_00897

資料名	乳呑路（チノミノチ）墓地から爺々岳（チャチャダケ）を望む
資料整理番号	c-1_00897
地域情報	国後島 備考：－
作成・発行時期	昭和初期
寄贈者/入手元	宮谷内 のり子
資料の寸法 cm	20.3(H)×25.3(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	乳呑路（ちのみのち）墓地から見た爺々岳（チャチャだけ）。



c-1_00898

資料名	乳呑路（チノミノチ）港から市街地を眺める
資料整理番号	c-1_00898
地域情報	国後島 備考：－
作成・発行時期	昭和初期
寄贈者/入手元	宮谷内 のり子
資料の寸法 cm	20.3(H)×25.3(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	乳呑路（ちのみのち）港から見た海岸沿いの家々や市街地の様子。奥に爺々岳（ちゃちゃだけ）がうっすらと見える。



c-1_00899

資料名	乳呑路（チノミノチ）女子青年団の顔ぶれ
資料整理番号	c-1_00899
地域情報	国後島 備考：－
作成・発行時期	昭和12年（1937）
寄贈者/入手元	宮谷内 のり子
資料の寸法 cm	21(H)×29.7(W)
所蔵先	北方領土問題対策協会
備考	乳呑路（ちのみのち）女子青年団19名の女性達が並んだ集合写真（昭和12年／1937）。列の右後ろに三角屋根の建物がある。



資料名 爺々岳（チャチャダケ）

資料整理番号 c-1_00900

地域情報 国後島

備考：－

作成・発行時期 （不明）

寄贈者/入手元 宮谷内 のり子

資料の寸法 cm 26(H)×42(W)

所蔵先 北方領土問題対策協会

備考 海から見た爺々岳（チャチャダケ）の様子。山頂付近に雲がかかり、山裾まで薄く雪が残っている。手前には海岸沿いの家々が見える。



資料名	仏壇（国後から帰還）
-----	------------

資料整理番号	a-1_01100
--------	-----------

地域情報	国後島
------	-----

備考	： -
----	-----

作成・発行時期	（不明）
---------	------

寄贈者/入手元	奥山 俊一
---------	-------

資料の寸法 cm	140(H)×50(W) ×50(D)
----------	---------------------

所蔵先	北方領土問題対策協会
-----	------------

備考	奥山家に寄贈者である奥山俊一氏の祖父の代（奥山太郎氏／奥山マサ氏）から受け継がれてきた仏壇で、大正初期～昭和初期のものと推測される。引き揚げ時に根室の漁師に頼んで送ってもらった貴重なもの。親族にとっても重要であったがゆえに持ち出されたと考えられ、本土で一度塗りなおしをしている。
----	---